

はじめに

近年、情報化や技術革新、グローバル化などにより社会の在り方が急激に変化しており、持続可能な社会の創り手となることができるよう、子どもたちに「生きる力」を育むことが求められています。

草加市においても、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校が家庭・地域と連携を図りながら一体となって0歳から15歳までの子どもの育ちを支える、幼保小中を一貫した教育を推進することで、子どもたちの「生きる力」の育成に取り組んでいます。

新学習指導要領では、この「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力として、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に整理しています。そして、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、これらの資質・能力を育むことを目指しています。このとき、子どもたちの学習の基盤となる資質・能力の一つが「言語能力」であり、国語科を要として、教育課程全体で育むことが求められています。

そこで草加市では、国語科の授業実践を支援し、一層充実したものとするため、「草加市小中学校教育課程指導資料（国語）～こく^国ごー！^語ごー！～」を改定しました。令和3年度版中学校教科書に合わせて授業展開や学びのつながりを更新し、実践事例ごとに学習する学年や時期を示すなど、より実践で活用しやすい資料へと改めています。

本指導資料が、幼児期の教育から中学校教育までの学びをつなぎ、子どもたちが予測困難な未来を切り拓くために必要な資質・能力を身に付け、よりよく生きるための一助になることを心から願っております。

結びに、改定に当たりご指導いただきました、ベネッセ教育総合研究所主席研究員木村治生様、星槎大学客員研究員 田口浩明様をはじめ、貴重な情報提供及びご意見をいただきました草加市子ども教育連携推進委員会専門部会の委員の皆様、厚くお礼申し上げます。

令和3年3月

草加市教育委員会

教育長

高木宏幸

目次

はじめに

I	草加市小中学校教育課程指導資料（国語）について	3
	ねらい	4
	草加市 国語の現状と課題	6
	本資料の構成	9
II	単元ナビ	10
	国語～単元ナビ～	
	単元ナビの解説	11
	1学期	12
	2学期	14
	3学期	16
	学びのつながり	
	話すこと・聞くこと	18
	書くこと	19
	読むこと	20
	言葉の特徴や使い方に関する事項・我が国の言語文化に関する事項	21
	情報の扱い方に関する事項	22
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（書写）	23
III	幼児期の姿について	25
	幼児期の教育	26
	5歳児後半の姿	28
IV	学びのつながり実践事例	31
	言葉の特徴や使い方に関する事項	32
	言葉の働き	
	小学校～低学年～	34
	小学校～中学年～	37
	小学校～高学年～	40
	中学校	43
	文や文章	
	小学校～低学年～	48
	小学校～中学年～	51
	小学校～高学年～	54
	中学校	57
	話すこと・聞くこと	60
	小学校～低学年～	61
	小学校～中学年～	64
	小学校～高学年～	67
	中学校	70
	書くこと	73
	小学校～低学年～	74
	小学校～中学年～	77
	小学校～高学年～	80
	中学校	83
	読むこと	86
	小学校～低学年～	87
	小学校～中学年～	90
	小学校～高学年～	93
	中学校	96
V	教科書に紹介されている本	99
	読書・ねらい・表の見方	100
	小学校	101
	中学校	107
VI	委員名簿・審議経緯	113

I

草加市小中学校教育課程 指導資料(国語)について



「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子(目指す「草加っ子」(15歳の姿))の実現
(未来社会を切り拓くための資質・能力を育むこと)



各園の遊びや生活、各学校の教科等を通して以下3点を一貫して育む。

- ① 生きて働く「知識・技能」の習得
- ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養



上記の①、②、③を一貫して育むために

- ・「言語活動の充実、言語能力の育成」が求められている。
- ・「言語活動の充実、言語能力の育成」の要となるのが国語である。



本資料の活用を通して、国語における、

- (1) 単元、学習内容等のつながりを意識し、子どもたちが教科横断的に、また日常生活でも学んだことを生かせるようにする。
- (2) 幼児期の姿や学びを把握し、子どもたちが学びを蓄積できるようにする。
- (3) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、子どもたちが学びたい、学び続けたいと思えるようにする。

自ら学び、
心豊かに、
たくましく
生きる」草加っ子

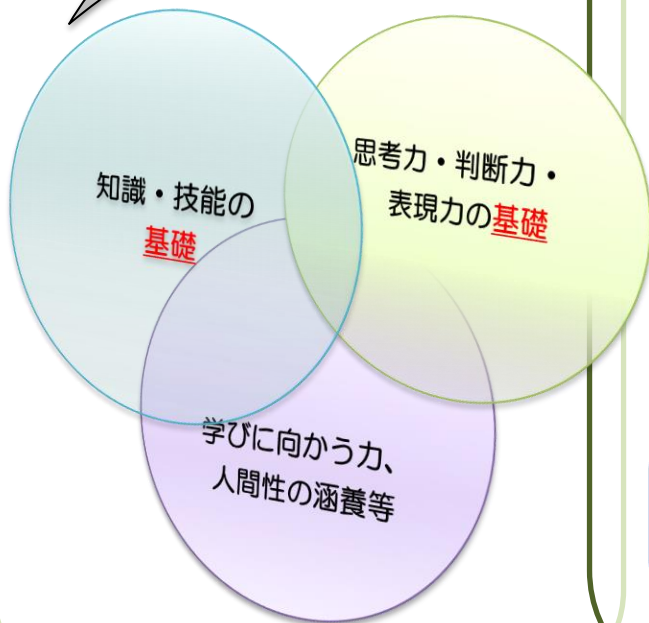


(1) 単元配列表等で単元や学習内容のつながりが把握できるようにしています。

⇒II 単元ナビ(P10~23)

資質・能力の三つの柱

幼児期



小学校、中学校教育

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的に捉えて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

(2) 幼児期の姿や学びについて幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)の視点等で掲載しています。

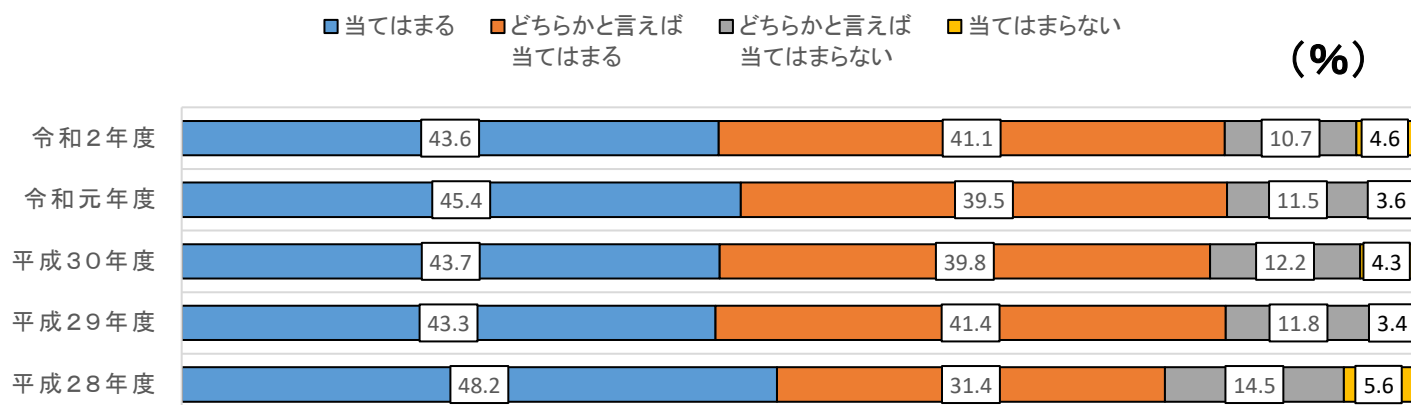
⇒III 幼児期の姿について
(P25~30)

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践事例を指導案形式で掲載しています。

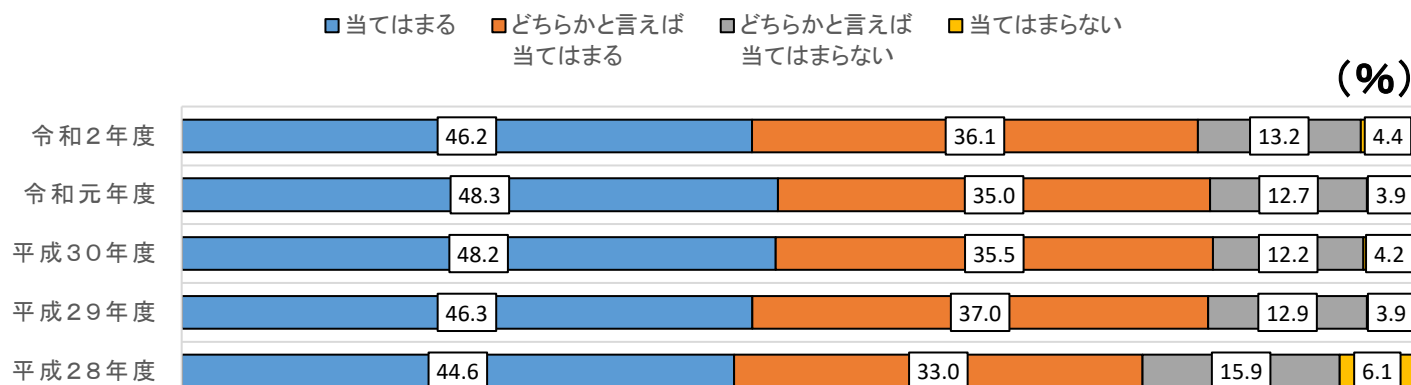
⇒IV 学びのつながり実践事例
(P31~98)

○平成28年度から令和2年度までの「子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート」による現状の分析
 <小学校3年生から中学校3年生まで全体の結果>

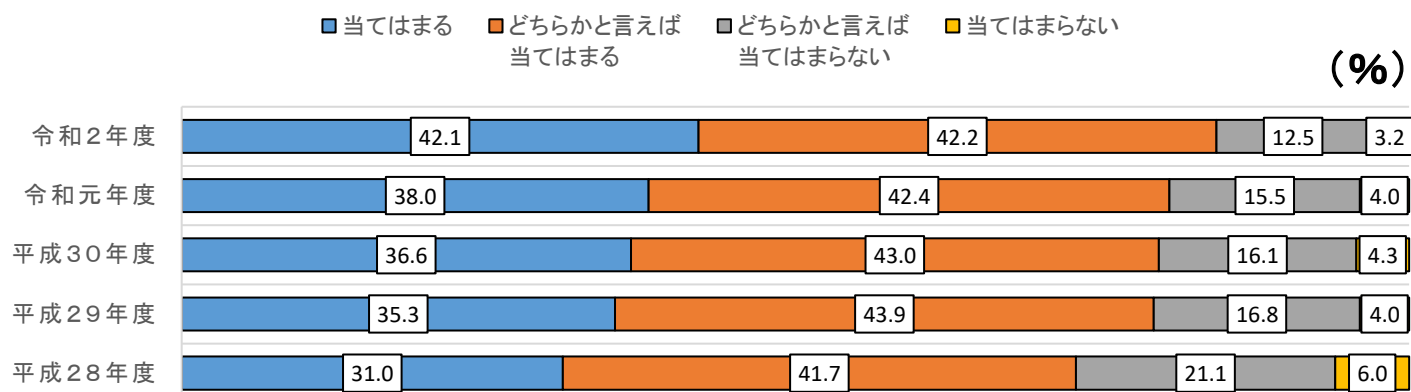
Q1(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい



Q1(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい



Q1(3) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている



- いろいろなことを知りたいと思わせるような興味・関心を引き出す授業づくりを一層推進していく必要がある。
- 家庭学習の質を向上させるとともに学んだことを使える、生かせる場面を意図的に設定し、学習意欲をさらに高める必要がある。

○令和元年度と令和2年度の埼玉県学力・学習状況調査による現状と課題の分析

埼玉県との差(平均正答率) ◎・・・1.0以上上回っている ○・・・上回っているがその差が1.0未満
 △・・・下回っているがその差が1.0未満 ▲・・・1.0以上下回っている

《話すこと・聞くこと》

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
令和元年度	◎	◎	○	○	▲	▲
令和2年度	◎	◎	◎	◎	▲	▲

《書くこと》

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
令和元年度	○	◎	◎	◎	◎	▲
令和2年度	○	◎	◎	◎	◎	△

《読むこと》

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
令和元年度	◎	◎	△	○	△	▲
令和2年度	△	○	◎	◎	△	▲

《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
令和元年度	○	○	△	○	▲	△
令和2年度	○	△	○	▲	△	▲

○平成28年度から令和元年度(令和2年度は中止)までの全国学力・学習状況調査による現状と課題の分析

埼玉県との差(平均正答率) ○・・・平均より上回っている ▲・・・平均より下回っている

～小学校～

		H28	H29	H30	R1
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	▲	▲	▲	○
	書くこと	▲	▲	▲	▲
	読むこと	▲	▲	▲	▲
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	▲	▲	○	○

※H28 から H30 においては A 問題と B 問題の平均

～中学校～

		H28	H29	H30	R1
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	▲	▲	▲	▲
	書くこと	▲	▲	▲	▲
	読むこと	▲	▲	▲	▲
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	▲	▲	▲	▲

※H28 から H30 においては A 問題と B 問題の平均

考察

- 同集団で、課題が解消されている領域と、解消されないままになっている領域がある。(埼玉県学力・学習状況調査から)
- 低学年、さらには幼児期からの学習のつながりを意識し、身に付けた力を更に伸ばし、高めていく手立てが必要である。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、どの学年においても特に力を入れて取り組む必要がある。
- いろいろなことを知りたいと思わせるような興味・関心を引き出す授業づくりが必要である。
- 家庭学習の質を向上させるとともに学んだことを使える、生かせる場面を設定する必要がある。
- 知識及び技能だけではなく、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等をバランスよく育むことが大切である。



point

- 教科横断的に、また日常生活でも学んだことを活用する場を意図的に設ける。
 - 幼児期の教育で育まれた、思考することや言葉による伝え合い、文字などへの関心等について、小学校以降でも教科等を通じてしっかりと育てていく。また、幼児期には経験を重視し、学習内容については、低学年から系統的に身に付けさせていく。
 - 「知識量≠活用する力」を踏まえて、ドリル的、ワーク的なものの繰り返しだけでなく、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、特に日々の授業の中で子どもたちの学びを重視し、めあてを達成するための課題・発問を工夫する。
 - 効果的な取り組み事例を研修等で全職員で共有する。
-
- 漢字をたくさん覚えたり、本をすらすら読んだり、字を丁寧に書いたりすることなどは、もちろん大切なことですが、今後は、漢字をたくさん覚えたこと、本をすらすら読むこと、字を丁寧に書くことなどを、他教科や次の単元、さらには日常生活や社会生活にどう生かしていくかが大事になります。つまり、次の日のテストのために、ドリル練習等で身に付けた力は、一時的にできるようになっても、子どもたちの資質・能力が育まれたとは言えません。
 - 国語における主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善では、言葉による見方・考え方を働かせることで、より質の高い深い学びにつなげることが重要です。



本資料の構成

教材の学びの
つながり等を示
しています。
P11~23

幼児期の教育
の様子を5歳児
後半の姿で示
しています。
P28~30



子どもたちの声など

幼児期の終わりまでに育っ
てほしい姿(10の姿)

実践事例を指
導案形式で示し
ています。
P32~98

第1学年及び第2学年	小学校 第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第7学年	中学校 第2学年 第3学年
ア 言葉には、事物の内 容を表す働きや、経験 したことを伝える働き があることに気付くこ と。	ア 言葉には、考えたこ とや思ったことを表 す働きがあることに 気付くこと。	ア 言葉には、相手との つながりをつくる働き があることに気付くこ と。		ア 言葉に は相手の 行動を促 す働きが あること に気付く こと。



※指導事項、
幼児期の姿、
学びのつながり、
実践事例の順で
載せています。

学習活動	学習内容	口指導と詳細の創製工夫
1 「なっだあそぼう」を想起させる。		<ul style="list-style-type: none"> □口指導を用いて提示することで、視覚的に想起しやすいようにする。 ●導入では、生活科での経験を生かし、伝えたい、教えたという気持ちを高められるようにする。
2 単元のめてを知る。	「なっだ あそぼう」をいえのひとにおしえよう。	★第1条「学習の目標を明らかにする」
3 本時の学習課題を知る。	課題の把握 だれが、どこで、なにをしたのかな？	<ul style="list-style-type: none"> ●めあての提示の後、活動に入る前の教師の説明が長くなっていませんか？ ●めあてだけの提示で、課題や視点が不明確になっていませんか？
4 記録カードを振り返る。	個人での思考	<ul style="list-style-type: none"> ★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 □「なっだ あそぼう」で活動をした際に、どこで何をしたら良かったかを記録させておく。

一学年	二学年	三学年	四学年	五学年	六学年	七学年	八学年	九学年	十学年
ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。	ア 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	ア 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。							

II

学びのつながり

単元ナビ

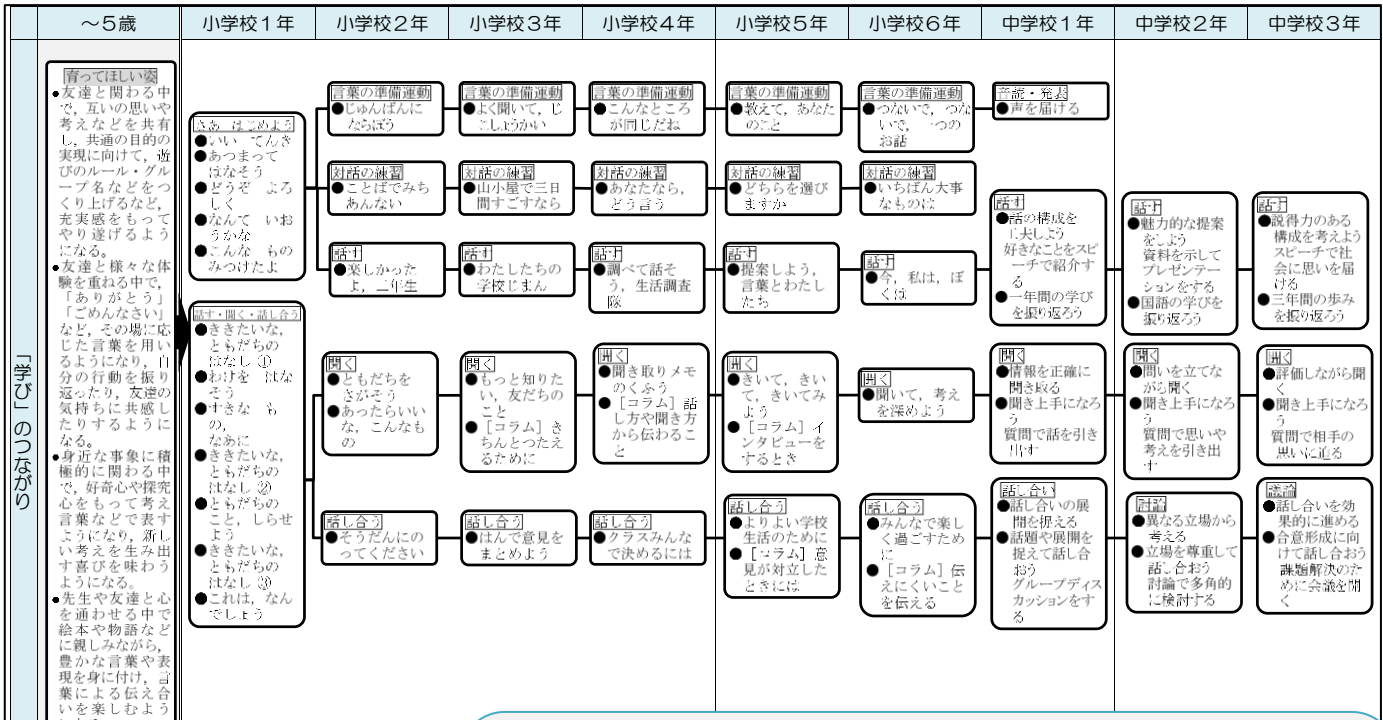


単元ナビの解説

国語～単元ナビ～		小学校												中学校											
		1年			2年			3年			4年			5年			6年			1年		2年		3年	
月	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	教科名	
1	いってんき(詩)(話す・聞く)	じんばんにいってんき(話す・聞く)	よく聞いて、じこしうかい(話す・聞く)	どきん(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	きんご(詩)	

- ・活動をイメージしやすいよう、単元を教材名で記載しています。
- ・各学期、各月で配列するとともに時数を載せています。
- ・参考例ですので、各学校の実態に応じて単元（教材）を入れ替えたり、時数を増減したりしてください。
- ・領域ごとに色分けをしています。
- ・年間指導計画の作成等でご活用ください。

話すこと・聞くこと
書くこと
読むこと
言語



- ・「令和3年度版幼保小中一貫教育標準カリキュラム」の単元配列表を基に変更しています。
- ・領域ごとに単元（教材）を配列しています。
- ・本資料の配列表を学びのつながりを意識した授業実践の参考にしてください。

国語～単元ナビ～ 1学期		小学校								
1年		2年		3年		4年		5年		
月	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数
4	いいんき(詩)(話す・聞く)	2	じゅんぼんにならぼう(話す・聞く)	1	よく聞いて、じこしようかい(話す・聞く)	1	こんなところが同じだね(話す・聞く)	1	教えて、あなたのこと(話す・聞く)	1
	おはなしのいいな(物語・文学)	2	つづけてみよう(ここにのこったことをひとことでき)	1	どきん(詩)	1	春のうた(詩)	1	かんがえるのって おもしろい(詩)	1
	あつまって はなそう(話す・聞く)	1	ふきのとう(物語・文学)	9	つづけてみよう(日記を書く)	1	つづけてみよう(国語辞典に親しもう)	1	続けてみよう(日々のことを記録しよう)	1
	えんぴつと なかよし(言語)	1					白いぼうし(物語・文学)	7	なまえつけてよ(物語・文学)	4
	どうぞ よろしく(話す・聞く)	3	図書館たんけん(読書)	1	きつづきの商売(物語・文学)	8	図書館の達人になろう(読書)	1	図書館を使いこなそう(読書)	1
	どうぞ よろしく(書く)		春が いっぱい(伝文)	2			漢字の組み立て(漢字)	2	漢字の成り立ち(漢字)	2
			きょうの できごと(書く)	4	図書館たんていだん(読書)	1	漢字辞典の使い方(漢字)	2	春の空(伝文)	2
	なんて いおうかな(話す・聞く)	2			国語辞典を使おう(言語)	2	春の楽しみ(伝文)	2	きいて、きいて、きいてみよう(話す・聞く)	6
	こんなもの みつけたよ(話す・聞く)	2	ともだちを さがそう(話す・聞く)	4	漢字の広場①(漢字)	2	聞き取りメモのくふう(話す・聞く)	6	【コラム】インタビューをするとき(話す・聞く)	
	うたにあわせて あいうえお(伝文)	1			春のくらし(伝文)	2	【コラム】話し方や聞き方から伝わること(話す・聞く)	6	【コラム】インタビューをするとき(話す・聞く)	
	がっこうの もじたんけん(書写)		町の 文字たんけん(書写) 学しゅうの めあて	1	毛筆の学習が始まるよ(書写) 学習の進め方(書写)		世界の「こんにちには」(書写)		場面に合わせた書き方のくふう(書写)	
	1 はじめの がくしゅう(書写) ①じをかくしせい ②えんぴつのもちかた ③たのしくかこう	1	1 はじめの 学しゅう(書写) ①文字を書くしせい ②えんぴつのもちかた ③学しゅうの すずめ方 ④しよしゃの 体そう	1	1 はじめの学習(書写) ①毛筆用具の名前とおき方やあつかい方 ②よいしせいと筆の持ち方 ③筆の「ほ」のやわらかさ ④力の入れ方(筆圧) ⑤あとかたづけ	2	学習の進め方(書写) 1 はじめの学習 ①毛筆用具の名前と置き方やあつかい方 ②よいしせいと筆の持ち方 ③3年生で学習したこと ④点画の種類 ⑤あとかたづけ	2	1 はじめの学習(書写) ①学習の進め方 ②点画の種類 ③姿勢と持ち方、用具のあつかい方 ④【知りたい 文字の世界】「活字」について知ろう	2
こえに だして よもう あさのおひさま(詩)	1	いなばの 白うさぎ(伝文)	2	漢字の音と訓(漢字)	2	漢字の広場①(漢字)	2	漢字の広場①(漢字)	1	
ききたいな、ともだちのはなし(話す・聞く)	2			もっと知りたい、友だちのこと(話す・聞く)	6	思いやりのデザイン(説明的な文章)	8	見立てる(説明的な文章)	7	
たのしいな、ことばあそび(言語)	2	たんぼぼの ちえ(説明的な文章)	10	【コラム】きちんとつたえるために(話す・聞く)	2	アップとルーズで伝える(説明的な文章)	2	言葉の意味が分かること(説明的な文章)		
はなの みち(物語・文学)	6			【コラム】きちんとつたえるために(話す・聞く)	2	漢字の広場②(漢字)	2			
としょかんへいこう(読書)	2	【じょうほう】じゅんじょ	10	言葉で遊ぼう(説明的な文章)	8	【じょうほう】考えと例	2	カンジエーはかせの都道府県の旅1(漢字)		
かきと かぎ(言語)	2	かんさつ名人になろう(書く)	10	こまを楽しむ(説明的な文章)	8	お礼の気持ちを伝えよう(書く)	6	【情報】原因と結果		
ふんをつくろう(書く)	4					2 点画の筆使い(書写) 『花』	2	2 文字の組み立て方(中と外)(書写)『草原』		
ねこと ねっこ(言語)	2	同じ ぶぶんをもつ かん字(漢字)	2	【じょうほう】全体と中心	2		2	和語・漢語・外来語(言語)		
2 ひらがなの がくしゅう(書写) ①せんの おわりの かきかた ②かきじゅん(書写) ③じを かきはじめる ところ(書写)	1	2 かたかなの 学しゅう(書写) 画の方こう	3	2「横画」の筆使い(書写) 『二』	2		2	2 日常を十七音で(書く)		
わけを はなそう(話す・聞く)	2	うれしい ことば(言語)	2	気もちをこめて「来てください」(書く)	6	漢字の広場②(漢字)	2	古典の世界(一)(伝文)	2	
おばさんとおばあさん(言語)	2	かん字の ひろば①(漢字)	2			一つの花(物語・文学)	7	【情報】目的に応じて引用するとき	2	
くちばし(説明的な文章)	8	スイミー(物語・文学)	9	漢字の広場③(漢字)	2	つなぎ言葉のはたらきを知らう(言語)	2	みんなが過ごしやすい町へ(書く)	10	
おもちゃとおもちゃ(言語)	2			まいごのかぎ(物語・文学)	6	短歌・俳句に親しもう(一)(伝文)	1			
あいうえおであそぼう(言語)	3	かたかなの ひろば(言語)	2			【じょうほう】要約するとき	2			
おおきくなった(書く)	4	【じょうほう】メモをとるとき	3	俳句を楽しもう(伝文)	1	新聞を作ろう(書く)	12			
おおきな かぶ(物語・文学)	6	こんなもの、見つけたよ(書く)	10	こそあど言葉を使いこなそう(言語)	2	【コラム】アンケート調査のしかた(書く)	3			3 文字の組み立て方(書写)(中と外)と、穂先の動き『道』
④せんの とちゅうのかきかた(書写)	2	【レッツ・トライ】(書写) ①メモのとり方 ②お話の 聞きとりメモ	3	3「たて画」の筆使い(書写) 『土』	2	【レッツ・トライ】(書写) 発表しりょう 一学習内ようまとめる	1			<硬筆の学習>(書写) 文字の組み立て方(中と外)
⑤にている ひらがな(書写)	2	【レッツ・トライ】(書写) ②よこ書きの 書き方—算数の ノート	3	【知りたい 文字の世界】 筆について知ろう	3	3 筆順と字形(書写)『左右』 <こう筆の学習>(書写)筆順と字形	3			【レッツ・トライ】(書写) 文化—『竹取物語』を書く
はきへをつかおう(言語)	3	あったらいいな、こんなもの(話す・聞く)	8	仕事のくふう、見つけたよ(書く)	12	カンジエーはかせの都道府県の旅2(漢字)	2			同じ読み方の漢字(漢字)
すきなもの、なあに(話す・聞く)	7			【コラム】符号など(言語)						
すきなもの、なあに(書く)		夏が いっぱい(伝文)	2	夏のくらし(伝文)	2	夏の楽しみ(伝文)	2			夏の夜(伝文)
おむすびころりん(伝文)	5	お気に入りの本をしょうかいしよう(読書)	6	はじめて知ったことを知らせよう	5	事実にもとづいて書かれた本を読もう	5	作家で広げるわたしたちの読書		
としょかんとなかよし(読書)	2			鳥になったきょうりゅうの話(読書)	5	ランドセルは海をこえて(読書)	5	カレーライス(読書)		
こんなことが あったよ(書く)	6	ミリーのすてきなぼうし(読書)	6							
⑥ますめの なかの かくところ(書写)	1			4「はらい」の筆使い(書写) 『大』	3	4 ひらがなの筆使い(書写) 『はず』	2	4 筆順と字形(書写) 『成長』		
⑦じのかたち(書写)	1	3 かん字の 学しゅう(書写) ①書きじゅん	2	<こう筆の学習>(書写) 『はらい』	1	【レッツ・トライ】(書写) ノート —理科のノート	1	<硬筆の学習>(書写) 筆順と字形		
よこがきの かきかた ⑧ひらがなの ひょう(書写)	1			【レッツ・トライ】(書写) はがき—暑中みまい	1					

		中学校					
6年		1年		2年		3年	
教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数
つないで、つないで、一つのお話 (話す・聞く)	1	朝のリレー(詩)	1	見えないだけ(詩)	1	世界はうつくしいと(詩)	1
春の河ノ小景異情(詩)	1	野原はうたう(詩)	1	続けてみよう	-	続けてみよう	-
続けてみよう (気になるニュースを集めよう)	1	声を届ける(音読・発表)	2	アイスプラネット(小説)	4	握手(小説)	4
帰り道(物語・文学)	4	書き留める(書く)	2				
地域の施設を活用しよう(読書)	1	言葉を調べる(書く)	2				
漢字の形と音・意味(漢字)	2	続けてみよう	-				
春のいぶき(伝文)	2			[聞く]問いを立てながら聞く	1		
聞いて、考えを深めよう(話す・聞く)	6	シンジュン(物語)	4	季節のしおり 春	-	[聞く]評価しながら聞く	1
文字の旅(書写)						季節のしおり 春	-
1 はじめの学習(書写) ■学習の進め方 ■点画の種類 ■姿勢と持ち方、用具のあつかい方	2	(書写) 詩「ふしぎ」金子みすゞ 目次 第1学年 目的に合わせて書こう 姿勢と用具の使い方 学習の進め方 書写を通して学んでいくこと 扉 第1学年 学習内容を効果的にノートに書こう	-	目次 第二学年(書写) (コラム)あの人が残した文字	-	目次 第三学年(書写)	-
漢字の広場①(漢字)	1	[聞く]情報を正確に聞き取る	1	枕草子(古文)	3	学びて時に之を習ふ —「論語」から(漢文・解説)	2
笑うから楽しい(説明的な文章)	7	情報整理のレッスン 比較・分類	1	情報処理のレッスン 思考の視覚化	1	情報処理のレッスン 情報の信頼性	1
時計の時間と心の時間 (説明的な文章)	7	情報を整理して書こう わかりやすく説明する	4	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	5	文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する	4
[情報]主張と事例	1	漢字1 漢字の組み立てと部首(漢字)	1	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1	1	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1	1
話し言葉と書き言葉(言語)	1	漢字に親しもう1	1				
2 文字の大きさと配列(書写) 『歩む』	2	— 楷書で書こう(書写) 1 筆使い —基本点画— 2 筆使いと字形「天地」	2	— 行書で書こう(書写) 1 点画の省略「初志」	2	— 行書を深めよう(書写) 1 点画の変化と連続「創造」	1
たのしみは(書く)	3	ダイコンは大きな根?(説明)	2	クマゼミ増加の原因を探る(報告)	4	作られた「物語」を超えて(論説)	3
文の組み立て(言語)	2	ちょっと立ち止まって(説明)	3				
天地の文(伝文)	1	思考のレッスン1 意見と根拠(記録)	1	思考のレッスン1 具体と抽象	1	思考のレッスン 具体化・抽象化	1
[情報]情報と情報をつなげて伝えるとき	2	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	4	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	5	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける リオの伝説のスピーチ(資料)	4
私たちにできること(書く)	5	漢字に親しもう2	1	漢字に親しもう2	1	漢字に親しもう2	1
[レッツ・トライ](書写) メモ —話し合いメモ	1	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	2	文法への扉1 単語をどう分ける?	2	文法への扉1 すいかは幾つ必要?	1
3 文字の組み立て方(三つの部分) (書写)『湖』	3	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	3	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	3	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	3
<硬筆の学習>(書写) 文字の組み立て方 (左右、上下、中と外)	3	— 楷書で書こう(書写) 3 学習を生かして書く・字形、筆順—	2	— 行書で書こう(書写) 2 筆順の変化「新緑」	2	— 行書を深めよう(書写) 1 点画の変化と連続「創造」	1
私たちにできること(書く)	5	詩の世界(詩・解説)	3	短歌に親しむ(短歌・解説) 短歌を味わう(短歌)	4	俳句の可能性(俳句・解説) 俳句を味わう(俳句)	3
夏のさかり(伝文)	2	比喩で広がる言葉の世界(説明)	2	言葉の力(随筆)	2	言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を旨ざして	1
私と本(読書)	5	言葉1 指示する語句と接続する語句 言葉をもっと集めよう もっと「伝わる」表現を旨ざして	2	言葉1 類義語・対義語・多義語	2	言葉1 和語・漢語・外来語	1
森へ(読書)	5	読書を楽しむ(読書活動) 本の中の中学生(読書) あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに見える光 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い	2	読書を楽しむ(読書活動) 翻訳作品を読み比べよう(読書) 星の王子様 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	2	読書を楽しむ(読書活動) 「私の一冊」を探しにいこう(読書) 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと?	2
[レッツ・トライ](書写) ノート —国語のノート	1	季節のしおり 夏	-	季節のしおり 夏	-	季節のしおり 夏	-
[レッツ・トライ](書写) リーフレット—校外学習のリーフレット	1	二 楷書と仮名を調和させて書こう(書写) 1 筆脈「いろは歌」 2 楷書に調和する仮名「いろは歌」	2	— 行書で書こう(書写) 3 学習を生かして書く —行書の特徴—	2	二 行書と仮名を調和させて書こう(書写) 1 行書と仮名の調和「美しい自然」	1
[知りたい 文字の世界] 文字の成り立ち	-						

□	話すこと ・聞くこと
□	書くこと
□	読むこと
□	言語

国語～単元ナビ～ 2学期		小学校										
1年		2年		3年		4年		5年				
月	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数		
8 9	こえにだしてよもう いちねんせいのおた(詩)	2	雨のうた(詩)	2	わたしと小鳥とすずと(詩)	2	忘れもの(詩)	2	からたちの花(詩)	1		
	ききたいな、ともだちのはなし(話す・聞く)	2	ことばでみちあんない(話す・聞く)	3	夕日がせなかをおしてくる(詩)	3	ぼくは川(詩)	2	どちらを選びますか(話す・聞く)	2		
	たのしいな、ことばあそび(伝文)	2	かん字のひろば②(漢字)	2	山小屋で三日間すごすなら(話す・聞く)	3	あなたなら、どう言う(話す・聞く)	3	新聞を読もう(説明的な文章)	3		
	やくそく(物語・文学)	8	どうぶつ園のじゅうい(説明的な文章)	12	ポスターを読もう(説明的な文章)	2	パンフレットを読もう(説明的な文章)	2	敬語(言語)	2		
	かたかなを みつけよう(言語)	2		ローマ字(言語)	4	漢字の広場③(漢字)	2	たずねびと(物語・文学)	6			
	うみの かくれんぼ(説明的な文章)	8	ことばあそびをしよう(伝文)	2	ちいちゃんのかけおくり(物語・文学)	10	ごんぎつね(物語・文学)	12	漢字の広場②(漢字)	1		
	かずと かんじ(言語)	4	なかまのことばとかん字(漢字)	2	【レッツ・トライ】(書写) ①原こう用紙 ②カード	1	【レッツ・トライ】(書写) はがき — けい老の日のほがき	1	【レッツ・トライ】(書写) メモ — 工場見学のメモ	1		
	3 かたかなの がくしゅう(書写) ①かたかなの かきかた ②じの かたち ③にているじ	3	②画の 方こう(書写) 文字をくらべて 話し合おう(書写)	4	5 「おれ」と「はね」の筆使い(書写) 『カ』 <こう筆の学習>(書写) 「おれ」と「はね」	3	【レッツ・トライ】(書写) はがき — けい老の日のほがき 5 文字の組み立て方(左右)(書写) 『林』	2	5 文字の大きさ(漢字どうし)(書写) 『白雲』	2		
くじらぐも(物語・文学)	8	かん字のひろば③(漢字)	2	修飾語を使って書こう(言語)	2	秋の楽しみ(伝文)	2	漢字の読み方と使い方(漢字)	2			
10	しらせたいな、見せたいな(書く)	10	お手紙(物語・文学)	12	秋のくらし(伝文)	2	クラスみんなで決めるには(話す・聞く)	8	よりよい学校生活のために(話す・聞く)	6		
		主語と述語に 気をつけよう(言語)		2		漢字の広場④(漢字)		2		漢字の広場③(漢字)	1	
	まちがいを なおそう(書く)	2	かん字の読み方(漢字)	2	はんで意見をまとめよう(話す・聞く)	8	世界にほこる和紙(説明的な文章)	16	固有種が教えてくれること(説明的な文章)	11		
	ことばを たのしもう(伝文)	2	秋がいっぱい(伝文)	2	漢字の広場④(漢字)	2	[じょうほう]百科事典での調べ方	16	[情報]統計資料の読み方	11		
	かん字の はなし(漢字)	6	そうだんにのってください(話す・聞く)	8	6 ひらがなの筆使い(書写) 『つり』	3	伝統工芸のよさを伝えよう(書く)	6	6 文字の大きさ(漢字と平仮名)(書写) 『登る』	2		
	学しゅうの すすめかた(書写) 4 かん字の 学しゅう ①かくの おわりの かきかた	2	③画の 長さ、画と画との 間(書写)	3	<こう筆の学習>(書写)	3	6 文字の組み立て方(上下)(書写) 『笛』	2	7 穂先の動きと、線のつながり(書写) 『あこがれ』	3		
	②かくの とちゅうの かきかた(書写)	2	④画の つき方と 交わり方(書写)	2	すがたをかえる大豆(説明的な文章)	15	慣用句(伝文)	2	古典芸能の世界 — 語りで伝える(伝文)	1		
	11	じどう車くらべ(説明的な文章)	7	馬のおもちゃの作り方(説明的な文章)	14	[じょうほう]科学読み物での調べ方	15	短歌・俳句に親しもう(二)(伝文)	2	カンジ博士の暗号解読(漢字)	2	
じどう車ずかんをつくろう(書く)		5	おもちゃの作り方をせつめいしよう(書く)	6	食べ物のひみつを教えます(書く)	4	漢字の広場⑤(漢字)	1	古典の世界(二)(伝文)	1		
かたかなを かこう(言語)		2	かたかなで書くことば(言語)	2	ことわざ・故事成語(伝文)	2	漢字の意味(漢字)	2	漢字の広場④(漢字)	1		
ともだちの こと、しらせよう(話す・聞く)		6	せかいーの話(伝文)	1	漢字の意味(漢字)	2	7 文字の組み立て方(選たく)(書写) ①左右の組み立て方『土地』 ②上下の組み立て方『岩山』	5	【知りたい】文字の世界 平仮名のもとになる漢字	—		
ともだちの こと、しらせよう(書く)		8	かん字の広場④(漢字)	2	短歌を楽しもう(伝文)	1	<こう筆の学習>(書写) 文字の組み立て方	2	【レッツ・トライ】(書写) ポスター — 委員会のポスター	2		
むかしばなしを よもう(読書)		8	【知りたい】文字の せかい 何の 形から できた かん字かな	3	【レッツ・トライ】(書写) ①文化 — 俳句	1	【レッツ・トライ】(書写) ②手紙 — お店見学のお礼じょう	1				
おかゆの おなべ		2	⑤文字の 中心(書写)	2	漢字の広場⑤(漢字)	2	3年とうげ(物語・文学)	6	ブラタナスの木(物語・文学)	8	やなせたかしーアンパンマンの勇氣(物語・文学)	5
③文字の かたち(書写)		2	【知りたい】文字の せかい 何の 形から できた かん字かな	3	漢字の広場⑤(漢字)	2	たから島のぼうけん(書く)	10	感動を言葉に(書く)	7	あなたは、どう考える(書く)	6
④かきじゅん(書写)	2	⑤文字の 中心(書写)	2	冬にくらし(伝文)	2	冬のくらし(伝文)	2	冬の朝(伝文)	2			
12	ものの 名まえ(言語)	6	わたしはおねえさん(物語・文学)	10	7 「曲がり」と「おれ」の筆使い(書写) 『ビル』	3	冬の楽しみ(伝文)	2	8 用紙に対する文字の大きさと配列(書写)年賀状	2		
	わらしべちょうじゃ(伝文)	1	お話のさくしゃになろう(書く)	10	⑥年がじょうと 書きぞめ(書写) 年がじょう	2	【レッツ・トライ】(書写) 文化 — 短歌	1	書きぞめ(書写) 『初春』	2		
	日づけと よう日(言語)	3	冬がいっぱい(伝文)	2	書きぞめ『正月』(書写) 小筆で書こう 書きぞめ『友だち』	2	書きぞめ(書写) 『元氣』『美しい空』	2	『世界の国』	2		
	てがみで しらせよう(書く)	6	⑥年がじょうと 書きぞめ(書写) 年がじょう	2	書きぞめ『正月』(書写) 小筆で書こう 書きぞめ『友だち』	2	書きぞめ(書写) 『元氣』『美しい空』	2				
		6	書きぞめ(書写)	2								
	⑤かきぞめ(書写)	2										

中学校

6年		1年		2年		3年	
教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数
せんねん まんねん(詩)	1	大人になれなかった弟たちに……(物語)	4	盆土産(小説)	4	挨拶—原爆の写真によせて(詩)	2
いちばん大事なものは(話す・聞く)	2	星の花が降るころに(小説)	5	字のない葉書(随筆)	3		5
利用案内を読もう(説明的な文章)	3			聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	1	故郷(小説)	
熟語の成り立ち(漢字)	2	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	1			聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1
漢字の広場②(漢字)	1			表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	3	[推敲]論理の展開を整える	1
やまなし(物語・文学)	8	項目を立てて書こう 案内文を書く	2			言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	1
		[推敲]読み手の立場に立つ	1				
[資料]イーハートヴの夢		二 楷書と仮名を調和させて書こう 3 学習を生かして書く 行の中心 4 学習を生かして書く 配列 手紙を書く(書写)	2	[推敲]表現の効果を考える	1		
4 文字の大きさと配列、点画のつながり(書写)『思いやり』	3	二 楷書と仮名を調和させて書こう (コラム)季節の行事と書写 5 学校生活を生かして書く (コラム)文字の変遷(書写)	3	二 行書を仮名を調和させて書いてみよう(書写) 1 行書と仮名の調和「喜びの声」 2 行書に調和する仮名「いろは歌」 3 文字の大きさと配列	3	二 行書と仮名を調和させて書こう(書写) 2 学習を生かして書く -配列- 『おくのほそ道』	1
言葉の変化(言語)	2	言葉2 方言と共通語	2	言葉2 敬語	1	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	1
		漢字2 漢字の音訓	1	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	1		
秋深し(伝文)	2	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(記録)	4			人工知能との未来(論説) 人間と人工知能と創造性(論説)	3
みんなで楽しく過ごすために(話す・聞く)	6	思考のレッスン2 原因と結果	1	モアイは語る—地球の未来(論説)	4		
		根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	5	思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く	4	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	4
[コラム]伝えにくいことを伝える(話す・聞く)		漢字に親しもう3	1	漢字に親しもう4	1	漢字に親しもう4	1
[レッツ・トライ](書写) 文化—『枕草子』を書く	1	[話し合い]話し合いの展開を捉える	1	[討論]異なる立場から考える	1	[議論]話し合いを効果的に進める	1
【知りたい 文字の世界】 生活と文字	1	三 行書で書いてみよう(書写) 1 行書学習のはじめに 2 楷書と行書の違い「和」 3 行書の筆使い「大」	3	(コラム)短冊と色紙(書写)	1	二 行書と仮名を調和させて書こう(書写) 2 学習を生かして書く -配列- 『おくのほそ道』	1
5 文字の大きさと配列、点画のつながり(小筆) (書写)『この道や行く人なしに秋の暮』	3			二 行書を仮名を調和させて書いてみよう(書写) 4 書く速さを意識して書く	2		
漢字の広場③(漢字)	1	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	4	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	4	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4
『鳥獣戯画』を読む(説明的な文章)							
[情報]調べた情報の用い方	11	音読を楽しもう 大阿蘇(詩)	1	音読を楽しもう 月夜の浜辺(詩)	1	音読を楽しもう 初恋(詩)	1
日本文化を発信しよう(書く)		季節のしおり 秋	-	季節のしおり 秋	-	季節のしおり 秋	-
古典芸能の世界—演じて伝える(伝文)	1	音読を楽しもう いろは歌(古文・音読) 古典の世界(古典・解説)	1	源氏と平家(古文・資料) 音読を楽しもう 平家物語(古文・音読)	1	和歌の世界(古典・解説) 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序(古文・音読)	1
カンジ—博士の漢字学習の秘伝(漢字)	2	蓬萊の玉の枝 —竹取物語から(古文)	4	扇的的—「平家物語」から(古文)	3		
漢字の広場④(漢字)	1			仁和寺にある法師 —「徒然草」から(古文)	3	君待つと —万葉・古今・新古今(古文)	2
[レッツ・トライ](書写) 小筆 —小筆を生かして書く	2	今に生きる言葉(漢文)	2				
■好きな言葉を書く(書写) (『実現』『夢』『仲間』『友情』)	4	三 行書で書いてみよう(書写) 4 点画の連続と変化1「大木」 5 点画の連続と変化2「栄光」	3	二 行書を仮名を調和させて書いてみよう(書写) 5 学習を生かして書く	3	書初めを書く(書写) 「友好の精神」「真理の探究」	1
狂言 柿山伏(物語・文学)	4	「不便」の価値を見つめ直す(意見)	4	漢詩の風景(漢詩・解説) 君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	4	夏草 —「おくのほそ道」から(古文) 古典名句・名言集(古文・漢文)	4
「柿山伏」について						誰かの代わりに(論説)	3
大切にしたい言葉(書く)	6	助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	2	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	2	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く	2
		漢字に親しもう4	1	漢字に親しもう5	1	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	1
漢字の広場⑤(漢字)	1	文法への扉2 言葉の関係を考えよう	2	文法への扉2 走る。走らない。走らうよ。	2	文法への扉2 「ない」の違いがわからない?	1
冬のおとずれ(伝文)	2	考える人になろう(読書) 君たちはどう生きるか たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう	1	研究の現場によるこそ(読書) 日本に野生のゾウやサイがいた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう	1	本は世界への扉(読書) エルサルバドルの少女 紛争地の看護師 読書案内 本の世界を広げよう	1
書きぞめ(書写) 『理想』 『伝統を守る』	2	季節のしおり 冬	-	季節のしおり 冬	-	季節のしおり 冬	-
		書初めを書く(書写) 「新たな決意」「世界遺産」	2	書初めを書く(書写) 「生命の尊重」「伝統の継承」	2	書初めを書く(書写) 「友好の精神」「真理の探究」	1

話すこと
・聞くこと

書くこと

読むこと

言語

国語～単元ナビ～ 3学期		小学校									
1年		2年		3年		4年		5年			
月	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	
1	こえに出して よもう かたつむりのゆめ/はちみつのゆめ(詩)	2	詩の楽しみ方を見つけよう ねこのこ/おどのはなびら(詩)	2	詩のくふうを楽しもう(詩)	4	自分だけの詩集を作ろう(詩)	4	生活の中で詩を楽しもう(詩)	2	
	ききたいな、ともだちのはなし(話す・聞く)	2	ほんたいことば(詩)	2	カンジーはかせの音訓かるた(漢字)	2		4	方言と共通語(言語)	2	
	たのしいな、ことばあそび(伝文)	2	にたいみのことば、ほんたいのいみ のことば(言語)	2	漢字の広場⑥(漢字)	2	熟語の意味(漢字)	2	漢字の広場⑤(漢字)	1	
	ためきの糸車(物語・文学)	8	かん字の広場⑤(漢字)	2	ありの行列(説明的な文章)	7	漢字の広場⑥(漢字)	2	想像力のスイッチを入れよう (説明的な文章)	8	6
	かたかなのかたち(言語)	3	おにごっこ(説明的な文章)	12			ウナギのなぞを追って (説明的な文章)	8			
	ことばを見つけよう(言語)	6	【じょうほう】本でのしらべ方 ようすをあらわすことば(言語)	4			つたわる言葉で表そう(言語)	5			
	⑤かきぞめ(書写)	2	書きぞめ(書写)	2	書きぞめ(書写)	2	書きぞめ(書写)	2	書きぞめ(書写)	2	2
	⑥かくのながさとほうこう(書写)	2	⑦文字の形(書写)	2	【正月】 小筆で書こう	2	【元気】 【美しい空】	1	【初春】 【世界の国】	1	2
	【かいて つたえあおう】(書写) ありがとうカードをかこう	2		2	【友だち】	1	【レッツ・トライ】(書写) かるた —ほうさいかるたを作る	1			
	2	どうぶつのはなちゃん(説明的な文章)	10	見たこと、かんじたこと(書く)	6	これがわたしのお気に入り(書く)	12	つながりに気をつけよう(言語)	4	伝わる表現を選ぼう(言語)	3
			楽しかったよ、二年生(話す・聞く)	8	カンジーはかせの大きはつめい(漢字)		2	もしものときにそなえよう(書く)	12	この本、おすすめします(書く)	7
			ことばを楽しもう(伝文)	1							
これは、なんでしよう(話す・聞く)			4	コンピューターのローマ字入力(言語)	2						
ずうっと、ずっと、大すきだよ (物語・文学)		8	スーホの白い馬(物語・文学)	14	わたしたちの学校じまん(話す・聞く)	8	調べて話そう、生活調査隊 (話す・聞く)	8	提案しよう、言葉とわたしたち (話す・聞く)	6	
ひっきょうぐを えらんで かこう 学しゅうのまとめ(書写)		2	【書いて つたえあおう】(書写)	4	点画のしゅるい(書写)	2	8 学習のまとめ『平和』(書写)	2	9 学習のまとめ(書写)『考える子』	2	
3	にているかん字(漢字)	3	すてきなところをつたえよう(書く)	12	モチモチの木(物語・文学)	12	まちがえやすい漢字(漢字)	2	日本語の表記(言語)	1	
	いいこといっぱい、一年生(書く)	10		7		漢字の広場⑥(漢字)	1	大造じいさんとガン(物語・文学)	6		
	【しりたい 文字のせかい】(書写) なんのかたちからできたかん字か な	1	学しゅうのまとめ(書写)	2	8 学習のまとめ(書写)『光』	2	8 学習のまとめ『平和』(書写)	2	9 学習のまとめ(書写) 『考える子』	2	
	【かん字のひょう】(書写) 一年生で学しゅうするかん字	1			【知りたい 文字の世界】 「手書き文字」と「活字」	2					

		中学校					
6年		1年		2年		3年	
教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数
詩を朗読してしようかいしよう(詩)	2	少年の日の思い出(小説)	6	走れメロス(小説)	6	温かいスープ(随筆)	3
仮名の由来(言語)	1						
メディアと人間社会(説明的な文章)	6						
大切な人と深くつながるために(説明的な文章)							
[資料]プログラミングで未来を創る							
漢字を正しく使えるように(漢字)							
[コラム]覚えておきたい言葉	2						
人を引きつける表現(言語)	3	漢字に親しもう5	1	漢字に親しもう6	1	わたしを束ねないで(詩)	2
書きぞめ(書写) 『理想』 『伝統を守る』	2	文法への扉3 単語の性質を見つけよう(文法)	2	文法への扉3 一字違いで大違い 書初めを書く(書写) 『生命の尊重』『伝統の継承』	2		
はってん(書写) —「行書」	1	書初めを書く(書写) 『新たな決意』 『世界遺産』	1	三 学習活動や日常生活に生かして書こう(書写) 1 さまざまな書く場面 (コラム)日本建築と「書」(書写)	2	書初めを書く(書写) 『友好の精神』『真理の探究』	1
思い出を言葉に(書く)	7	随筆二編(随筆)	2	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く	4	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする (話す・聞く)(書く)	6
		構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	4	言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名	2	漢字に親しもう6	
今、私は、ぼくは(話す・聞く)	6	言葉3 さまざまな表現技法 漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6	2	国語の学びを振り返ろう テーマと決めて話し合い、壁新聞を作る (話す・聞く)(書く)	5	学習を振り返ろう	4
6 学習のまとめ(書写) 『旅立ちの時』	2	三 行書で書いてみよう(書写) 6 点画の連続と省略「平和」 7 学習を生かして書く 行書の特徴	1	三 学習活動や日常生活に生かして書こう(書写) 2 学習を生かして書く 新聞 案内状 掲示物(ポスター)	2	三 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう(書写) 1 多様な表現による文字	1
漢字の広場⑥(漢字)	1	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する (話す・聞く)(書く)	5	木(詩)	2	三 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう(書写) 2 三年間の学習の成果を生かさそう	1
海の命(物語・文学)	6			(コラム)書の古典の鑑賞(書写)	-		
中学校へつなげよう 生きる(詩) 今、あなたに考えてほしいこと (説明的な文章)	4			さくらの はなびら(詩)	1		
六年間で学習したこと(書写)	2	学習を振り返ろう	3				
		(コラム)暮らしの文字を支える人々(書写)	-				

□	話すこと ・聞くこと
□	書くこと
□	読むこと
□	言語

【書くこと】

	～5歳	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
<p>育ってほしい姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、興味や関心、感覚をもつようになる。 ●先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝え合いを楽しむようになる。 ●心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、絵や文字、記号などで先生や友達に思いや考えを伝える喜びを味わうようになる。 	<p>「学び」のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●どうぞよろしく(名前) ●ぶんをつくろう(一文) ●おおきくなった(観察記録〈観点〉) ●すきなものの、なあに(二文) ●こんなことがあったよ(体験報告) ●しらせたいな、見せたいな(観察記録) ●まちがいをなおそう(推敲) ●じどう車ずかんをつくろう(説明) ●ともだちのこと、しらせよう(紹介) ●てがみでしらせよう(手紙) ●いいこといっぱい、一年生(体験報告) 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こんなもの、見つけたよ(報告) 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●仕事のくふう、見つけたよ(報告) 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新聞を作る(報告) ●[コラム]アンケート調査のしかた 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みんなが過ごしやすい町へ(報告) 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●私たちにできること(提案) 	<p>観察・報告・記録・紹介等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●書き留める ●言葉を調べる ●情報を整理して書こう ●わかりやすく説明する ●一年間の学びを振り返ろう 	<p>観察・報告・記録・紹介等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様な方法で情報を集めよう ●職業ガイドを作る ●国語の学びを振り返ろう 	<p>観察・報告・記録・紹介等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文章の種類を選んで書こう ●修学旅行記を編集する ●三年間の歩みを振り返ろう 	
		<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おもちゃの作り方をせつめいしよう(指示) 	<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食べ物のみつを教えます(説明・報告) 	<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●伝統工芸のよさを伝えよう(説明・報告) 	<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グラフや表を用いて書こう(説明・報告) 	<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本文化を発信しよう(解説) 	<p>引用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●根拠を示して説明しよう ●資料を引用してレポートを書く 	<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●根拠の適切さを考えて書こう ●意見文を書く 	<p>批判</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多角的に分析して書こう ●説得力のある批評文を書く 	
		<p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●きょうのできごと(日記) ●かんさつ名人になろう(観察記録) ●すてきなところをつたえよう(手紙) 	<p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●気持ちをこめて「来てください」(手紙) ●これがわたしのお気に入り(紹介) 	<p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お礼の気持ちを伝えよう(手紙) ●もしものときにそなえよう(意見) 	<p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あなたは、どう考える(意見) ●この本、おすすめします(推薦) 	<p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大切にしたい言葉(経験) ●思い出を言葉に(創作など) 	<p>推敲</p> <ul style="list-style-type: none"> ●項目を立てて書こう ●案内文を書く ●読み手の立場に立つ 	<p>創作・推敲</p> <ul style="list-style-type: none"> ●表現を工夫して書こう ●手紙や電子メールを書く ●表現の効果を考える 	<p>推敲</p> <ul style="list-style-type: none"> ●論理の展開を整える 	
		<p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お話のさくしやになろう(物語) ●見たこと、かんじたこと(詩) 	<p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たから島のぼうけん(物語) 	<p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感動を言葉に(詩) 	<p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日常を十七音で(俳句) 	<p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たのしみは(短歌) 	<p>書評</p> <ul style="list-style-type: none"> ●助言を自分の文章に生かそう ●作品の書評を書く 	<p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●魅力を効果的に伝えよう ●鑑賞文を書く 	<p>小論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報を読み取って文章を書こう ●グラフを基に小論文を書く 	
		<p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●構成や描写を工夫して書こう ●体験を基に随筆を書く 	<p>随筆</p> <ul style="list-style-type: none"> ●構成や展開を工夫して書こう ●「ある日の自分」の物語を書く 							

【読むこと】

	～5歳	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年			
	<p>育てほしい姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、社会とのつながりなどを意識するようになる。 ●絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、繰り返し読んだり、演じて遊んだり、年少児を招いて発表したりするようになり、言葉による伝え合いを楽しむようになる。 ●心を動かす出来事などに触れ感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わうようになる。 	<p>物語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おはなし たのしいな ●はなの みち ●おおきな かぶ ●やくそく ●くじらぐも ●たぬきの 糸車 ●ずうっと、ずうと、大すきだよ <p>詩</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いい てんき ●あさの おひさま ●いちねんせい のうた ●かたつむりの ゆめ ●はちみつの ゆめ 	<p>物語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふきのとう ●スミー ●お手紙 ●わたしはおねえさん ●スーホの白い馬 <p>詩</p> <ul style="list-style-type: none"> ●雨の歌 ●ねこのこ ●おとのはなびら ●はんたいことば 	<p>物語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●きつつきの商売 ●まいごのかぎ ●ちいちゃんのかげおくり ●三年とうげ ●モチモチの木 <p>詩</p> <ul style="list-style-type: none"> ●どきん ●わたしと小鳥とすずと ●夕日がせなかをおしてくる ●かたつむり ●ことばだいすき ●あした ●たいこ ●なみ ●かいだん 	<p>物語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●白いぼうし ●一つの花 ●ごんぎつね ●プラタナスの木 ●初雪のふる日 <p>詩</p> <ul style="list-style-type: none"> ●春のうた ●忘れもの ●ぼくは川 ●まんげつ ●月 ●つき 	<p>物語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●なまえつけてよ ●たずねびと ●やなせたかし -アンパンマンの 勇気- ●大造じいさんとガン <p>詩</p> <ul style="list-style-type: none"> ●かんがえるのつて おもしろい ●からたちの花 ●舵 ●するめ ●略 ●一ばんみじかい抒情詩 ●一ぼんの木は ●土 	<p>物語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●帰り道 ●やまなし ●狂言 柿山伏 ●「柿山伏」について ●海の命 <p>詩</p> <ul style="list-style-type: none"> ●春の河 ●小景異情 ●せんねん まんねん ●〈ぼくぼく〉 ●動物たちの恐ろしい夢のなかに ●うぐいす ●生きる 	<p>物語・小説・随筆</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シンジュン ●大人になれなかった弟たちに…… ●星の花が降るころに ●少年の日の思い出 ●随筆二編 	<p>詩・短歌・俳句</p> <ul style="list-style-type: none"> ●朝のリレー ●野原はうたう ●詩の世界 ●大阿蘇 ●さくらの はなびら 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●笑うから楽しい ●時計の時間と心の時間 ●利用案内を読む ●「鳥獣戯画」を読む ●メディアと人間社会 ●大切な人と深くつながるために ●生きものはつながりの中に ●プログラミングで未来を創る ●今、あなたに考えてほしいこと 	<p>説明・評論・論説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ダイコンは大きな根？ ●ちよつと立ち止まって ●比喩で広がる言葉の世界 ●「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ●「不便」の価値を見つめ直す 	<p>説明・評論・論説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クマゼミ増加の原因を探る ●モアイは語る君は「最後の晩餐」を知っているか ●「最後の晩餐」の新しさ 	<p>説明・評論・論説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●作られた「物語」を超えて ●人工知能との未来 ●人間と人工知能と創造性 ●誰かの代わりに
		<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●くちばし ●うみの かくれんぼ ●じどう車くらべ ●どうぶつの 赤ちゃん 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たんぼぼの ちえ ●どうぶつ園のじゆうい ●馬のおもちゃの作り方 ●おにごっこ 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●言葉で遊ぼう ●こまを楽しむ ●ポスターを読む ●すがたを変える大豆 ●ありの行列 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●思いやりのデザイン ●アップとルーズで伝える ●パンフレットを読む ●世界にほこる和紙 ●ウナギのなぞを追って 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●見立てる ●言葉の意味が分かること ●新聞を読もう ●固有種が教えてくれること ●想像力のスイッチを入れよう 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●見立てる ●言葉の意味が分かること ●新聞を読もう ●固有種が教えてくれること ●想像力のスイッチを入れよう 	<p>説明・評論・論説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クマゼミ増加の原因を探る ●モアイは語る君は「最後の晩餐」を知っているか ●「最後の晩餐」の新しさ 	<p>説明・評論・論説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クマゼミ増加の原因を探る ●モアイは語る君は「最後の晩餐」を知っているか ●「最後の晩餐」の新しさ 	<p>説明・評論・論説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クマゼミ増加の原因を探る ●モアイは語る君は「最後の晩餐」を知っているか ●「最後の晩餐」の新しさ 			
	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●とよかんへ いこう ●とよかんと なかよし ●おかゆの おなべ 	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図書館たんけん ●ミリーのすてきなぼうし 	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図書館たんていだん ●鳥になつたきょうりゅうの話 	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図書館の達人になろう ●ランドセルは海をこえて 	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図書館を使いこなそう ●カレーライス 	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図書館を使いこなそう ●カレーライス 	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域施設を活用しよう ●森へ 	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本の中の中学生 ●考える人になろう 	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●翻訳作品を読み比べよう ●研究の現場にようこそ 	<p>読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「私の一冊」を探しにいこう ●本は世界への扉 			

物語・小説・随筆

- 握手
- 故郷
- 温かいスープ

詩・短歌・俳句

- 世界はうつくしいと
- 俳句の可能性
- 俳句を味わう
- 挨拶
- 初恋
- わたしを束ねないで

説明・評論・論説

- 作られた「物語」を超えて
- 人工知能との未来
- 人間と人工知能と創造性
- 誰かの代わりに

【言葉の特徴や使い方に関する事項・我が国の言語文化に関する事項】

	～5歳	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
「読む」のながさ	<p>育ってほしい姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、興味や関心、感覚をもつようになる。 ●絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、昔話などの場面から、現代と異なる暮らしの様子や方言などを知り、言葉による伝え合を楽しみようになる。 ●伝承遊びのカルタ取りなど、遊びを通して感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。 	<p>伝統的な言語文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たのしいな、ことばあそび① ●おたしびことば ●たのしいな、ことばあそび② ●ことばを たのしもう ●わらしべちようじゃ ●たのしいな、ことばあそび③ 	<p>伝統的な言語文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いなばの 白うさぎ ●ことばあそびをしよう ●せかいーの話 ●ことばを楽しもう ●身近な動植物 	<p>伝統的な言語文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●俳句を楽しもう ●ことわざ・故事成語 ●短歌を楽しもう ●暮らし 	<p>伝統的な言語文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●短歌・俳句に親しもう(一) ●(二) ●慣用句 ●地域行事・伝統行事 	<p>伝統的な言語文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●古典の世界(一)・(二)竹取物語・平家物語・徒然草・おくのほそ道・論語・春暁 ●古典芸能の世界(落語) ●(気象) 	<p>伝統的な言語文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●天地の文 福澤諭吉 ●古典芸能の世界(狂言・能・歌舞伎・人形浄瑠璃) ●(二十四節気) 	<p>伝統的な言語文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いろは歌(古文) ●蓬萊の玉の枝ー竹取物語から(古文) ●今に生きる言葉(漢文) ●(事象・行為・心情) 	<p>伝統的な言語文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●枕草子(古文) ●扇の的ー「平家物語」から(古文) ●仁和寺にある法師「徒然草」から ●漢詩の風景(漢詩) ●(行事・暦) 	<p>伝統的な言語文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●論語(漢文) ●万葉集・古今和歌集・新古今和歌集(和歌) ●おくのほそ道(古文) ●夏草「おくのほそ道から」(古文) ●(気象・情景)
		<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●えんぴつと なかよし ●たに あわせて ありえお ●かきと かぎ ●ねこと ねっこ ●おばさんと おばあさん ●おもちやと おもちや ●あいうえおで あそぼう ●はをへを つかおう ●かたかなをみつよ ●かずと かんじ ●かたかなを かこう ●もの の 名まえ(上位語・下位語) ●日づけと よう日 ●かたかなの かたち ●ことばを 見つけよう 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●うれしい ことば ●かたかなの ひろば ●[コラム]丸、点、かぎ ●かたかなで書くことば ●にたいみのことば、はんたいのいみのことば(類義語・対義語) ●ようすをあらわすことば(擬声語・擬態語・形容詞・比喩表現) 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語辞典を使う ●[コラム]符号など ●ローマ字 ●つたわる言葉で表そう ●コンピュータのローマ字入力 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな意味を持つ言葉(多義語) ●つながりに気をつけよう 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●和語・漢語・外来語 ●敬語 ●方言と共通語 ●複合語 ●伝わる表現を選ぼう ●日本語の表記 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●話し言葉と書き言葉 ●言葉の変化 ●仮名の由来 ●[コラム]覚えておきたい言葉 ●人を引きつける表現 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指示する語句と接続する語句 ●言葉をもっと集めよう ●もっと「伝わる」表現を目ざして ●方言と共通語 ●さまざまな表現技法 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●類義語・対義語・多義語 ●言葉を比べよう ●もっと「伝わる」表現を目ざして ●敬語 ●話し言葉と書き言葉 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●言葉を選ぼう ●もっと「伝わる」表現を目ざして ●言葉・和語・漢語・外来語 ●慣用句・ことわざ・故事成語
		<p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ぶんをつくろう ●㊦㊧㊨をつかおう(主・述・修) 	<p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主語と述語に気をつけよう 	<p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こそあど言葉を使いこなそう(指示する語句) ●修飾語を使って書こう 	<p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●つなぎ言葉のはたらきを知ろう(接続する語句) 	<p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文の組み立て 	<p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●言葉のまとまりを考えよう ●言葉の関係を考えよう ●単語の性質を見つけてよう 	<p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●言葉のまとまりを考えよう ●言葉の関係を考えよう ●単語の性質を見つけてよう 	<p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●単語をどうわけます？ ●走る。走らない。走ろうよ。 ●一字違いで大違い 	<p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すいかは幾つ必要？ ●「ない」の違いがわからない？
		<p>漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ●かずと かんじ ●かん字のはなし ●にている かん字 	<p>漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ●同じ ぶぶんをもつ かん字 ●なかまのことばと かん字 ●かん字の読み方 ●カンジーはかせの大はつめい 	<p>漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の音と訓 ●へんとつくり ●漢字の意味 ●カンジーはかせの音訓かるた 	<p>漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の組み立て ●漢和辞典の使い方 ●カンジーはかせの都道府県の旅1・2 ●熟語の意味 ●まちがえやすい漢字 	<p>漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の成り立ち ●同じ読み方の漢字 ●漢字の読み方と使い方 ●カンジー博士の暗号解読 	<p>漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の形と音・意味 ●熟語の成り立ち ●カンジー博士の漢字学習の秘伝 ●漢字を正しく使えるように 	<p>漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の組み立てと部首 ●漢字の音訓 ●漢字の成り立ち 	<p>漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ●熟語の構成 ●同じ訓・同じ音をもつ漢字 ●送り仮名 	<p>漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ●熟語の読み方 ●漢字の造語力 ●漢字のまとめ

【情報の扱い方に関する事項】

	～5歳	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年	
「読む」の領域 22	<p>育ってほしい姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、興味や関心、感覚をもつようになる。 ●絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、昔話などの場面から、現代と異なる暮らしの様子や方言などを知り、言葉による伝え合いを楽しむようになる。 ●伝承遊びのカルタ取りなど、遊びを通して感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。 										

育ってほしい姿

- 遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、興味や関心、感覚をもつようになる。
- 絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、昔話などの場面から、現代と異なる暮らしの様子や方言などを知り、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
- 伝承遊びのカルタ取りなど、遊びを通して感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

情報の扱い方

- じゅんじょ
- メモをとるとき
- 本でのしらべ方
- 知りたいことの見つけ方、調べ方

情報の扱い方

- 分ける・くらべる
- 全体と中心
- 引用するとき
- 科学読み物での調べ方
- 知りたいことの見つけ方、調べ方

情報の扱い方

- 分ける・くらべる
- 考えと例
- 要約するとき
- 百科事典での調べ方
- 課題の見つけ方、調べ方

情報の扱い方

- つなげる・広げる(マッピング)
- 原因と結果
- 目的に応じて引用するとき
- 統計資料の読み方
- 課題の見つけ方、調べ方
- 考えを図で表そう

情報の扱い方

- ものの考え方、伝え方
- 主張と事例
- 情報と情報をつなげて伝えるとき
- 調べた情報の使い方
- 課題の見つけ方、調べ方
- 考えを図で表そう

情報

- 比較・分類
- 意見と根拠
- 情報を集めよう
- 情報を読み取ろう
- 情報を引用しよう
- 原因と結果

情報

- 思考の視覚化
- 具体と抽象
- メディアを比べよう
- メディアの特徴を生かして情報を集めよう
- 「自分で考える時間」をもとう
- 根拠の吟味

情報

- 情報の信頼性
- 具体化・抽象化
- 実用的な文章を読もう
- 報道文を比較して読もう

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (書写)】

育ってほしい姿

- 身近な事象に積極的に関わる中で、必要に応じて文字を書いたり文字の大きさを変えたりして、文字を書く喜びを味わうようになる。
- 遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたり、興味や関心、感覚をもつようになる。
- 心を動かす出来事などに触れ、感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

～5歳	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年	
	執筆姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ●じをかきしせい ●えんぴつのもちかた 	執筆姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ●文字を書くしせい ●えんぴつのもちかた ●できて いるかな 	執筆姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ●よいしせいと筆の持ちかた 	執筆姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ●よいしせいと筆の持ちかた 	執筆姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ●姿勢と持ちかた, 用具のあつかい方 	執筆姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ●姿勢と持ちかた, 用具のあつかい方 	執筆姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ●姿勢と用具の使い方 			
	筆順 <ul style="list-style-type: none"> ●かきじゆん(平・片・漢) ●ひょう(平・片・漢) 	筆順 <ul style="list-style-type: none"> ●書きじゆん(漢) 	筆順 <ul style="list-style-type: none"> ●筆順と字形(硬筆) 	筆順 <ul style="list-style-type: none"> ●筆順と字形『左右』 ●筆順と字形(硬筆) 	筆順 <ul style="list-style-type: none"> ●筆順と字形『成長』 ●筆順と字形(硬筆) 	筆順 <ul style="list-style-type: none"> ●筆順と字形 	楷書 <ul style="list-style-type: none"> ●筆使い(基本点画) ●筆使いと字形『天地』 ●字形・筆順 ●[コラム]筆, 墨, 硯, 紙について知ろう 			
	筆使い <ul style="list-style-type: none"> ●たのしく かこう ●せんの おわりのかきかた(平) ●せんの とちゅうのかきかた(平) ●かたかなの かきかた ●かくのおわりのかきかた(漢) ●かくのとちゅうのかきかた(漢) 	筆使い <ul style="list-style-type: none"> ●しよしゃの体そう ●画の 方こう(片) 	筆使い <ul style="list-style-type: none"> ●筆の「ほ」のやわらかさ ●力入れ方(筆圧) ●「横画」の筆使い『二』 ●「たて画」の筆使い『土』 ●「はらい」の筆使い『大』 ●「おれ」と「はね」の筆使い『力』 ●ひらがなの筆使い『つり』 ●「曲がり」と「おれ」の筆使い『ビル』 ●小筆で書こう 	筆使い <ul style="list-style-type: none"> ●点画の筆使い『花』 ●ひらがなの筆使い『はす』 	筆使い <ul style="list-style-type: none"> ●ほ先の動きと点画のつながり1・2 	筆使い <ul style="list-style-type: none"> ●ほ先の動きと点画のつながり 		行書 <ul style="list-style-type: none"> ●楷書と行書の違い『和』 ●行書の筆遣い『大』 ●点画の連続と変化1『大木』・2『栄光』 ●点画の連続と省略『平和』 ●行書の特徴 ●[コラム]暮らしの文字を支える人々 		
	字形 <ul style="list-style-type: none"> ●じをかきはじめるところ ●じの かたち(平・片・漢) ●にている ひらがな ●ひらがなの ひょう ●にている じ(片) ●かくの ながさとほうこう 	字形 <ul style="list-style-type: none"> ●画の 長さ, 画と画との間 ●画の つき方と交わり方 ●文字の 形 	字形 <ul style="list-style-type: none"> ●「はらい」(硬筆) ●「おれ」と「はね」(硬筆) ●筆順と字形(硬筆) ●「曲がり」と「おれ」(硬筆) ●文字の組み立て方(硬筆) 	字形 <ul style="list-style-type: none"> ●筆順と字形『左右』 ●筆順と字形(硬筆) ●文字の組み立て方(左右)『林』(上下)『笛』(硬筆) ●左右の組み立て方『土地』 ●上下の組み立て方『岩山』 	字形 <ul style="list-style-type: none"> ●文字の組み立て方(中と外)『草原』 ●文字の組み立て方(中と外)と, 穂先の動き『道』 ●文字の組み立て方(中と外)『硬筆』 ●筆順と字形『成長』 ●筆順と字形(硬筆) ●文字の大きさ(漢字どうし)『白雲』 ●文字の大きさ(漢字と平仮名)『登る』 ●穂先の動きと, 線のつながり『あこがれ』 	字形 <ul style="list-style-type: none"> ●文字の組み立て方(三つの部分)『湖』 ●文字の組み立て方(左右, 上下, 中と外)『硬筆』 	行書 <ul style="list-style-type: none"> ●点画の省略『初志』 ●筆順の変化『新緑』 ●行書の特徴 	行書 <ul style="list-style-type: none"> ●点画の変化と連続『創造』 		
	配列 <ul style="list-style-type: none"> ●ますめの なかのかくところ ●よこがきの かきかた 	配列 <ul style="list-style-type: none"> ●よこ書きの 書き方—算数のノート ●文字の中心 ●年がじょうと 書きぞめ 	配列 <ul style="list-style-type: none"> ●はがき—暑中みまい ●原こよう紙—セーフティ教室の作文カード—展覧会作品のカード ●文化—俳句 ●手紙—お店見学の お礼じょう 	配列 <ul style="list-style-type: none"> ●発表しりょう—学習内ようをまとめる ●はがき—けい老の日はがき ●文化—短歌 ●かるた—ぼうさいかるたを作る 	配列 <ul style="list-style-type: none"> ●文化—『竹取物語』を書く ●ポスター—委員会のポスター ●用紙に対する文字の大きさと配列 年賀状 	配列 <ul style="list-style-type: none"> ●文字の大きさと配列『歩む』 ●リーフレット ●文字の大きさと配列, 点画のつながり『思いやり』 ●文化—枕草子 ●文字の大きさと配列, 点画のつながり(小筆)『この道や行く人なしに秋の暮』 ●はってん(行書) 	配列 <ul style="list-style-type: none"> ●文字の大きさと配列, 点画のつながり(小筆)『この道や行く人なしに秋の暮』 ●はってん(行書) 	行書と仮名の調和 <ul style="list-style-type: none"> ●行書と仮名の調和『喜びの声』 ●行書に調和する仮名『いろは歌』 ●文字の大きさと配列 ●書く速さを意識して書く ●[コラム]文字の変遷 	行書と仮名の調和 <ul style="list-style-type: none"> ●行書と仮名の調和『美しい自然』 ●配列『奥の細道』 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●がっこうのじたんけん ●【かいて つたえあおう】ありがとカードをかこう ●ひつきようぐを えらんで かこう ●学しゅうの まとめ ●なんの かたちからできた かん字かな 	<ul style="list-style-type: none"> ●町の文字たんけん ●学しゅうの すずめ方 ●メモの とり方 ●お話の聞きとりメモ ●文字をくらべて話し合おう ●知りたい文字のせかい ●書いて つたえ合おう ●学しゅうの まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の 進め方 ●毛筆用具の名前とおき方やあつかい方 ●あとかたづけ ●筆について知ろう ●点画の種類 ●学習のまとめ『光』 	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の「こんにちは」 ●学習の 進め方 ●毛筆用具の名前と置き方やあつかい方 ●点画の種類 ●あとかたづけ ●ノート—理科のノート ●学習のまとめ『平和』 	<ul style="list-style-type: none"> ●場面に合わせた書きかたの工夫 ●学習の 進め方 ●点画の種類 ●「活字」について知ろう ●メモ—工場見学のメモ ●平仮名のもとになる漢字 ●学習のまとめ『考える子』 	<ul style="list-style-type: none"> ●文字の旅 ●学習の 進め方 ●点画の種類 ●メモ—ノート ●文字の成り立ち ●生活と文字 ●小筆を生かして書く ●好きな言葉を書く ●学習のまとめ『旅立ちの時』 ●六年間で学習したこと 	<ul style="list-style-type: none"> ●目的に合わせて書こう ●学習の進め方 ●書写を通して学んでいくこと ●学習内容を効果的にノートに書こう 	さまざまな書式 <ul style="list-style-type: none"> ●[コラム]あの人が残した文字 ●さまざまな書く場面 ●[コラム]日本建築と「書」 ●学習を生かして書く 新聞, 案内状, 掲示物(ポスター) ●[コラム]書の古典の鑑賞 	身のまわりの多様な文字 <ul style="list-style-type: none"> ●多様な表現による文字 ●三年間の学習の成果 	
	●かきぞめ(硬筆)	●書きぞめ(硬筆)	●書きぞめ(毛筆)	●書きぞめ(毛筆)	●書きぞめ(毛筆)	●書きぞめ(毛筆)	●書きぞめ(毛筆)	●書きぞめ(毛筆・行書)	●書きぞめ(毛筆・行書)	

【電子データ】

データは校務用パソコンで配布します。校務用パソコンの「草加市小中学校→幼保小中一貫電子データ」から、各自の校務用パソコンにコピーして使ってください。誤ってデータを削除したり、保存場所を移動したりすることのないようご注意ください。

ページ	データ名	ファイル形式
P.12-17	01 単元配列表	Word Excel
P.18-23	02 学びのつながり	PDF

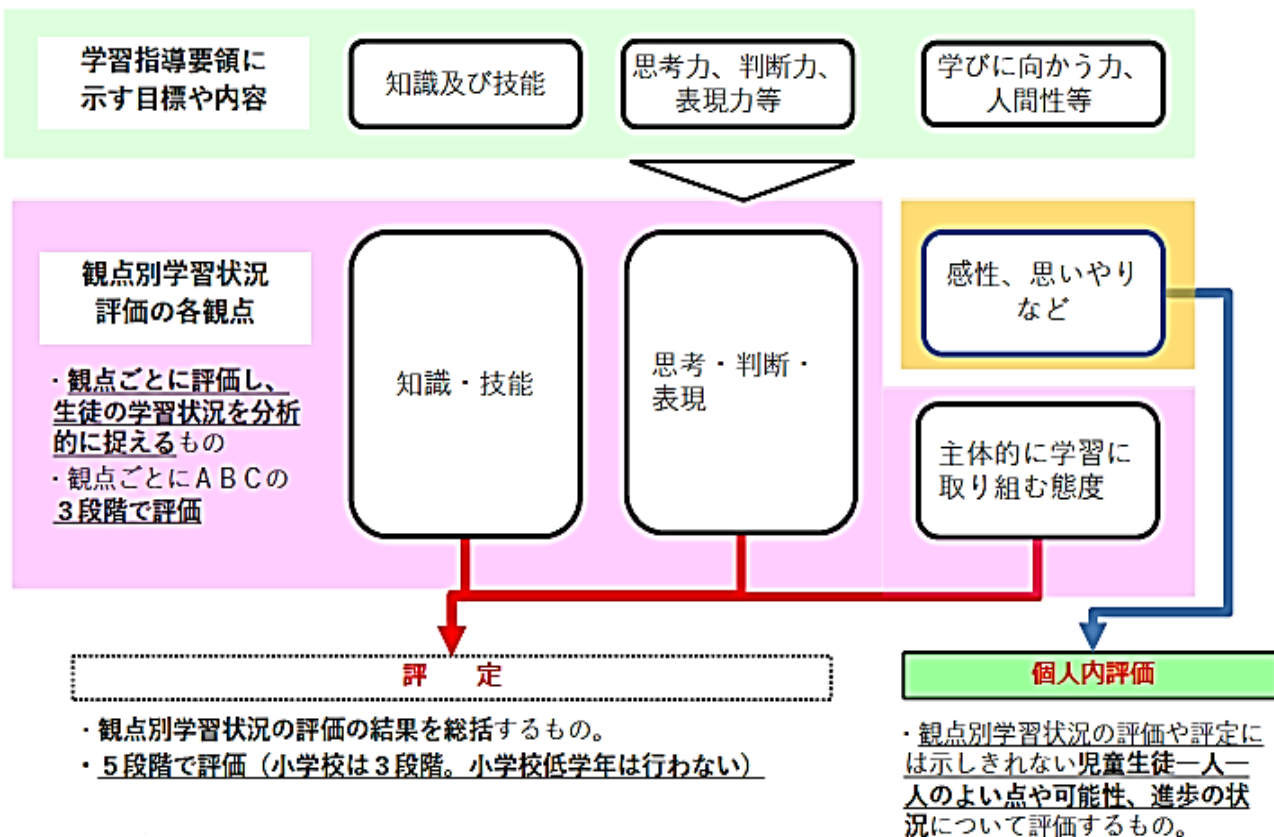
※単元配列表のデータについてはA3版で載せています。

【学習評価について】

各教科における評価の基本構造



- ・各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの（目標準拠評価）
- ・したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なる。



～新学習指導要領下における学習評価及び指導要録の改善について 文部科学省より～

III

幼児期の姿について



幼児期の教育を理解することは・・・

- ・幼児期の遊びを通した学びの体験が、小学校以降の学びの基礎を培っていることへの理解を深める。
- ・小学校教育で、児童が主体的に学びや生活を創り出す姿の実現を図ることにつながる。

幼児期の教育は・・・

- ・環境を通して行う教育を基本とした活動、遊び。
- ・幼児期にふさわしい生活や自発的に取り組む遊びを通した活動、遊び。
- ・子どものよさや可能性を見通した、5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)のねらいや内容を含んだ活動、遊び。



【5領域】教育・保育のねらいや内容を幼児の発達の側面からまとめ、示したもの

健康	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
人間関係	他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。
環境	周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
言葉	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
表現	感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

point

- 遊びなどを通して、話したり、聞いたり、話し合ったり、読んだりする喜びを味わう。
- 遊びを通して文字や言葉に触れ、平仮名等に興味をもったり、文字や言葉で表現する喜びを味わったりする。
- ※幼稚園・保育園・認定こども園は、小学校の学習を先取りするところではありません。
- ※幼保小情報交換会等の際に小学校から各園に「漢字が読めるように」「平仮名を書けるように」等のお願いをすることは、学びのつながりには必ずしもなりません。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」などを基に、どのような資質・能力を育むとよいかなどを情報交換してみましよう。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】 … () 内は保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の表記

幼児教育のねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学期の具体的な姿

<p>1 健康な心と体</p>	<p>2 自立心</p>
<p>幼稚園（保育所、幼保連携型認定こども園）生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。</p>	<p>身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。</p>
<p>3 協同性</p>	<p>4 道徳性・規範意識の芽生え</p>
<p>友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。</p>	<p>友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。</p>
<p>5 社会生活との関わり</p>	<p>6 思考力の芽生え</p>
<p>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園（保育所、幼保連携型認定こども園）内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。</p>	<p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。</p>
<p>7 自然との関わり・生命尊重</p>	<p>8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p>
<p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。</p>	<p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p>
<p>9 言葉による伝え合い</p>	<p>10 豊かな感性と表現</p>
<p>先生（保育士等、保育教諭等）や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p>	<p>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</p>

5歳児後半の姿

流してたしかめよう！

ここをつなげたいよ～！

多様な遊びを通して自分の思いを伝えたり、役割を果たしたりする中で、言葉による伝え合いや道徳性・規範意識の芽生え、思考力の芽生え、協同性などの姿が見られるようになります。

実物と図鑑の絵や文字を照らし合わせる中で、思考力の芽生えや言葉による伝え合い、自然との関わりなどの姿が見られるようになります。

これといっしょだね！

鬼は三人にしようよ！

遊びのルール決めにおいて、ルールについて話し合ったり、伝え合ったりすることで、道徳性・規範意識の芽生えや言葉による伝え合い、文字などへの関心・感覚、健康な心と体などの姿が見られるようになります。



一緒につくると
楽しいな！

小学校との交流等での遊びを
通して、豊かな感性と表現、文字
などへの関心・感覚、言葉による
伝え合いなどの姿が見られるよ
うになります。

園でもやってみたいな！

地域の方による読み聞かせ等
により、豊かな感性と表現、思考
力の芽生え、社会生活との関わり
などの姿が見られるようになります。



月でうさぎがもちつきしてるんだって！
今日、お月様を見てみようかな。



しぼるようにすると
よく泥がとれるよ！

こんなに泥がくっついて
いるんだね！

体験的な活動等から、社
会生活との関わり、思考力
の芽生え、言葉による伝え
合いなどの姿が見られるよ
うになります。

こうした活動によって育つ資質・能力は、小学校以降の学習活動の土台になります。

幼児期の遊びを通した学びの具体例 ～カマキリの卵～

活動の様子	具体例の中で見られる 幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿
<ul style="list-style-type: none"> ●二つの飼育箱に一つずつカマキリの卵が入っている。片方は飼育箱の壁にくっつき、取れて下に落ちた状態で、もう一つは底に直接産んだようだった。 ●カマキリを家から持ってきたA男は、その卵の状態を気にしている様子だった。アゲハチョウのサナギは、棒から落ちると羽化する時に上手く羽を広げることが出来ないことがあるので、A男は、そのことを気にしている様子だった。 ●チョウのサナギはどうやって羽化するのか、どうして糸でぶら下がっていることが羽化に大切なのか、A男は一生懸命、保育者に話している。 ●保育者がA男に、カマキリとアゲハチョウがふ化する際の卵の状態の違いを話すと、A男は、安心した様子だった。 ●A男が、二つの卵を見比べていると「ちょっと卵が違うねえ、一つは丸っこくてもう一つは長細いね。縦に筋みたいのがある。」ということに気付いた。 ●A男は図鑑を集めてきて、何のカマキリの卵か調べ始めた。もう一つのカマキリの卵を持ってきたB男たちもやって来て、みんなでカマキリの卵の図を図鑑から探し当てた。子どもたちは、丸みのある卵は、「オオカマキリ」、長細い卵は、「チョウセンカマキリ」じゃないかと話し合っている。 ●「オオカマキリは、卵を産む前は緑色で、大きなカマキリだったから間違いないね。」「コカマキリとチョウセンカマキリの卵は、両方とも長細くて筋があるけど、コカマキリの親は茶色だよ。卵を産む前の親は、確か緑色だったよ。」とB男が思い出した。 ●ところが、図鑑で確かめようとしても、チョウセンカマキリが載っている図鑑が見つからなかった。 ●子どもたちは、どうしても確かめたいらしく、家で調べて来ようという話になった。家にもっと詳しい図鑑を持っているという子どもは、「チョウセンカマキリ」という名前を忘れないように、繰り返し唱えて覚えていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●思考力の芽生え ●自然との関わり・生命尊重 ●数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ●言葉による伝え合い



IV

学びのつながり 実践事例



言葉の特徴や使い方に関する事項

言葉の働き

小学校			中学校		
第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。	ア 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	ア 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。		ア 言葉には相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。	

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の単元を通して言葉がもつ働きに改めて気付くようにする。(言葉を自覚的に用いることができるようにする。)

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
さあ はじめよう <ul style="list-style-type: none"> ● いい てんき ● あつまって はなそう ● どうぞ よろしく ● なんて いおうかな ● こんな もの みつけたよ 	言葉の準備運動 <ul style="list-style-type: none"> ● じゅんばんに ならぼう 対話の練習 <ul style="list-style-type: none"> ● ことばで みち あんない 話す <ul style="list-style-type: none"> ● 楽しかったよ、二年生 	言葉の準備運動 <ul style="list-style-type: none"> ● よく聞いて、じこしようかい 対話の練習 <ul style="list-style-type: none"> ● 山小屋で三日間 すごすなら 話す <ul style="list-style-type: none"> ● わたしたちの学校 じまん 	言葉の準備運動 <ul style="list-style-type: none"> ● こんなところ が同じだね 対話の練習 <ul style="list-style-type: none"> ● あなたなら、 どう言う 話す <ul style="list-style-type: none"> ● 調べて話そう、生活調査隊 	言葉の準備運動 <ul style="list-style-type: none"> ● 教えて、あなたのこと 対話の練習 <ul style="list-style-type: none"> ● どちらを選びますか 話す <ul style="list-style-type: none"> ● 提案しよう、言葉とわたし 	言葉の準備運動 <ul style="list-style-type: none"> ● つないで、つないで、一つのお話 対話の練習 <ul style="list-style-type: none"> ● いちばん大事なものは 話す <ul style="list-style-type: none"> ● 今、私は、ぼくは 	音読・発表 <ul style="list-style-type: none"> ● 声を届ける 話す <ul style="list-style-type: none"> ● 話の構成を工夫しよう ● 好きなことをスピーチで紹介する ● 一年間の学びを振り返ろう 	話す <ul style="list-style-type: none"> ● 魅力的な提案をしよう ● 資料を示してプレゼンテーションをする ● 国語の学びを振り返ろう 	話す <ul style="list-style-type: none"> ● 説得力のある構成を考えよう ● スピーチで社会に思いを届ける ● 三年間の歩みを振り返ろう
話す・聞く・話し合う <ul style="list-style-type: none"> ● ききたいな、ともだちのはなし① ● わけを はなそう ● すきな もの、なにあに ● ききたいな、ともだちのはなし② ● ともだちのこと、しらせよう ● ききたいな、ともだちのはなし③ ● これは、なんでしょう 	聞く <ul style="list-style-type: none"> ● ともだちをさがそう ● あつたらいいな、こんなもの 	聞く <ul style="list-style-type: none"> ● もっと知りたい、友だちのこと ● [コラム] きちんとつたえるために 	聞く <ul style="list-style-type: none"> ● 聞き取りメモのくふう ● [コラム] 話し方や聞き方から伝わること 	聞く <ul style="list-style-type: none"> ● きいて、きいて、きいてみよう ● [コラム] インタビューをするとき 	聞く <ul style="list-style-type: none"> ● 聞いて、考えを深めよう 	聞く <ul style="list-style-type: none"> ● 情報を正確に聞き取る ● 聞き上手になろう ● 質問で話を引き出す 	聞く <ul style="list-style-type: none"> ● 問いを立てながら聞く ● 聞き上手になろう ● 質問で思いや考えを引き出す 	聞く <ul style="list-style-type: none"> ● 評価しながら聞く ● 聞き上手になろう ● 質問で相手の思いに迫る
	話し合う <ul style="list-style-type: none"> ● そうだんにのってください 	話し合う <ul style="list-style-type: none"> ● ほんで意見をまとめよう 	話し合う <ul style="list-style-type: none"> ● クラスみんな で決めるには 	話し合う <ul style="list-style-type: none"> ● よりよい学校生活のために ● [コラム] 意見が対立したときには 	話し合う <ul style="list-style-type: none"> ● みんなで楽しく過ごすために ● [コラム] 伝えにくいことを伝える 	話し合い <ul style="list-style-type: none"> ● 話し合いの展開を捉える ● 話題や展開を捉えて話し合おう ● グループディスカッションをする 	討論 <ul style="list-style-type: none"> ● 異なる立場から考える ● 立場を尊重して話し合おう ● 討論で多角的に検討する 	議論 <ul style="list-style-type: none"> ● 話し合いを効果的に進める ● 合意形成に向けて話し合おう ● 課題解決のために会議を開く

小学校			中学校		
第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。	ア 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	ア 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。		ア 言葉には相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。	

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の単元を通して言葉がもつ働きに改めて気付くようにする。(言葉を自覚的に用いることができるようにする。)

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
<ul style="list-style-type: none"> ●どうぞよろしく(名前) ●ぶんをつくろう(一文) ●おおきくなった(観察記録(視点)) ●すきなもの、なあに(二文) ●こんなことがあったよ(体験報告) ●しらせたいな、見せたいな(観察記録) ●まちがいをなおそう(推敲) ●じどう車ずかんをつくろう(説明) ●ともだちのこと、しらせよう(紹介) ●てがみでしらせよう(手紙) ●いいこといっぱい、一年生(体験報告) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●こんなもの、見つけたよ(報告) 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●おもちゃの作り方をせつめいしよう(指示) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●きょうのできごと(日記) ●かんさつ名人になろう(観察記録) ●すてきなところをつたえよう(手紙) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●お話のさくしやになろう(物語) ●見たこと、かんじたこと(詩) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●仕事のくふう、見つけたよ(報告) 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●食べ物のひみつを教えてください(説明・報告) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●気持ちをこめて「来てください」(手紙) ●これがわたしのお気に入り(紹介) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●たから島のぼうけん(物語) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●新聞を作ろう(報告) ●[コラム]アンケート調査のしかた 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●伝統工芸のよさを伝えよう(説明・報告) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●お礼の気持ち伝えよう(手紙) ●もしものときにそなえよう(意見) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●感動を言葉に(詩) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●みんなが過ごしやすい町へ(報告) 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●グラフや表を用いて書こう(説明・報告) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●あなたは、どう考える(意見) ●この本、おすすめします(推薦) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●日常を十七音で(俳句) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●私たちにできること(提案) 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●日本文化を発信しよう(解説) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●大切にしたい言葉(経験) ●思い出を言葉に(創作など) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●たのしみは(短歌) 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・報告・記録・紹介等 <ul style="list-style-type: none"> ●書き留める ●言葉を調べる ●情報を整理して書こう ●わかりやすく説明する ●一年間の学びを振り返ろう 引用 <ul style="list-style-type: none"> ●根拠を示して説明しよう ●資料を引用してレポートを書く 推敲 <ul style="list-style-type: none"> ●項目を立てて書こう ●案内文を書く ●読み手の立場に立つ 書評 <ul style="list-style-type: none"> ●助言を自分の文章に生かそう ●作品の書評を書く 随筆 <ul style="list-style-type: none"> ●構成や描写を工夫して書こう ●体験を基に随筆を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・報告・記録・紹介等 <ul style="list-style-type: none"> ●多様な方法で情報を集めよう ●職業ガイドを作る ●国語の学びを振り返ろう 意見 <ul style="list-style-type: none"> ●根拠の適切さを考えて書こう ●意見文を書く 創作・推敲 <ul style="list-style-type: none"> ●表現を工夫して書こう ●手紙や電子メールを書く ●表現の効果を考える 鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> ●魅力を効果的に伝えよう ●鑑賞文を書く 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●構成や展開を工夫して書こう ●「ある日の自分」の物語を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・報告・記録・紹介等 <ul style="list-style-type: none"> ●文章の種類を選んで書こう ●修学旅行記を編集する ●三年間の歩みを振り返ろう 批評 <ul style="list-style-type: none"> ●多角的に分析して書こう ●説得力のある批評文を書く 推敲 <ul style="list-style-type: none"> ●論理の展開を整える 小論文 <ul style="list-style-type: none"> ●情報を読み取って文章を書こう ●グラフを基に小論文を書く

小学校 ~低学年~

言語活動例		身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動
教材名【学年・学習時期】		こんな ことが あったよ【第1学年・7月】
目標	知識及び技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
	思考力、判断力、表現力等	自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



体験的な活動





ダムづくりが楽しかったよ。


気づき、認識

各園では、子どもたちが心動かす体験的な活動を数多く行っている。子どもたちは、その体験を、友達や先生、保護者に話し言葉を通じて伝えている。

	時	4月	時	5月	時	6月	時	7月
国語	2	いい てんき	1	はなの みち	3	あいうえおで あそぼう	3	おむすび ころりん
	1	おはなし たのしいな	2	としまかんへ いこう	4	おおきく なった	2	こじかんへ なかよし
書写	1	あつまって はなそう	1	かきと かぎ	6	おおきな かぶ	6	こんな ことが あったよ
	1	えんぴつと なかよし	4	ぶんをつくろう	3	はをへを つかおう	2	ききたいな、とだちの はなし
算数	3	どうぞ よろしく	2	ねこと ねっこ	7	すきな もの、なあに	2	たのしいな、おぼあそび
	2	なんて いおやかな	2	わけを はなそう	2	おむすび ころりん	8	やくそく
生活	2	こんな もの みつけたよ	2	おばさんと おばあさん			1	かたかなを みつけよう
	2	うたに あわせて あいうえお	8	くちばし				
音楽	1	こえに だして よもう	2	おもちゃと おもちや				
	2	ききたいな、ともだちの はなし						
	2	たのしいな、ことばあそび						
	5	はなの みち						
	1	がっこうの もじたんけん	1	かきじゆん(ひらがな)	1	せんの どちらの かきかた(ひらがな)	1	ますめの なかの かくところ(ひらがな)
	1	はじめの がくしゆう	1	じをかきはじめるところ(ひらがな)	2	にている ひらがな(ひらがな)	1	じの かたち(ひらがな)
	1	せんの おわりの かきかた(ひらがな)	1	せんの どちらの かきかた(ひらがな)				
	1	くらべたことがあるかな おおいはどちらかな	2	1 なかまづくりとかず	3	あわせていくつ ふえるといくつ	2	5 どちらがながい
	12	1 なかまづくりとかず	2	2 なんばんめ	9	4 のこりはいくつ ちがいはいくつ	2	6 わかりやすくせりしよう
			1	どのようにかわるかな	3	5 どちらがながい	9	7 10よりおきしかず
			1	しあげよう				
			7	3 あわせていくつ ふえるといくつ				
	10	がっこう だいすき	10	がっこう だいすき	8	きれいに さいてね	6	なつが やって きた
					2	なつが やって きた	2	いきものと なかよし
	4	1 うたって おどって なかよくなるう	3	2 はくを かんじとろう	4	3 はくに のって リズムをうとう	1	4 みの まわりの おとにみみをすまそう
	3	2 はくを かんじとろう	4	3 はくに のって リズムをうとう	1	うみ	2	5 どれみと なかよくなるう
					2	4 みの まわりの おとにみみをすまそう		

幼児期の教育を踏まえ、本単元では、伝えたいことを文章にする活動を通して、言葉には事物の内容や自分が経験したことを伝える働きがあることに気付かせる。

相手に何かを伝える際には、児童が伝えたいと感じる活動や体験が重要となる。そこで、生活科との関連的な指導を図り、「なつが やって きた」では、公園での遊び、水での遊び等を充実させ、伝えたい、教えたいという思いを育んでいく。初めて知ったこと、そこで感じたことについて記録したことについても称賛をし、今後の学びに向かう力につなげていく。また、生活科の学校探検で行った、「たんけんて みつけた ことを はなそう」の経験を生かし、文章等の他に絵や写真を用いながらイメージを共有できるようにしていく。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 「なつが やって きた」を想起させる。 【記録カードの例】		<input type="checkbox"/> ICT を用いて提示することで、視覚的に想起しやすいようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 導入では、生活科での経験を生かし、伝えたい、教えたいという気持ちを高められるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ・こうえんできのぼりをしたら、セミがいたよ。 ・こうえんでむしとりをしていたら、きのはっぱにセミのぬげがらがいっぱいぶらさがっていたよ。 ・こうえんのななめのところどころころころがったら、めがまわったよ。 ・こうえんでかくれんぼをしたら、けむしがいたよ。 ・こうえんで、てつなぎおにをしていたら、きりぎりすがいたよ。てでもったらかまれたよ。 ・がっこうのこうていで、しゃぼんだまをしたら、とっても大きいのができたよ。 ・がっこうのすなばでやまをつくったよ。みんなでダムもつくったよ。 ・がっこうのこうていで、みずでっぼうたいかいをしたよ。 		
2 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
はっけんしたことをおしえよう		
3 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
だれが、どこで、なにをしたのかな？		
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1; border: 2px solid orange; border-radius: 50%; padding: 20px; background-color: #fff9c4;"> <ul style="list-style-type: none"> ●めあての提示の後、活動に入る前の教師の説明が長くなっていませんか？ ●めあてだけの提示で、課題や視点が不明確のまま児童に活動させていませんか？ </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center;">  </div> </div>		
4 記録カードを振り返る。	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 <input type="checkbox"/> 「なつが やって きた」で活動をした際に、「どこで」「何を」したのかを記録させておく。



子ども達は交流するとき何をどう話していいか、順番をどうするかわからないかもしれない。次のような発表原稿みたいなものを各班に配ろう。

①話す順番をきめる

②話し方

(1)わたしは～について発表します。

(2)わたしは～で～を見つけました。

(3)なにか質問はありますか。

(4)次～さんどうぞ。

③代表して発表する人を決める



基本的にこのような発表原稿等を重視する必要はありません。

生活科での活動を充実させれば、児童は経験したことなどを誰かに伝えたいと思っています。まずは、生活科の活動において、児童が興味・関心をもち、自発的な活動ができるように配慮をする必要があります。「なつが やって きた」では、思いっきり遊ぶことを重視しましょう。そうすることにより、伝えたい、教えたいという気持ちが高まり、思考力・表現力・判断力等（書くこと）を通して、知識及び技能（言葉の働き）も身に付けることができます。

5 ペアで交流する。

ペアでの思考

★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」

□「誰が」「どこで」「何を」したのかに注目させる。

6 文章を書く。

個人での思考

評価場面

(学習活動に即した評価規準)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 言葉の働きア【知識及び技能】

(評価方法)

・ワークシートの記述

(手立て)

・B規準に達した児童には、その時に感じたことも追記するよう促す。

・B規準に達していない児童には、「誰が」「どこで」「何を」が文章に入っているか一緒に確認する。

7 家庭学習の内容を知る。

★第4条「学んだことを活用する場を設ける」

★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」

□家庭学習では、本時で書いた文章を家の人に見せる活動を行うことを伝える。

□音読カード等を通して、家の人から「誰が」「どこで」「何を」が伝わったかコメントをもらうようにする。

●家庭学習にて本時の活動が使える、生かせる場面を意図的に設定し、学びをつなげていく。

言葉の働き

小学校～中学年～

言語活動例		調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動
教材名【学年・学習時期】		仕事のくふう、見つけたよ【第3学年・7月】
目標	知識及び技能	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。
	思考力、判断力、表現力等	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】

The diagram illustrates a learning process. On the left, a child looks at a plant illustration with a thought bubble saying "なんかギザギザしてるね。" (It looks jagged somehow). Below this is a red box labeled "思考、気付き" (Thinking, Attention). An arrow points to the right, where a child is looking at a book with a thought bubble saying "この葉っぱだと思うよ。" (I think this is the leaf). Below this is a red box labeled "確認" (Confirmation).



各園では、子どもたちが日常生活の中で疑問に思ったことや不思議に思ったことについて自分たちで調べたり、大人に聞いて学んだりすることを繰り返し行っている。



上記の幼児期の教育の例や、低学年での「言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付くこと」を踏まえ、本単元では、身近なことや経験したことを報告する活動を通して、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付かせる。

本単元では、材料集めの時間を重視し、子どもたちが調べたきっかけや理由、調べて分かったこと、感想を報告文で伝えられるようにしていく。また、社会科の「学校のまわり」等と関連させて、材料集めの時間を十分取れるようにしていく。

	時	4月	時	5月	時	6月	時	7月	時
国語	1	よく聞いて、じこしょうかい	5	もっと知りたい、友だちのこと【コラム】きちんとつたえるために	1	気もちをこめて「来てください」	7	仕事のくふう、見つけたよ【コラム】符号など	
	1	どきん／つづけてみよう	2	漢字の広場②	2	漢字の広場③	2	夏のくらし	
書写	8	きつつきの商売	8	言葉で遊ぼう／こまを楽しむ【じょうほう】全体と中心	6	まいごのかぎ	5	はじめて知ったことを知らせよう／鳥になつたきょうりゅうの話	
	1	図書館たんていだん	5	気もちをこめて「来てください」	1	俳句を楽しもう	2	わたしと小鳥とすずと／夕日がせなかをおしてくる	
社会	2	国語辞典を使おう			2	こそあど言葉を使いこなそう	3	山小屋で三日間すごすなら	
	2	漢字の広場①			3	【じょうほう】引用するとき	2	ポスターを読もう	
	2	春のくらし			5	仕事のくふう、見つけたよ【コラム】符号など			
	2	漢字の音と訓							
	1	もっと知りたい、友だちのこと【コラム】きちんとつたえるために							
	1	毛筆の学習が始まるよ／学習の進め方	1	「横画」の筆使い	2	「はらい」の筆使い	1	レッツ・トライ(はがき)	
	1	はじめの学習	2	「たて画」の筆使い	1	こう筆の学習「はらい」	1	レッツ・トライ(原こう用紙、カード)	
	1	「横画」の筆使い							
	1	わたしたちのまち みんなのまち(オリエンテーション)	7	市の様子	2	市の様子	4	農家の仕事／工場の仕事	
	3	学校のまわり			1	はたらく人とわたしたちのくらし(オリエンテーション)			
	3	市の様子			4	農家の仕事／工場の仕事			

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 ●幼保小中を一貫した教育の視点 ★「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 材料を確認する。	材料の確認	<input type="checkbox"/> 社会科での記録カードを見直す。 <input type="checkbox"/> 巻末に紹介されている「もっと・しごとば」等、仕事に 関係する本を学級文庫と一緒に置いておく。 ●社会科や家庭学習での活動が活かせるようにする。
2 単元のめあてを知る。	課題の把握	★第1条「学習の目標を明らかにする」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 気になる仕事を教えよう </div>		
3 本時の学習課題を知る。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 分かったことと考えたことは？ </div>		
4 エラーモデルで考える。		★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」
<p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 言葉の働きア【知識及び技能】 (評価方法) ・記録カードの記述 (手立て) ・B規準に達した児童には、調べたきっかけ、理由について教科書の例とエラーモデルの報告文を 比べさせ、知りたいことをはっきりさせることの重要性に気付かせる。 ・B規準に達していない児童には、教科書の例とエラーモデルの報告文を比べさせる。</p>		
	<p>あまりにも短い文にさせたくないな。報告文の長さを提示しよう。 原稿用紙に書かせたいから、原稿用紙の書き方も説明しよう。 読むときに読めない字だといけないから丁寧に書くことも伝えよう。 分かりやすく伝えるためにはどうすればよいか考えさせよう。</p>	
		
<p>多すぎる視点を児童に与えていませんか。上記のように条件を多く提示することで、児童は書くことに 抵抗感を覚えてしまいます。</p> <p>大事なことは、興味・関心及び幼児期や低学年での経験で味わった言葉で伝える楽しさを継続して育ん でいくことです。また、新しい発見、分からないことは調べる、質問することを重視してみましよう。 これまでの説明的な文章で学んだことを振り返ってみるのもいいでしょう。</p>		
5 意見を共有する。	全体での思考	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 課題に立ち返って考えをまとめさせる。

6 家庭学習を知る。		<p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p> <p>□本時の学習を生かして自分の報告文を振り返らせる。</p> <p>●家庭学習にて本時の活動が使える、生かせる場面を意図的に設定し、学びをつなげていく。</p>
------------	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【エラーモデルの報告文の例】

1 調べたきっかけ、理由

いつも下校のときに見るおかし屋がどんなところか気になったので調べました。

2 調べ方

実さいに行ってみて、友達や家の人へもインタビューしました。

3 調べて分かったこと

おじいちゃんが子どものころにできました。一番人気はきなこぼうです。スーパーボールはもうおいてないそうです。

4 まとめ

いろいろ分かってよかったです。



内容のまとまりで分かれていて見やすいです。



いろいろ分かったことがあってすごいと思います。

考えたことは何ですか？



まとめに書いてあるかな？



考えたことはどれだろう？

言葉の働き

小学校～高学年～

言語活動例		意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動
教材名【学年・学習時期】		よりよい学校生活のために【第5学年・10月】
目標	知識及び技能	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。
	思考力、判断力、表現力等	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



私は～と思うんだけどどうかな。



思考、気付き



こうすればもっとよくなるんじゃない。

各園では、話し合う場を設けなくとも、子どもたちは遊びや日常生活の中で無意識に話し合いをしており、自分が伝えたいことを言葉で伝えている。



本単元では、よりよい学校生活のために、自分たちができることやしたいことを提案書にして学級に知らせる活動をする。また、何を提案するかをグループで話し合わせて考えさせる。その際、自分の考えを正確に伝えるとともに、相手を受け止め、何をどのように提案するかグループとしての考えをまとめていく中で、言葉には相手とのつながりをつくるはたらきがあることに気付かせる。児童はこれまでの生活の中でも、他者との好ましい人間関係を基に日常での挨拶や会話をしている。しかし、言葉には好ましい人間関係を築き、継続させる働きがあることを必ずしも意識しているわけではない。そこで、提案書をグループで作成する中で、言葉の働きについて確認する機会を設けながら単元を進めていく。ここでの気付きを基に中学校2学年の「言葉には相手の行動を促す働きがあることに気付くこと」へとつなげていきたい。

【学びのつながり】

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
<p>話す・聞く・話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ききたいな、ともだちのはなし① ●わけをはなそう ●すきなもの、なあに ●ききたいな、ともだちのはなし② ●ともだちのこと、しらせよう ●ききたいな、ともだちのはなし③ ●これは、なんでしょう 	<p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ともだちをさがそう ●あったらいいな、こんなもの <p>【話し合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そうだんにのってください 	<p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●もっと知りたい、友だちのこと ●【コラム】きちんとつたえるために <p>【話し合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほんで意見をまとめよう 	<p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●聞き取りメモのくふう ●【コラム】話し方や聞き方から伝わること <p>【話し合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クラスみんなで決めるには 	<p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●きいて、きいて、きいてみよう ●【コラム】インタビューをするとき <p>【話し合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●よりよい学校生活のために ●【コラム】意見が対立したときには 	<p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●聞いて、考えを深めよう <p>【話し合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みんなで楽しく過ごすために ●【コラム】伝えにくいことを伝える 	<p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報を正確に聞き取る ●聞き上手になろう ●質問で話を引き出す <p>【話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●話し合いの展開を促える ●話題や展開を捉えて話し合おう ●グループディスカッションをする 	<p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●問いを立てながら聞く ●聞き上手になろう ●質問で思いや考えを引き出す <p>【討論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異なる立場から考える ●立場を尊重して話し合おう ●討論で多角的に検討する 	<p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●評価しながら聞く ●聞き上手になろう ●質問で相手の思いに迫る <p>【議論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●話し合いを効果的に進める ●合意形成に向けて話し合おう ●課題解決のために会議を開く

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">よりよい学校生活にするための案を発表しよう</div>		
2 身の回りの問題に着目する。		<input type="checkbox"/> ICT を用いて問題となる画像を提示することで、視覚的に想起しやすいようにする。
3 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">なぜその問題を提案するのか？</div>		
4 提案する問題について考える。(個人)	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 <input type="checkbox"/> なぜ、その問題を提案するのか理由を明確にさせる。
5 提案する問題について考える。(グループ)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 意見が対立した時に、互いの意見を聞き合い、受け止め、共通点を見出すことを大切にさせる。 <input checked="" type="checkbox"/> 話し合いをするときは「人」と「意見」を区別することや意見の違いを否定的に受け止めるのではなく、肯定的に受け止めるようにして、相手とのつながりが意識できるような言葉かけを促す。これらのやり取りから自己肯定感も高めていく。
<p>意見が対立したときは・・・</p> <p>自分の思いだけを言い続けるのではなく、他の意見を聞くことが重要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に理由をたずねる言葉 「どうしてそう思うの。」 ・自分の考えの理由を伝える言葉 「なぜかという、一だからだよ。」 ・「理解した」ということを伝える言葉 「確かに、その考え方も分かる。」 ・話に区切りをつけ、次に進める言葉 「それなら、こうしたらどうかな。」 <p>このような言葉を机間指導で見取って振り返りの前に全体に紹介するとよいでしょう。</p>		





発表時はグループで必ず一つの意見にまとめさせ、発表させよう。
 話し合いの後、発表もしてもらうからグループの中で発表者も決めさせよう。
 話し合いが苦手な児童が多いから話し合いの手順を提示しよう。



話し合いの手順を提示すると、児童は手順を守ることに意識を向けてしまいます。また、「グループで必ず一つの意見」を条件にすると、発言力のある児童や、知識量が多い児童の意見が採用されがちです。

ここでは、意見がまとまらなくても発表させ、意見をまとめるための過程を重視して学級全体で考えさせたり、発表者を決めずに、意図的に教師が指名したりして、発表を人まかせにする児童をつくらないようにしましょう。また、意見を言えない場合に無理に意見を言わせようとしたり、提案する問題が決まったことだけを称賛したりするのではなく、意見が決まった過程を称賛したり、意見が言えない児童の代わりに意見を言ったり、フォローしたりした児童を称賛したりするようにしましょう。

6 振り返りをする。

振り返り

- ★第4条「学んだことを活用する場を設ける」
- ★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」
- 次時では、本時の学習を生かして発表原稿を書くことを伝える。

評価場面

(学習活動に即した評価規準)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 言葉の働きア【知識及び技能】
 (評価方法)

・ノートの記事

(手立て)

- ・B規準に達した児童には、具体的にどんな言葉を使ったことで、課題解決ができたのか振り返らせる。
- ・B規準に達していない児童には、違う意見をまとめるときに工夫したことを振り返らせる。

・単元ナビ等を活用して、話すこと・聞くことの内容を扱う時期を確認し、小中学校で相互授業参観をしてみると、より学びのつながりが見えてくるでしょう。

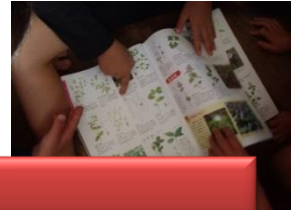


言語活動例		説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動
教材名【学年・学習時期】		魅力的な提案をしよう【第2学年・6月】
目標	知識及び技能	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。
	思考力、判断力、表現力等	資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】

説明とは、ある事柄についてその内容や理由、意義などを、相手に分かるようにして述べることであり、提案とは、聞き手に何らかの行動を促すために自分の考えを示し、意見を求めることである。これまで生徒は、小学校段階で自分が経験したことや考えたことを報告書等で説明する活動を行ってきた。また、高学年では、話し手と聞き手との好ましい人間関係を築くことの大切さを言葉を通して学んでいる。本単元では、自分たちの提案を通して、相手に行動を促すための言葉の働きについて学ぶ。魅力的な提案とは、相手の行動を促すことができたかどうかであることを共通理解とし、話し合いを行っていく。

他教科等でも本単元で学んだことを生かして提案できるようにし、分かった、できただけにとどまらず、使える、生かせるということを実感させ、学びをつなげていきたい。



思考、気づき、認識



低学年では、生活科との関連的な指導を図りながら、身近なことや経験したことを日記に書く活動を通して、言葉には事物の内容や自分が経験した事を表す働きがあることを理解し、日常の会話や他教科等の話し合いに生かしてきた。

中学年では、社会科との関連を図りながら、報告文を書く活動を通して、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解し、日常の会話や他教科等の話し合いに生かしてきた。

高学年では、学級活動との関連を図りながら、身の回りの問題についての話し合いを通して、言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることを理解し、日常の会話や他教科等の話し合いに生かしてきた。

1年		2年		3年	
教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数
思考のレッスン1 意見と根拠(記録)	1	思考のレッスン1 具体と抽象	1	思考のレッスン 具体化・抽象化	1
話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	4	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	5	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける リオの伝説のスピーチ(資料)	4
漢字に親しもう2	1	漢字に親しもう2	1	漢字に親しもう2	1

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 情報を知る。		<input type="checkbox"/> 家庭学習等で集めた情報を提示する。
2 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
中学校のことを伝えよう		
3 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
魅力的な提案とは？		
4 提案を比較する。	個人での思考	★第2条「生徒が自分で考える時間を設ける」 <input type="checkbox"/> 事柄の説明だけをしているものとそうでないものを比較させる。
【例1】		【例2】
中学校の部活動について ～小学生に向けて～	今から部活動について説明します。	私たちの班は題して「最高！部活動」です。
<u>どんな部活動があるか</u> 野球、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、吹奏楽、茶道・書道	まず、どんな部活動あるかですが、野球部、……があります。	<u>クイズ！</u> どんな部活動があるでしょう。全国にある珍しい部活も紹介
<u>部活動の決定</u> まず、4月は仮入部で、その後正式に入部します。	始めは仮入部があります。ここで体験して、入るかどうかが決めます。	<u>部活動が最高の理由①</u> みんなで喜びや苦しさなどを共有できる。
<u>部活動で注意すること</u> ・さぼることはしない ・言葉遣いは丁寧にする ・苦しくても我慢する。	特に、部活動をさぼることは認められません。	<u>部活動が最高の理由②</u> 好きなことに思いっきり打ち込める。
<u>感想</u> 部活動は小学校にない活動なので楽しいですよ。	注意することもあるけれど、私は楽しく活動しているので皆さんも頑張ってください。	<u>ここだけの情報</u> 優勝後・・・
地区大会で優勝した時、水をかけ合いました。		

<p>5 話し合う。</p> 		<p>★第3条「生徒が表現と交流する場を設ける」</p> <p>□なぜ魅力的なのか、なぜ魅力的でないのかといった意見から共通性を見いだしていく。</p> <p>●聞き手が知りたいことを想定するとともに、資料や機器を効果的に活用して、聞き手が行動したいと思わせるようにすることを大切にさせ、今後の生活においても生かせるように意見をまとめさせる。</p>
<p>グループにすると対話的な学びにつながるからグループでの話し合いをさせよう。これまでの経験から提案はできると思うから、条件なしで提案させてみよう。とりあえず原稿が書ければよしとしよう。</p>		
		
<p>まずは、生徒の実態を把握することが大切です。生徒がこれまでの経験から、自分の興味・関心をもったことを提案することや、事物の内容、自分の考えをしっかりと伝える、人間関係を土台にした言葉の働きについて理解しているのか、また、その理解したことを他教科や日常生活等で繰り返し使い、実感をしているのかを把握しておくことが重要です。そのことから、これまでの学びをつなげることが重要となります。</p> <p>また、提案文を書かせる前に、魅力的な提案の定義を生徒と共有しておく必要もあります。講義的に魅力的な提案の定義をおさえたり、教師の一方的な説明の後、原稿を書く活動を行ったりすることがないようにしましょう。プレゼン力は今後の社会において必要な力となります。人にどう伝えるか。生徒が必要感をもって活動できるようにしていきましょう。</p>		
<p>相手や目的を意識した提案となっているか 多様な方法で集めた材料を整理しているか 写真や図表を使い、相手がイメージしやすいようにしているか</p>		
<p>6 まとめをする。</p>		<p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 言葉の働きア【知識及び技能】 (評価方法) ・ノートの記述 (手立て) ・B規準に達した生徒には、自分であればどのような写真や図表を使うか考えさせる。 ・B規準に達していない生徒には、板書を基に、自分が聞き手だったらという立場で考えさせる。</p>
<p>7 次時について知る。</p>		<p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p> <p>●本時の視点を生かしてプレゼンテーションを作成することを告げる。</p>

小学校			中学校		
第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
カ 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。	カ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。	カ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。	エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めること。	ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
物語 <ul style="list-style-type: none"> ●おはなしのしな ●はなのみち ●おおきなかぶ ●やくそく ●くじらぐも ●たぬきの糸車 ●ずうと、ずうと、大すきだよ 詩 <ul style="list-style-type: none"> ●いいてんき ●あさのおひさま ●いちねんせい ●のうた ●かたつむりのゆめ ●はちみつのゆめ 	物語 <ul style="list-style-type: none"> ●ふきのとう ●スイミー ●お手紙 ●わたしはおねえさん ●スーホの白い馬 詩 <ul style="list-style-type: none"> ●雨の歌 ●ねこのこ ●おとのはなびら ●ほんたいことば 	物語 <ul style="list-style-type: none"> ●きつづきの商売 ●まいごのかぎ ●ちいちゃんのかげおくり ●三年とうげ ●モチモチの木 詩 <ul style="list-style-type: none"> ●どきん ●わたしと小鳥とすずと ●夕日がせなかをおしてくる ●かたつむり ●ことばだいすき ●あした ●たいこ ●なみ ●かいだん 	物語 <ul style="list-style-type: none"> ●白いぼうし ●一つの花 ●ごんぎつね ●プラタナスの木 ●初雪のふる日 詩 <ul style="list-style-type: none"> ●春のうた ●忘れもの ●ぼくは川 ●まんげつ ●月 ●つき 	物語 <ul style="list-style-type: none"> ●なまえつけてよ ●たずねびと ●やなせたかし ●アンパンマンの勇気 ●大造じいさんとガン 詩 <ul style="list-style-type: none"> ●かんがえるのつておもしろい ●からたちの花 ●舵 ●するめ ●路 ●一ばんみじかい抒情詩 ●一ばんの木は土 	物語 <ul style="list-style-type: none"> ●帰り道 ●やまなし ●狂言 柿山伏 ●「柿山伏」について ●海の命 詩 <ul style="list-style-type: none"> ●春の河 ●小景異情 ●せんねんまん ●《ぼく》 ●動物たちの恐ろしい夢のなか ●うぐいす ●生きる 	物語・小説・随筆 <ul style="list-style-type: none"> ●シンシユン ●大人になれなかつた弟たちに…… ●星の花が降るころに ●少年の日の思い出 ●随筆二編 	物語・小説・随筆 <ul style="list-style-type: none"> ●アイスプラネット ●言葉の力 ●盆土産 ●字のない葉書 ●走れメロス 	物語・小説・随筆 <ul style="list-style-type: none"> ●握手 ●故郷 ●温かいスープ
説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●ぐらぼし ●うみのかくれんぼ ●じどう車くらべ ●どうぶつの赤ちゃん 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●たんぼほのちえ ●どうぶつ園のじゅうい ●馬のおもちゃの作り方 ●おにごっこ 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●言葉で遊ぼう ●こまを楽しむ ●ポスターを読もう ●すがたを変える大豆 ●ありの行列 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●思いやりのデザイン ●アップとルーズで伝える ●パンフレットを読もう ●世界にはこる和紙 ●ウナギのなぞを追って 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●見立てる ●言葉の意味が分かること ●新聞を読もう ●固有種が教えてくれること ●想像力のスイッチを入れよう 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●笑うから楽しい ●時計の時間と心の時間 ●利用案内を読もう ●「鳥獣戯画」を読む ●メディアと人間社会 ●大切な人と深くつながるために ●生きものはつながりの中に ●プログラミングで未来を創る ●今、あなたに考えてほしいこと 	説明・評論・論説 <ul style="list-style-type: none"> ●ダイコンは大きな根? ●ちよつと立ち止まって ●比喩で広がる言葉の世界 ●「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ●「不便」の価値を見つめ直す 	説明・評論・論説 <ul style="list-style-type: none"> ●クマゼミ増加の原因を探る ●モアイは語る ●君は「最後の晩餐」を知っているか ●「最後の晩餐」の新しさ 	説明・評論・論説 <ul style="list-style-type: none"> ●作られた「物語」を超えて ●人工知能との未来 ●人間と人工知能と創造性 ●誰かの代わりに
読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ●としよかんへいこう ●としよかんとなかよし ●おかゆのおなべ 	読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ●図書館たんけん ●ミリーのすてきなぼうし 	読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ●図書館たんでいだん ●鳥になったきょうりゅうの話 	読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ●図書館の達人になろう ●ランドセルは海をこえて 	読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ●図書館を使いこなそう ●カレーライス 	読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ●地域の施設を活用しよう ●森へ 	読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ●本の中の中学生 ●考える人になろう 	読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ●翻訳作品を読み比べよう ●研究の現場によるこそ 	読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ●「私の一冊」を探しにこう ●本は世界への扉

小学校			中学校		
第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
カ 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。	カ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。	カ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。	エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。	ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
<ul style="list-style-type: none"> ●どうぞ よろしく(名前) ●ぶんをつくろう(一文) ●おおきくなった(観察記録(観点)) ●すきなもの、なあに(二文) ●こんなことがあったよ(体験報告) ●しらせたいな、見せたいな(観察記録) ●まちがいをおおそう(推敲) ●じどう車をつくろう(説明) ●ともだちのこと、しらせよう(紹介) ●てがみでしらせよう(手紙) ●いいこといっぱい、一年生(体験報告) 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こんなもの、見つけたよ(報告) <p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おもちゃの作り方をせつめいしよう(指示) <p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●きょうのできごと(日記) ●かんざつ名人になろう(観察記録) ●すてきなところをつたえよう(手紙) <p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お話のさくしやになろう(物語) ●見たこと、かんじたこと(詩) 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●仕事のくふう、見つけたよ(報告) <p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食べ物のひみつを教えます(説明・報告) <p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●気持ちをこめて「来てください」(手紙) ●これがわたしのお気に入り(紹介) <p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たから島のぼうけん(物語) 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新聞を作ろう(報告) ●[コラム]アンケート調査のしかた <p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●伝統工芸のよさを伝えよう(説明・報告) <p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お礼の気持ちを伝えよう(手紙) ●もしものときにそなえよう(意見) <p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感動を言葉に(詩) 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みんなが過ぎやすい町へ(報告) <p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グラフや表を用いて書こう(説明・報告) <p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あなたは、どう考える(意見) ●この本、おすすめします(推薦) <p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日常を十七音で(俳句) 	<p>報告・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●私たちにできること(提案) <p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本文化を発信しよう(解説) <p>多様な文種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大切にしたい言葉(経験) ●思い出を言葉に(創作など) <p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たのしみは(短歌) 	<p>観察・報告・記録・紹介等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●書き留める ●言葉を調べる ●情報を整理して書こう ●一年間の学びを振り返ろう <p>引用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●根拠を示して説明しよう ●資料を引用してレポートを書く <p>推敲</p> <ul style="list-style-type: none"> ●項目を立てて書こう ●案内文を書く ●読み手の立場に立つ <p>書評</p> <ul style="list-style-type: none"> ●助言を自分の文章に生かそう ●作品の書評を書く <p>随筆</p> <ul style="list-style-type: none"> ●構成や描写を工夫して書こう ●体験を基に随筆を書く 	<p>観察・報告・記録・紹介等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様な方法で情報を集めよう ●職業ガイドを作る ●国語の学びを振り返ろう <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●根拠の適切さを考えて書こう ●意見文を書く <p>創作・推敲</p> <ul style="list-style-type: none"> ●表現を工夫して書こう ●手紙や電子メールを書く ●表現の効果を考える <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●魅力を効果的に伝えよう ●鑑賞文を書く <p>創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●構成や展開を工夫して書こう ●「ある日の自分」の物語を書く 	<p>観察・報告・記録・紹介等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文章の種類を選んで書こう ●修学旅行記を編集する ●三年間の歩みを振り返ろう <p>批評</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多角的に分析して書こう ●説得力のある批評文を書く <p>推敲</p> <ul style="list-style-type: none"> ●論理の展開を整える <p>小論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報を読み取って文章を書こう ●グラフを基に小論文を書く

文や文章

小学校 ～低学年～

言語活動例		読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動
教材名【学年・学習時期】		主語と述語に 気をつけよう【第2学年・10月】
目標	知識及び技能	文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。
	思考力、判断力、表現力等	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



すごい重たい。

気付き、実感

ほら、いたよ。





はたけでね、〇〇ちゃんとね、野菜をぬいてね、つかれたよ。

気付き、認識



各園では、活動や遊びの中での会話が主であり、主語や述語を意識することなく、相手に自分の行動や考えが伝わっていた。

注：幼児期に前倒しで主語、述語を意識した会話をさせたり、会話を修正させたりすることがないようにする。あくまでも、幼児期の子どもの実態を知ることが大切である。



主語、述語については、本市において小学校以降どの学年でも課題になっていることの一つである。これまで、体験的な活動から相手や物がある中での会話だったため、主語がなくても相手に伝わっていた。しかし、発達段階が上がるにつれ、書き言葉を通して、相手に事柄等を伝えることが多くなり、主語や述語の関係がはっきりしないと読み手になかなか伝わらないことが多くなっていく。初めて主語、述語を学ぶ第2学年においては、丁寧に指導するとともに、児童が今後も主語、述語を意識して文や文章を読んだり書いたりできるようにしていく必要がある。

本単元では、主語を抜いた文を提示し、児童に違和感をいだかせ、主語、述語の関係に目を向けさせることで、児童の興味・関心を引き出したい。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 ●幼保小中を一貫した教育の視点 ★「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
音読げきでかくにんしよう		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
だれが？		
「誰が」を一部入れ替えた音読劇を見せる。		
3 間違いをさがす。	個人での思考	<input type="checkbox"/> 主語は誰かを考えさせる。 ★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 ●既習である、音読劇をとおして内容の大体を捉えたことを生かすことができるような課題を提示する。
4 考えを交流する。(全体)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 「誰が」をはっきりさせていく。
	主語・述語が苦手な児童が多いので、はじめからドリル練習をたくさんさせよう。 授業時数も少ないから、家庭学習でたくさんのプリント練習をさせよう。	
		
<p>ドリルだけで覚えるのではなく、授業で主語と述語が適切な係り受けの関係となっていることが、伝えたいことを相手に正確に伝える上で重要であることに気付くような展開にする必要があります。また、日常生活での文や文章の中で使えることも重視しなければなりません。エラーモデルを提示する等、主語、述語の関係を把握したうえで、日頃自分が音読している文や文章を振り返らせることをしてみましょう。</p> <p>今後、文や文章を読んだり書いたりする際、主語と述語の関係に気を付けて読んだり書いたりする意識付けができれば日常生活や他教科を通して身につけさせることができます。</p>		

5 振り返りをする。

振り返り

え？なんかおかしいな～。



★第4条「学んだことを活用する場を設ける」

★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」

□たろうさんの話の中に選択肢から選んだものを加えて
ノートに修正した文を書かせる。



(1)いもうとが、 (2)おじいちゃんが、 (3)おにいちゃんが、

評価場面

(学習活動に即した評価規準)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 文や文章力【知識及び技能】

(評価方法)

・ノートの記述

(手立て)

・B規準に達した児童には、「あったらいいなこんなもの」等の単元で書いた原稿を振り返り主語を確認させる。

・B規準に達していない児童には、板書を確認させ、どの選択肢を選べばよいか確認させ、一緒に文にしていく。

言語活動例		調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動
教材名【学年・学習時期】		修飾語を使って書こう【第3学年・10月】
目標	知識及び技能	主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。
	思考力、判断力、表現力等	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】





各園では、活動や遊びの中での会話が主であり、特に、修飾語や述語で構成された会話により、相手に自分の行動や考えを伝えていた。



本単元では、修飾語について理解を深める。主語、述語については第2学年で学習し、その後も文を書いたり文章を読んだりする中で、主語と述語との関係を意識してきた。改めて、主語と述語との関係について理解を深めるとともに、修飾語の役割についても理解し、日常生活に生かせるようにさせていきたい。

また、夏休みの宿題で書いた一行日記を振り返らせることで、修飾語の役割についての実感をもたせ、今後文を書いたり文章を読んだりする際には、主語、述語のみならず修飾語の関係についても意識できるようにさせていきたい。

2年		3年	
教材名	時数	教材名	時数
かん字のひろば③(漢字)	2	修飾語を使って書こう(言語)	2
お手紙(物語・文学)	12	秋のくらし(伝文)	2
主語と述語に 気をつけよう(言語)	2	はんで意見をまとめよう(話す・聞く)	8
かん字の読み方(漢字)	2		
秋がいっぱい(伝文)	2		
そうだんにのってください(話す・聞く)	8	漢字の広場④(漢字)	2

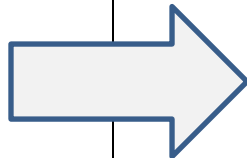
学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 ●幼保小中を一貫した教育の視点 ★「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
日記を振り返ろう		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
文をくわしくするためには？		
わたしは、書きました。		
3 修飾語を付け加える。	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」
わたしは、手紙を 書きました。 わたしは、きのう 手紙を 書きました。 わたしは、きのう 友達に 手紙を 書きました。 わたしは、きのう ようちえんのときの 友達に 手紙を 書きました。		
4 考えを交流する。(全体)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 文が詳しくなったかという視点で交流させる。
	単元計画では2時間しかないからな……。教科書の例文を扱って、その後はプリント練習にしよう。 2時間扱いにしたけど、2時間目はプリントの答え合わせにしよう。	
		
教科書の例文を使用して児童に修飾語について理解させた後は、これまで書いた自分の文章等を振り返らせ実感をもたせることが大切です。修飾語が足りなかった場合は、修飾語を付け加えて詳しい文にするとともに、その文を友達同士との交流の中で、加除修正することも理解の浸透に有効です。また、単元計画においても、授業時数等の変更をした際には、次年度の年間指導計画へ反映できるよう、朱書き等をしておくと実態に合ったよりよい年間指導計画の作成につながります。		

<p>5 夏休みに書いた一行日記を見直す。</p>	<p>振り返り</p>	<p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」 ★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」 □修飾語について確認させる。 ●学んだことを文や文章の中で使ったり、日常生活の中で生かしたりできるようにする。</p>
---------------------------	-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価場面
(学習活動に即した評価規準)
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 文や文章力【知識及び技能】
(評価方法)
・一行日記の記述
(手立て)
・B規準に達した児童には、主語と述語の関係についても見直しをさせる。
・B規準に達していない児童には、「いつ」「どこで」を中心に書き加えさせる。

【修正の例】

八月五日	八月四日	八月三日	八月二日	八月一日
旅行に行った。	レストランに行った。	宿題をした。	花火をした。	サッカーをした。



八月五日	八月四日	八月三日	八月二日	八月一日
家ぞくと伊豆に旅行に出かけた。	家ぞくとおとなりさんとでレストランに行った。	自由研究の宿題を図書館でやった。	夜、家の庭で家ぞくと花火をした。	学校の校でいで、サッカーをした。

文や文章

小学校～高学年～

言語活動例		事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動
教材名【学年・学習時期】		文の組み立て【第6学年・6月】
目標	知識及び技能	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。
	思考力、判断力、表現力等	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



思考、協働

赤を積んだ後、黄色を積んで、その後緑を積むよ。



ここがつかないと水がでないよ。



気づき



経験からの感覚



この下にいそうだよ。

各園では、活動や遊びの中での会話が主であり、特に、修飾語や述語で構成された会話により、相手に自分の行動や考えを伝えていた。



本単元では、文の中の主語と述語の関係に着目する。主語、述語については第2学年で学習し、その後も、日常の文章を書く等する中で主語と述語を意識して文章を構成している。改めて、主語と述語の照応関係について理解を深めるとともに、二つの主語と述語の関係がある文についても理解し、主語と述語の関係に気を付けて、文の内容を捉えたり、書き表したりすることができるようにする。

2年		3年		6年	
教材名	時数	教材名	時数	教材名	時数
かん字のひろば③(漢字)	2	修飾語を使って書こう(言語)	2	たのしみは(書く)	3
お手紙(物語・文学)	12	秋のくらし(伝文)	2	文の組み立て(言語)	2
主語と述語に 気を付けよう(言語)	2	はんで意見をまとめよう(話す・聞く)	8	天地の文(伝文)	1
かん字の読み方(漢字)	2			[情報]情報と情報をつなげて伝えるとき	2
秋がいっぱい(伝文)	2			私たちにできること(書く)	10
そうだんにのってください(話す・聞く)	8	漢字の広場④(漢字)	2		

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 ●幼保小中を一貫した教育の視点 ★「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
考えたこと、伝えたいことを書こう		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
中心の主語は？		
ぼくが植えた木が育った。		
3 中心の主語を探す。	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 <input type="checkbox"/> 主語と述語を探させる。
4 考えを交流する。(全体)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 「ぼくが」と「木が」のどちらが中心の主語になるか考えさせる。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> ぼくが 植えた 木が 育った。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">主語</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">述語</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">主語</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">述語</div> </div> ぼくが木を植えた。 その木が育った。		
 <p>主語、述語、修飾語についてはあまり定着してないから、プリントでの復習に時間をかけよう。</p> <p>主語を選んだり、述語を選んだりすることを数多くこなせば、文や文章の中で使えるようになるだろう。</p>		
 <p>知識を多く詰め込んでも、文や文章で使えるようにならなければ生きて働く知識とはなりません。プリント等での復習もよいと思いますが、時間を多くかけ過ぎないようにしましょう。前時で書いた文章やあらかじめ用意しておいた例文で、重文や複文を学べるようにしましょう。複文については、何を伝えたいのかを考えさせることにより、中心となる主語を見つけやすくなります。</p>		

5 振り返りをする。	振り返り	<p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p> <p>□本時の学習を生かして例文を読む。</p> <p>●提示した例文において本時で学んだことを生かし、中心の主語を見つけることが出来るようにする。</p>
------------	------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価場面
(学習活動に即した評価規準)
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 文や文章カ【知識及び技能】
(評価方法)
・ノートの記事
(手立て)
・B規準に達した児童には、短い文に分けて書き直させる。
・B規準に達していない児童には、文の中の主語を確認するとともに、文末の述語に着目させ、中心の主語を見つけさせる。

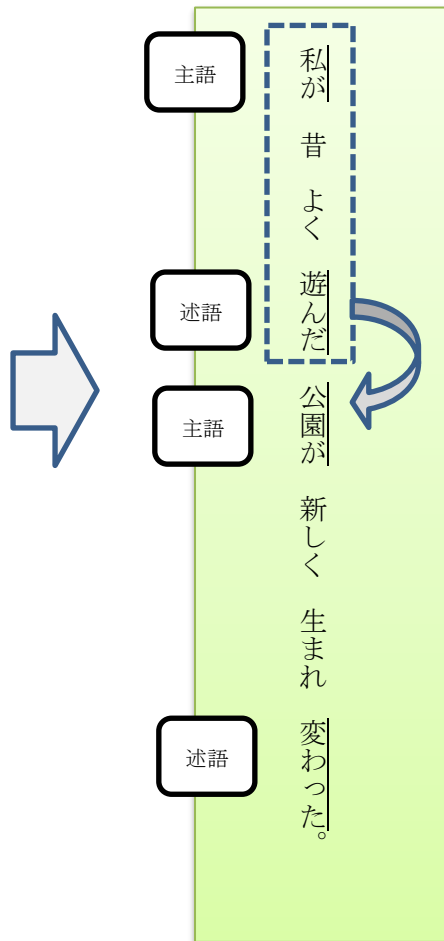
【提示する例文】

昨日、私が昔よく遊んだ公園が新しく生まれ変わった。夕方、仕事の帰り道に公園によってみると、遊具などが新しくなっていて、これまでとは全くちがう公園になっていた。まず、一番おどろいたのは、箱ブランコ、回転ジャングルジムがなくなっていたことだ。

次に、おどろいたことは、なくなった遊具のかわりに、ローラーすべり台、うんてい、ジャングルジムが全てついている大きな遊具が新しく設置されていたことだ。

最後に、トイレが広くて使いやすくなっていたことにもおどろいた。

私は、子どもたちが喜んでる姿を見て、公園の遊具は、きれいで安全が一番だと感じた。



文や文章

中学校

言語活動例		報告や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする活動
教材名【学年・学習時期】		言葉の関係を考えよう【第1学年・12月】
目標	知識及び技能	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。
	思考力、判断力、表現力等	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値を認識するとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】




思考、気づき、言葉での伝え合い

低学年では、生活科との関連的な指導を図りながら、身近なことや経験したことを日記に書く活動を通して、言葉には事物の内容や自分が経験した事を表す働きがあることを理解し、日常の会話や他教科等の話合いに生かしてきた。

中学年では、日常の文章を書く等する中で主語と述語を意識して文章を構成している。また、主語と述語の照応関係について理解を深めるとともに、修飾語の役割についても気を付けて、文を構成してきた。

高学年では、日常の文章を書く等する中で二つの主語と述語の関係がある文について理解し、主語と述語の関係に気を付けて、文の内容を捉えたり、書き表したりしてきた。

1年	
教材名	時数
漢字に親しもう4	
文法への扉2 言葉の関係を考えよう	
考える人になろう(読書) 君たちはどう生きるか たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう	

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 ● 幼保小中を一貫した教育の視点 ★ 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		<input type="checkbox"/> 前単元の魅力を伝える文を振り返る。
読書ノートを振り返ろう		
2 本時の学習課題を知る。		★ 第1条「学習の目標を明らかにする」
どうすればわかりやすくなるのか？		
		<input type="checkbox"/> エラーモデルでなぜ分かりにくいのかを考えさせ、視点を与える。
	<p>とりあえず、読書感想文を書くことを一週間の家庭学習にしよう。 それと文字数と字の丁寧さを重視しよう。 その感想文をもとに話し合いをさせよう。</p>	
↓		
<p>例文を使用して生徒に理解させた後は、これまで書いた自分の文章等を振り返らせ、実感をもたせることが大切です。また、その文章を友達同士との交流の中で、加除修正することも理解の浸透には有効となります。その際、必ず加除修正する視点を明確にしておく必要があります。</p> <p>単元計画においても、授業時数等の変更をした際には、次年度の年間指導計画へ反映できるよう、朱書き等をしておくと実態にあったよりよい年間指導計画の編成につながります。</p>		
3 読書ノートを書き直す。	個人での思考	★ 第2条「生徒が自分で考える時間を設ける」
4 考えを交流させる。	意見の交流	★ 第3条「生徒が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> どう書き直したかではなく、なぜそうように書き直したのか、理由についての考えを交流させる。

5 読書ノートを読み返す。	振り返り	<p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p> <p>●学んだことを使える、生かせる場面を設定し、振り返りができるようにする。</p>
		<p>評価場面 (学習活動に即した評価規準)</p> <p>(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 文や文章力【知識及び技能】 (評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書ノートの記述 (手立て) ・B規準に達した生徒には、主・述の関係以外の視点で加除・修正させる。 ・B規準に達していない生徒には、まず、主語を探させ、そのあとにその主語に対応する述語を探させるようにして主・述の関係について確認させる。

【エラーモデルの例】

昨日、久しぶりに小学校一年生の教科書にある「ずうっと、ずっと、大すきだよ」を読んだ。

このところ毎日のように音読をしているので、ふと手に取ったのだが、あの当時に読んだ印象と中学校一年生になった今読んだ印象では大きく違った。

特に印象に残ったところは、主人公の「ぼく」がエルフに、毎晩寝る前「エルフ、ずうっと、大すきだよ。」と言い続けた、小学校の時は、「エルフが死んだことが悲しいな」や「自分だったらとなりの子にバスケットをあげないな」などの感想をもつ程度だったが、今一度この年齢になって読んでみて、思いが強くまた、関わりがその人などへの思いが増すのではないかという感想をもった。

命の大切さを考えるとき、この物語から、人などとの関わり的重要性と他人を大切にし、思いやることのできる豊かな心が必要だと感じる事ができた。

妹が

関わりが多いほど

ところだ。

話すこと・聞くこと

話すこと・聞くこと～話題の設定、情報の共有、内容の検討～

小学校			中学校		
第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する。	ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
<p>さあ はじめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いい てんき ● あつまってはなそう ● どうぞ よろしく ● なんて いおうかな ● こんな もの みつけたよ 	<p>言葉の準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● じゅんばんに ならぼう <p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ことばでみち あんない <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 楽しかったよ、二年生 	<p>言葉の準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● よく聞いて、じこしようかい <p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山小屋で三日間 すごすなら <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● わたしたちの 学校じまん 	<p>言葉の準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● こんなところ が同じだね <p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あなたなら、 どう言う <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 調べて話そう、生活調査隊 	<p>言葉の準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教えて、あなた のこと <p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● どちらを選び ますか <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 提案しよう、 言葉とわたし たち 	<p>言葉の準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● つないで、 つないで、 一つのお話 <p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いちばん大事なもの <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今、私は、 ぼくは 	<p>音読・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 声を届ける <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話の構成を工夫しよう ● 好きなことをスピーチで紹介する ● 一年間の学びを振り返ろう 	<p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魅力的な提案をしよう ● 資料を示してプレゼンテーションをする ● 国語の学びを振り返ろう <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 説得力のある構成を考えよう ● スピーチで社会に思いを届ける ● 三年間の歩みを振り返ろう 	
<p>話す・聞く・話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ききたいな、ともだちのはなし ① ● わけを はなそう ● すきな もの、ななに ● ききたいな、ともだちのはなし ② ● ともだちのこと、しらせよう ● ききたいな、ともだちのはなし ③ ● これは、なんでしょう 	<p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ともだちを さがそう ● あつたらいいな、こんなもの <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● そうだにの ってください 	<p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● もっと知りたい、友だちのこと ● [コラム] きちんとつたえるために <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● はんで意見を まとめよう 	<p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 聞き取りメモのくふう ● [コラム] 話し方や聞き方から伝わること <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クラスみんな で決めるには 	<p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● きいて、きいて、きいてみよう ● [コラム] インタビューをするとき <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● よりよい学校生活のために ● [コラム] 意見が対立したときには 	<p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 聞いて、考えを深めよう <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● みんなで楽しく 過ごすために ● [コラム] 伝えにくいことを伝える 	<p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報を正確に聞き取る ● 聞き上手になろう ● 質問で話を引き出す <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話し合いの展開を捉える ● 話題や展開を捉えて話し合おう ● グループディスカッションをする 	<p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 問いを立てながら聞く ● 聞き上手になろう ● 質問で思いや考えを引き出す <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 異なる立場から考える ● 立場を尊重して話し合おう ● 討論で多角的に検討する 	<p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 評価しながら聞く ● 聞き上手になろう ● 質問で相手の思いに迫る <p>話し合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話し合いを効果的に進める ● 合意形成に向けて話し合おう ● 課題解決のために会議を開く

話すこと・聞くこと～話題の設定、情報の共有、内容の検討～

小学校 ～低学年～

言語活動例		紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べ合ったりする活動
教材名【学年・学習時期】		これは、なんでしょう【第1学年・2月】
目標	知識及び技能	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



気付き

カブトムシって目はあるのかな？



思考

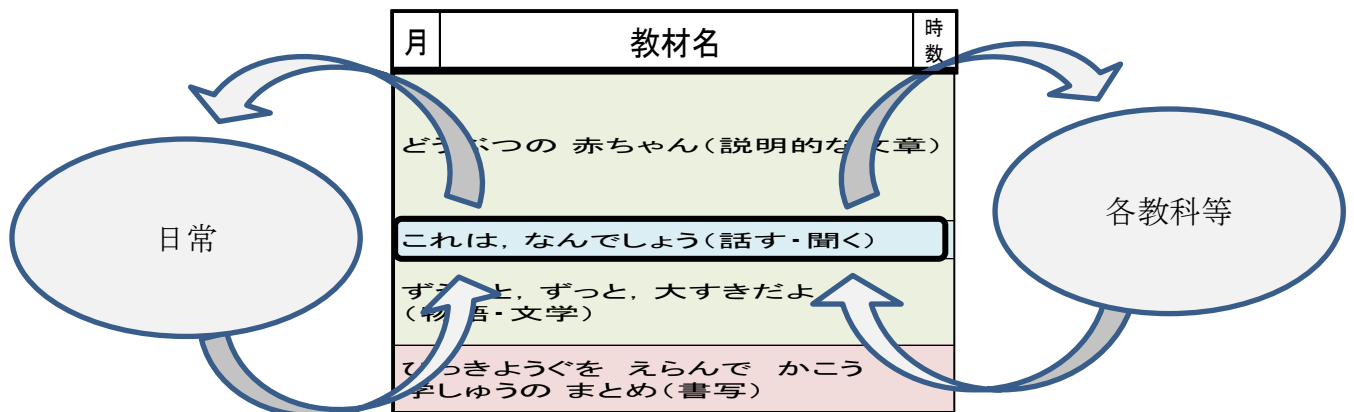
ここを切るとどうなるかな？



経験からの知識

ザリガニってここを持つといいよ。

各園では、生活や遊びの中から物事の特徴等は無意識のうちに捉えている。このような経験が本単元の基礎となる。



本単元では、学校にあるものから、問題と答えをつくり、問題を出し合う活動を行う。順序を考えることは、伝えたいことを相手に分かってもらうために必要なことであることに気付くようにすることが大切である。順序には、経験した順序、物を作ったり作業したりする順序、事物の対象を説明する際の具体的内容の順序などがあるが、どの順序にも生かすことが出来るよう、本単元では、楽しみながら文章の並べ替えをしたり、組み合わせたりして、図鑑を作る活動や他教科等の活動に生かしていきたい。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">もんだいをふたりでかんがえよう</div>		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">これは、なんでしょう どのじゅんばんでいう？</div>		
3 カードの並べ替えをする。	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」
4 考えを交流する。(ペア)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> なぜ、その順番に並べ替えたのか理由を話したり、聞いたりしながら問題の出し方を話し合わせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100%;"> <p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) A話すこと・聞くこと 構成の検討イ【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・発言の内容 (手立て) ・B規準に達した児童には、どんな質問がでるかも想像させる。 ・B規準に達していない児童には、段々と答えに近づく順番になるようにさせる。</p> </div>		



発表の型を示して発表が充実するようにしよう。
 大きな声ではっきり発表させるようにしよう。
 聞く子達にも良い姿勢で聞くことや相手の目を見て聞くことなどのポイントを示して意識させるようにしよう。



ここでは、どんな問題にするか、問題にするものの形やはたらき等をどの順番で言うかを楽しみながら考えさせることを大切にしましょう。そうすることで、思考力等を育むとともに、話し合う楽しさや発表することの楽しさを味わうことにもつながります。この楽しさを味わうことで、次も発表したい、友達の発言を聞きたいという学びに向かう力が育まれます。なお、話すこと、聞くことどちらにおいてもあまり多くの視点を提示することは避け、視点は焦点化しましょう。

5 振り返りをする。	振り返り	★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」
6 家庭学習を知る。		★第4条「学んだことを活用する場を設ける」 ●本時で完成した問題を家の人に出してみても、楽しむとともに、修正等が必要なところも確認し、発表に生かせるようにする。

【カードの並べ替えの例】



このどうぶつのうたがあります。

あしが四本あります。

このまえんそくで見ました。

目があります。

とても大きいです。

はながながいです。

言語活動例		紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べ合ったりする活動
教材名【学年・学習時期】		山小屋で三日間すごすなら【第3学年・9月】
目標	知識及び技能	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】




各園では活動や遊びの中で、自分たちの目的を達成するために友達と関わり合いながら、思考、判断したり、知識を得たりしている。



本単元では、「山小屋で三日間すごすなら」という課題に対して、グループでしたいことや、持っていきたい物を出し合い、まとめていく。話し合う際は、互いの考えを認め合うことや、出された考えを、仲間分けして整理する等、言葉の働きや情報と情報との関係などの知識及び技能とも関連させていく。また、自分たちで話し合っ

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年
<p>さあ はじめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いい てんき ● あつまってはなそう ● どうぞ よるしく ● なんて いおうかな ● こんなの みつけたよ 	<p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ことはでみちあんない 	<p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山小屋で三日間すごすなら 	<p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あなたなら、どう言う 	<p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● どちらを選びますか 	<p>対話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いちばん大事なものは

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
グループでいけんをまとめよう		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
山小屋で三日間すごすなら？		
3 話し合う。	グループでの思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 ★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> したいことと、持っていきたい物について話し合わせる。
4 考えを整理する。		<input type="checkbox"/> 出された考えを、仲間分けして整理させる。
	<div data-bbox="325 1205 1481 1406" style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>グループの中でしたいこと一つ、持ち物三つにして考えさせよう。 たくさん意見が出てきたら、どうやってしたいことと、持ち物を限定した数にしぼるか考えさせよう。</p> </div>	
<div data-bbox="598 1458 746 1547" style="font-size: 2em; color: blue;">↓</div> <div data-bbox="108 1570 1485 1899" style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>教師がしたいことや持ち物の数を限定せずに、まずはたくさん意見を出させましょう。その中で、児童が情報を整理したり、まとめたりする力を育むことが大事になります。したいことのためにはどんな持ち物が必要か、また、その活動はどの時間帯とするのか等、考えさせましょう。行程表の枠を配布すると考えをまとめるきっかけになるかもしれません。さらに、学んだことを生かす場として、高学年での自然教室の行程や持ち物を考える家庭学習を設定すると、子どもたちは楽しみながら家庭学習に取り組むことができるでしょう。</p> </div>		

5 考えをまとめる。	振り返り	★第4条「学んだことを活用する場を設ける」 ★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」
評価場面 (学習活動に即した評価規準) A話すこと・聞くこと 内容の検討ア【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・ノートの記事 (手立て) ・B規準に達した児童には、計画したことが日頃できない体験であるかどうか考えさせる。 ・B規準に達していない児童には、したいことと、持ち物とを照らし合わせる。		
6 家庭学習を知る。		<input type="checkbox"/> 5年生の自然教室の行程表を配布し、これらの活動のためには持ち物は何が必要か考えさせる。 <input checked="" type="checkbox"/> 話し合いで学んだことを使える、生かせる場面を家庭学習で設定する。

【評価の例】

持ち物を検討した後、したいことを見直したり、山小屋ならではのしたいことを検討したりする。

B 基準に達した例

《持ち物》

- 下着3日分 ○くつ下4足 ○長そで、長ズボン
- 上着、ズボン3日分
- トランプ
- 水(ペットボトル5本) ○炭 ○あみ ○マッチ
- お肉、やさい ○紙コップ ○紙皿
- 携帯用ゲーム機
- ねぶくろ
- 花火 ○ろうそく

《したいこと》

- たんけん ○トランプ
- バーベキュー
- 携帯用ゲーム機
- 思いっきりねる
- こわい話
- 花火

B 基準に達していない例

《持ち物》

- トランプ
- バーベキューセット
- 携帯用ゲーム機
- 花火

言語活動例		意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動
教材名【学年・学習時期】		みんなで楽しく過ごすために【第6学年・10月】
目標	知識及び技能	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。
	思考力、判断力、表現力等	互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】




各園では活動や遊びの中で、自分たちの目的を達成するために友達と会話など関わり合いながら、思考、判断したり、知識を得たりしている。



小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年
<p>話す・聞く・話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ききたいな、ともだちのはなし ① ●わけを はなそう ●すきなもの、なあに ●ききたいな、ともだちのはなし ② ●ともだちのこと、しらせよう ●ききたいな、ともだちのはなし ③ ●これは、なんでしよう 	<p>話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そうだんにのってください 	<p>話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はんで意見をまとめよう 	<p>話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クラスみんななで決めるには 	<p>話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●よりよい学校生活のために ●[コラム]意見が対立したときには 	<p>話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みんなで楽しく過ごすために ●[コラム]伝えにくいことを伝える

本単元では、みんなで楽しく過ごすためには、という課題に対して、学校や地域の行事などに関連させてグループで議題や目的、条件等について話し合う。話し合う際は、主張、理由、根拠をはっきりさせて自分の考えを整理させる。また、考えをノートや記録用紙に書き出し、情報を整理できるようにするとともに、話し言葉と書き言葉の違いにも気付くことができるようにしていきたい。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 ●幼保小中を一貫した教育の視点 ★「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> みんなで楽しく過ごすために ～交流給食を成功させよう～ </div>
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 園児が楽しめる交流給食にするには？ </div>
3 議題を確かめる。	グループでの思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 ★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 目的や条件をはっきりさせる。
4 話し合う。	グループでの思考	<input type="checkbox"/> 進め方を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0;"> 進め方 (1)意見を出し合う。 (2)出し合った意見の質疑応答を行う。 (3)意見をまとめる。 (4)まとめた意見を目的や条件と照らし合わせる。 (5)実際に試してみる。 (6)修正点や変更点を加えて意見をまとめる。 </div>
	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #ffe0b2;"> <p>行事が迫っているから、早く結論を出させよう。 時間内にやることが決定したグループを称賛しよう。 子どもたちの意見を尊重したいから、特に助言せず見守るだけにしよう。</p> </div>	
<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #ffe0b2;"> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>行事と関連させるためには、年間指導計画を見直す必要があります。また、教師主体による行事の内容や行程の説明、グループ決めのための話合いにならないようにしましょう。その他、意見をまとめたあとは授業の話合いを生かして、実際に行事の行程や持ち物を自分たちで考えてみる時間を設けると、話合いがより充実したものとなり、本時や本単元の学びが日常や他教科の話合いに生かせるようになります。</p> </div>		

<p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) A話すこと・聞くこと 内容の検討ア【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・ノートの記述 (手立て) ・B規準に達した児童には、何をするかを具体的に考えさせる。 ・B規準に達していない児童には、まとめた意見を目的や条件と照らし合わせる。</p>	<p>6 振り返る。</p>	<p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」 ★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」 ●次時では、実際に活動したことを振り返り、どう改善すればよいのかを考えさせる。そこでさらなる思考力の育成を図る。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価の例】

<p>主張 ○会食中に学校クイズを班でする。 理由 ○給食以外のことも知ってほしいから。 根拠 ○自分もようち園のときお兄さん、お姉さんに学校のことを教えてもらって小学校に行きたくなったから。</p>	<p>具体的なクイズの例 休み時間に人気の遊びは なんでしょう？</p>	<p>具体的なクイズの例 1年生のときに育てる花 はなんでしょう？</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------	-------------------------------------------------



B基準に達した例

<p>主張 ○会食中に学校クイズを班でする。 理由 ○給食以外のことも知ってほしいから。 根拠 ○自分もようち園のときお兄さん、お姉さんに学校のことを教えてもらって小学校に行きたくなったから。</p>

B基準に達していない例

<p>主張 ○給食が始まったらしゃべらないで食べることを教える。 理由 ○残すのはよくないから。 根拠 ○残したら環境問題になるから。</p>

言語活動例		互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動
教材名【学年・学習時期】		合意形成に向けて話し合おう【第3学年・11月】
目標	知識及び技能	具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めることができる。
	思考力、判断力、表現力等	進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



何がいるのかな

手をいれるとあぶないよ

くねくねしているね

気づき



各園では、関心をもった事物について、それぞれが自分の感じたことを伝え合っていた。

低学年では、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐ話し合いをしてきた。

中学年では、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる話し合いをしてきた。

高学年では、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする話し合いをしてきた。

小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
<p>話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ● みんなで楽しく過ごすために ● [コラム] 伝えにくいことを伝える 	<p>話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話し合いの展開を捉える ● 話題や展開を捉えて話し合おう ● グループディスカッションをする 	<p>討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 異なる立場から考える ● 立場を尊重して話し合おう ● 討論で多角的に検討する 	<p>討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話し合いを効果的に進める ● 合意形成に向けて話し合おう ● 課題解決のために会議を開く

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
話し合って提案をまとめよう		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
課題解決のための提案を考えよう ～よりよい地域にするために私たちにできることは？～		
3 具体的な提案を考える。	グループでの思考	★第2条「生徒が自分で考える時間を設ける」 ★第3条「生徒が表現と交流する場を設ける」
	話し手、聞き手ともに多くの観点を設けよう。 一人一回発言することを目標にしよう。	
		
話し合いを充実させるためには、話し合いの目的やゴールをしっかり意識することが大切です。目的を達成するためにはどうするかという観点で、意見や提案を絞り込んでいきましょう。また、自分の意見や一つの見方に固執しないように、自分の意見を見直したり、他の意見を取り入れたりして話し合う例を見せてみるのもよいでしょう。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) A話すこと・聞くこと 共有才【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・ノートの記述 (手立て) ・B規準に達した生徒には、提案するものをより具体的な案にさせる。 ・B規準に達していない生徒には、課題をもう一度確認させ実現可能かどうか考えさせる。</p> </div>		
4 提案を絞り込む。	グループでの思考	<input type="checkbox"/> 提案の根拠やそれを取り上げる意義を考えさせる。 <input type="checkbox"/> 異なる立場のグループから受けそうな質問や反論を予想させる。

相手の立場や考えを踏まえる表現の仕方 「・・・の点は魅力的・効果的ですが、・・・の点は・・・する必要があります。」		
5 振り返りをする。	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ★第4条「学んだことを活用する場を設ける」 ★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」 ●絞った提案の根拠の振り返りをさせることで、次時の全体での話し合いに生かせるようにする。

【評価の例】

<p>○地域清掃活動 ↓校内だけでなく学校の周りの清掃活動も実施する。</p> <p>清掃の時間に地域のゴミ拾いも実施する点や、新たな取組というよりは今ある活動を拡大するの で、負担なく実施できる 点は魅力的ですが、どこまで清掃するかを考える 必要があると思います。</p>	<p>【具体的な提案】</p> <p>○地域のよさをPR ↓地域新聞を発行する。</p> <p>いままでの学習を生かせる活動だし、自分自身も地域のよさについて考えることができる点は魅力的ですが、どうやって配布するかは具体的に考える必要があると思います。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※実施可能かどうか等を検討し、具体的な案にしていく。



B基準に達した例

<p>○地域交流給食 ↓学期に一回地域の方を招待した交流給食を実施する。</p> <p>○地域清掃活動 ↓校内だけでなく学校の周りの清掃活動も実施する。</p>	<p>【課題】</p> <p>「よりよい地域にするために私たちにできること」</p> <p>【具体的な提案】</p> <p>○地域のよさをPR ↓地域新聞を発行する。</p> <p>○地域あいさつ運動 ↓月に一回地域をまわる朝のあいさつ運動を実施する。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

B基準に達していない例

<p>○ゲーム大会の開催 ↓月に一回地域の人を誘って行う。</p>	<p>【課題】</p> <p>「よりよい地域にするために私たちにできること」</p> <p>【具体的な提案】</p> <p>○防犯カメラの設置 ↓防犯カメラを多く設置して犯罪を防ぐ。</p> <p>○ゴミ拾い大会 ↓月に一回開催してごみを多く拾った人に景品を出す。</p>
---------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

書くこと～構成の検討～

小学校			中学校		
第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意し、文章の構成を考える。	イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。	イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。	イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
<ul style="list-style-type: none"> ●どうぞよろしく(名前) ●ぶんをつくらう(一文) ●おおきくなった(観察記録(観点)) ●すきなもの、なあに(二文) ●こんなことがあったよ(体験報告) ●しらせたいな、見せたいな(観察記録) ●まちがいをなおそう(推敲) ●じどう車ずかんをつくらう(説明) ●ともだちのこと、しらせよう(紹介) ●てがみでしらせよう(手紙) ●いいこといっぱい、一年生(体験報告) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●こんなもの、見つけたよ(報告) 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●おもちゃの作り方をせつめいしよう(指示) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●きょうのできごと(日記) ●かんさつ名人になろう(観察記録) ●すてきなところをつたえよう(手紙) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●お話のさくしやになろう(物語) ●見たこと、かんじたこと(詩) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●仕事のくふう、見つけたよ(報告) 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●食べ物のおひみつを教えます(説明・報告) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●気持ちよさを伝えてください(手紙) ●これがわたしのお気に入り(紹介) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●たから島のぼうけん(物語) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●新聞を作ろう(報告) ●[コラム]アンケート調査のしかた 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●伝統工芸のよさを伝えよう(説明・報告) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●お礼の気持ちを伝えよう(手紙) ●もしものときにそなえよう(意見) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●感動を言葉に(詩) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●みんなが過ぎやすい町へ(報告) 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●グラフや表を用いて書こう(説明・報告) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●あなたは、どう考える(意見) ●この本、おすすめします(推薦) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●日常を十七音で(俳句) 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・提案 <ul style="list-style-type: none"> ●私たちにできること(提案) 説明・解説 <ul style="list-style-type: none"> ●日本文化を発信しよう(解説) 多様な文種 <ul style="list-style-type: none"> ●大切にしたい言葉(経験) ●思い出を言葉に(創作など) 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●たのしみは(短歌) 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・報告・記録・紹介等 <ul style="list-style-type: none"> ●書き留める ●言葉を調べ、情報を整理して書こう ●わかりやすく説明する ●一年間の学びを振り返ろう 引用 <ul style="list-style-type: none"> ●根拠を示して説明しよう ●資料を引用してレポートを書く 推敲 <ul style="list-style-type: none"> ●項目を立てて書こう ●案内文を書く ●読み手の立場に立つ 書評 <ul style="list-style-type: none"> ●助言を自分の文章に生かそう ●作品の書評を書く 随筆 <ul style="list-style-type: none"> ●構成や描写を工夫して書こう ●体験を基に随筆を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・報告・記録・紹介等 <ul style="list-style-type: none"> ●多様な方法で情報を集めよう ●職業ガイドを作る ●国語の学びを振り返ろう 意見 <ul style="list-style-type: none"> ●根拠の適切さを考えて書こう ●意見文を書く 創作・推敲 <ul style="list-style-type: none"> ●表現を工夫して書こう ●手紙や電子メールを書く ●表現の効果を考える 鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> ●魅力を効果的に伝えよう ●鑑賞文を書く 創作 <ul style="list-style-type: none"> ●構成や展開を工夫して書こう ●「ある日の自分」の物語を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・報告・記録・紹介等 <ul style="list-style-type: none"> ●文章の種類を選んで書こう ●修学旅行記を編集する ●三年間の歩みを振り返ろう 批評 <ul style="list-style-type: none"> ●多角的に分析して書こう ●説得力のある批評文を書く 推敲 <ul style="list-style-type: none"> ●論理の展開を整える 小論文 <ul style="list-style-type: none"> ●情報を読み取って文章を書こう ●グラフを基に小論文を書く

書くこと～構成の検討～

小学校 ～低学年～

言語活動例		身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動
教材名【学年・学習時期】		じどう車くらべ・じどう車ずかんを つくろう【第1学年・11月】
目標	知識及び技能	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
	思考力、判断力、表現力等	自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



確認



思考、検証



気付き

まず、ここを掘るよ。



掘ったところに
水を入れよう。

水が流れるよう
に掘っていこう。

各園では、活動や遊びの中から、物事の順序等を学んでいる。また、順序については話の中で説明している。

	時	10月	時	11月
国語	6	しらせたいな、見せたいな	3	じどう車ずかんを つくろう
	2	まちがいを なおそう	2	かたかなを かこう
生活	2	ことばを たのしもう	6	ともだちの こと、しらせよう
	6	かん字の はなし	8	むかしばなしを よもう／おかゆの おなべ
図工	7	じどう車くらべ	6	ものの 名まえ
	2	じどう車ずかんを つくろう		
	10	たのしい あき いっぱい	5	たのしい あき いっぱい
			5	じぶんで できるよ
	1	はって かさねて…	2	あそぼうよ、パクパクさん
	4	ちぎって はって	2	スタンプ、スタンプ！
	2	あそぼうよ、パクパクさん	3	ひかりの くのにの なかまたち

本単元では説明的な文章を読み、自動車図鑑を作る活動を通して、自動車のしごととつくりについて整理し、事柄の順序を理解するよう指導する。順序を考えることは、伝えたいことを相手に分かってもらうために必要なことであることに気付くようにすることが大切である。順序には、経験した順序、物を作ったり作業したりする順序、事物の対象を説明する際の具体的内容の順序などがあるが、どの順序にも生かすことが出来るよう、本単元では、楽しみながら文章の並べ替えをしたり、組み合わせたりして、図鑑を作る活動や他教科等の活動に生かしていきたい。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">じどう車ずかんを作ろう</div>		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">どんなじゅんばん？</div>		
3 短冊の並べ替えをする。	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」
4 考えを交流する。(全体)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 自動車のしごととつくりの順番になっていることを確認する。 <input type="checkbox"/> なぜ、その順番に並べ替えたのか理由を交流させる。
	<p>教科書の説明文の読み取りをしよう。 接続詞を中心に、考えさせよう。 家庭学習で音読を繰り返させて、順序のパターンを覚えさせよう。</p>	
		
<p>事柄の順序については、児童はこれまで様々な活動、生活の中で無意識の内に学んでいます。教科書だけで学ぶのではなく、他教科や日常と関連させながら学ばせていきましょう。特に、文章で説明する際にどんな言葉を使えばわかりやすく説明できるか考えさせましょう。</p> <p>家庭学習においては、作業的な音読ではなく、お菓子の箱などに書いてある作り方の手順や学校図書館にある関連図書を持ち帰らせる等して、順序よく説明する際の言葉に着目して音読させるもの効果的です。</p>		

5 振り返りをする。	振り返り	★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」
<p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) B 書くこと 構成の検討イ【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・短冊による考察 (手立て) ・B 規準に達した児童には、なぜその順番なのかについての理由も振り返らせる。 ・B 規準に達していない児童には、それぞれのカードが、しごととつくりのどれを示しているのか整理して振り返らせる。</p>		
6 家庭学習を知る。		★第4条「学んだことを活用する場を設ける」 ●自動車図鑑を読んで、自動車のしごととつくりを探してくることを伝える。

【並べ替える短冊の例】

そのために、じょうぶな うだが、のびたり うごいたり するようにつくってあります。

そのために、うんでんせきの ほかは、ひろい にだいになって います。

人を のせて はこぶ しごとを して います。

おもい ものを つり上げる しごとを して います。

にもつを はこぶ しごとを して います。

そのために、ざせきの ところが、ひろく つくって あります。

バスや じょうよう車は、

トラックは、

クレーン車は、

言語活動例		調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動
教材名【学年・学習時期】		食べ物のひみつを教えます【第3学年・11月】
目標	知識及び技能	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。
	思考力、判断力、表現力等	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



つのみたいなのがはえてるやつだよ。
あそこの木にいたんだよ。
あ、これだよこれ。
はじめてみたよ。

確認、新たな発見

各園では活動や遊びの中で、自分の興味関心をもったものについて具体物や絵、写真を用いて、友達や先生に事柄や思いを説明している。





低学年では、順序を考えることは、伝えたいことを相手に分かってもらうために必要なことであることに気付くことができている。

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年
<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ●じどう車ずかんをつくらう (解説) 	<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おもちゃの作り方をせつめいしよう (指示) 	<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食べ物のひみつを教えます (説明・報告) 	<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●伝統工芸のよさを伝えよう (説明・報告) 	<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グラフや表を用いて書こう (説明・報告) 	<p>説明・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本文化を発信しよう (解説)



本単元では説明的な文章を読み、食べ物のみみつを説明する文章を書く活動を通して、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えられるようにする。特に、「読むこと」との関連を図り、説明的な文章で学んだことを「書くこと」に生かせるようにしていく。また要約をすることで、中心となる部分や段落相互の関係に気付けるようにしていく。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		<input checked="" type="checkbox"/> 第1条「学習の目標を明らかにする」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">食べ物のみみつを短く伝えよう</div>
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">短く伝えるためには？</div>
3 段落ごとに中心になる語や文を見付ける。	個人での思考	<input checked="" type="checkbox"/> 第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 <input type="checkbox"/> 段落ごとに中心となる語や文を見付けさせ、つなげて文章にさせる。
4 考えを交流する。(グループ)	意見の交流	<input checked="" type="checkbox"/> 第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 伝えたいことが伝わる端的な文章になっているかどうか考えさせる。
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f9cb9c;"> <p>中心となる語や文を見付ける際は、グループ活動にしてグループで一つ選ばせ発表させよう。その中で多かった語や文が中心となる語や文としよう。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>
<p>要約する際は、段落ごとに中心となる語や文を見付けるのはよいと思いますが、一段落ごとに検証するのではなく、選んだ語や文をつなぎ合わせて全体を構成してから考えさせてみてください。そうすることで、段落相互の関係に注目したり、題名に沿って伝えたいことが伝わるかという視点で考えたり検討したりすることがしやすくなります。</p>		

<p>5 考えを交流する。(全体)</p> <p>6 要約した文を見直す。</p>	<p>振り返り</p> <p>見直し</p>	<p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p> <p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>□全体での交流を生かして、要約させる。</p> <p>●本時で身に付けたことを次時から作成する報告文に生かせる、使えるようにしていく。</p>
<p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) B書くこと 構成の検討イ【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・ノートの記述 (手立て) ・B規準に達した児童には、食品名を文章の中に入れさせる。 ・B規準に達していない児童には、「くふう」という語に着目させて考えさせる。</p>		

【まとめた文の例】

すがたをかえる大豆

大豆は、いろいろな食品に**すがたをかえている**ことが多いです。

昔からいろいろ手をくわえて、おいしく食べる**くふう**をしてきました。

いちばん分かりやすいのは、大豆をその形のままいたり、にたりして、やわらかく、おいしくする**くふう**です。**(に豆)**

次に、こなにひいて食べる**くふう**があります。**(きなこ)**

また、大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にする**くふう**もあります。**(とうふ)**

さらに、目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする**くふう**もあります。**(なつとう、みそ、しょうゆ)**

これらの他に、とり入れる時期や育て方を**くふう**した食べ方もあります。**(えだ豆、もやし)**

このように、大豆は**いろいろなすがた**で食べられています。

言語活動例		事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動
教材名【学年・学習時期】		みんなが過ごしやすい町へ【第5学年・6月】
目標	知識及び技能	原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
	思考力、判断力、表現力等	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



思考

ここに寝るところをつくりたいな。
敵の攻撃を防ぐための塀をつくりたいな。



各園では様々な活動の中で、自分たちの目的を達成するために思考したり友達と協力し合ったりしている。

低学年では、順序を考えることは、伝えたいことを相手に分かってもらうために必要なことであることに気付くことができている。

中学年では、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えてきた。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
教材名	教材名	教材名	教材名	教材名	教材名	教材名	教材名	教材名
わげをはなそう(話す・聞く)	うれしいことば(言語)	気持ちをこめて(来てほしい)(書く)	漢字の広場②(漢字)	日常を十七音で(書く)	たのみは(書く)	ダイコンは大きな根?(説明)	クマゼが増加の原因を探る(報告)	作られた「物語」を聴いて(読説)
おばさんとおばあさん(言語)	かん字のひろば①(漢字)		一つの花(物語・文学)	古典の世界(一)(伝文)	2 文の組み立て(言語)	ちよと立ち止まって(説明)		
ちばし(説理的な文章)	スベニー(物語・文学)		漢字の広場③(漢字)	(情報)目的に応じて引用するとき	2 天地の文(伝文)	1 思考のレッスン1 意見と根拠(記録)	2 思考のレッスン1 具体と抽象	1 思考のレッスン1 具体化・抽象化
おもちゃとおもちゃ(言語)			つなぎ言葉のわたさぎを知らう(言語)		(情報)情報と情報をつなげて伝えるとき	2 話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	2 魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	1 説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける リオの伝説のスピーチ(資料)
あいうえおあそぼう(言語)	かたかなのひろば(言語)		まいごのかぎ(物語・文学)	短歌(俳句に親しもう)(一)(伝文)				
おおきくなった(書く)	【じょうほう】メモをとるとき	3 俳句を楽しもう(伝文)	【じょうほう】要約するとき	みんなが過ごしやすい町へ(書く)				
おおきなかが(物語・文学)	【じょうほう】メモをとるとき	3 俳句を楽しもう(伝文)	新聞を作らう(書く)		私たちにできること(書く)	漢字に親しもう2	漢字に親しもう2	漢字に親しもう2
	【じょうほう】メモをとるとき	3 俳句を楽しもう(伝文)				漢字への扉1 言葉のまとまりを考えよう	2 漢字への扉1 単語をどう分ける?	2 漢字への扉1 正しいかは必要?
	【じょうほう】メモをとるとき	3 俳句を楽しもう(伝文)				情報を集めよう 情報を取り取る 情報を引用しよう	3 メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう	3 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう
④せんのとちゅうのかきかた(書写)	【レットトライ】(書写) ①おものとり方 お話を聞きとりメモ	3 絵画の準備(書写) 【土】	【レットトライ】(書写) 発表しりょう一学習内よなまとめる	(硬筆の学習)(書写) 文字の組み立て方(中と外)	3 文字の組み立て方(書写) 【中と外】と、穂先の動き(道)	3 文字の組み立て方(書写) メモ一語合いメモ	1 楷書で書く(書写) 3 学習を生かして書く(字順、筆順)	1 一行書で書く(書写) 1 白紙の変化と透かし(創造)
⑤にているひらがな(書写)	【レットトライ】(書写) ②よに書きの書き方一算数のノート	3 知りたい 文学の世界 筆について知ろう	3 筆順と字形(書写)【左右】 【ころの学習】(書写)筆順と字形	3 レットトライ(書写) 文化一竹取物語を書く	3 文字の組み立て方(書写) 文化一竹取物語を書く	1 文字の組み立て方(書写) 【左右、上下、中と外】	1 楷書で書く(書写) 【コラム】筆、墨、硯、紙について知ろう	2 一行書で書く(書写) 2 筆順の変化「新稿」

本単元では提案書を書く活動を通して、筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようにする。低学年での事柄の順序、中学年での内容の中心を明確にすること、段落相互の関係に注目して文章の構成を考えてきたことを生かして、筋道の通った文章を書けるようにする。これら身に付けたことは「話すこと・聞くこと」や学級活動の話合い活動でも生かしていけるようにする。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
報告する文章を書こう		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
現状や問題点の内容に合っていないところは？		
3 エラーモデルで考える。	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 <input type="checkbox"/> 現状や問題点を改善できるかという視点で考えさせる。
4 考えを交流する。(グループ)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける。」
	報告する文章は自分たちの思いや願いを込めて書かせよう。とにかく、自分たちの思いが書かれてあることを重視しよう。	
		
子どもたちの思いや願いは大事ですが、報告する文章を書かせる中で、問題点や具体的な内容、結果が提案と正対していないことが多く見受けられます。すぐに報告する文章を書かせるのではなく、エラーモデルなどを提示して説得力がある文章を書くための視点をもたせることが大切です。組み立てメモ等を利用し、提案することとそれぞれの項目が正対しているかどうか考えさせた上で、文章にするなどの手立てをとりましょう。		

5 修正をする。	個人での思考	<p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p> <p>□話し合いを基に、実際に自分の言葉で修正していく。</p> <p>●提案に沿って筋道の通った提案書にすれば、相手に伝わりやすい提案書になることを知ることで、学んだことを今後の学級会等にも生かしていけるようにする。</p>
<p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) B 書くこと 構成の検討【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記述 (手立て) ・B 規準に達した児童には、具体的な内容が実行可能かどうか検討させる。 ・B 規準に達していない児童には、提案すること、提案理由を中心に修正させる。 		

【エラーモデルの例】

提案が実現したときの効果	具体的な内容	提案すること 提案理由	現状や問題点	きっかけとなった経験
<p>落とし物が減り、みんなが気持ちよく生活できる。 落とし物が減り、学校がきれいになる。</p>	<p>名前書きタイムを設ける。 放送で落とし物があることを知らせる。 各教室に名前チェックシートを配り毎日直にチェックしてもらう。</p>	<p>持ち物に名前を書こう。 持ち物に名前をしっかりと書くことで落とし物が減る。</p>	<p>学校でも委員会活動でゴミの量を調べているが、グラフを見ると年々ゴミの量が増えている。 使えるのに捨てたり、リサイクルできるものも分別せずにゴミ箱に捨てたり、名前を書かずにつつと落とし物として処理され、最終的に捨てたりということが原因の一つであると考える。</p>	<p>ある雑誌のごみ問題に関する記事で、日本のゴミのうめ立地（最終しよ分場）があと二十年でいっぱいになり、日本でゴミが捨てられなくなるとの記事を見た。</p>

言語活動例		多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動
教材名【学年・学習時期】		根拠の適切さを考えて書こう【第2学年・10月】
目標	知識及び技能	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。
	思考力、判断力、表現力等	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



この幼虫を育てるなら・・・。

確認、新たな知識

各園では、自分たちの目的を達成するために図鑑や先生等から様々な情報を聞いてその学びを遊び等に生かしている。

低学年では、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えてきた。

中学年では、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えてきた。

高学年では、筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えてきた。

中学校1年	中学校2年	中学校3年
<p>観察・報告・記録・紹介等</p> <p>●情報を整理して書こう わかりやすく説明する</p>	<p>観察・報告・記録・紹介等</p> <p>●多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る</p>	<p>観察・報告・記録・紹介等</p> <p>●文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する</p>
<p>引用</p> <p>●根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く</p>	<p>意見</p> <p>●根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く</p>	<p>批評</p> <p>●多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く</p>

生徒は、これまでの小学校での言語活動を通して、事柄の順序や書く内容の中心と段落相互の関係、筋道の通った文章にするための構成について理解している。本単元では、意見文を書くことを通して、意見を支える根拠を明確にすることや、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えられるようにする。また、自信をもって自分の思いや考えを表現する力を育てていきたい。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
意見文を書こう		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
根拠は十分か？		
3 意見と根拠を整理する。	個人での思考	★第2条「生徒が自分で考える時間を設ける」 <input type="checkbox"/> 集めた情報が意見の根拠となっているかを考えさせる。
4 考えを交流する。(全体)	意見の交流	★第3条「生徒が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 自分の意見と他人の意見とを比べながら交流するようにさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) B 書くこと 情報の収集ア【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・ノートの記述 (手立て) ・B 規準に達した生徒には、文章構成についても考えさせる。 ・B 規準に達していない生徒には、意見に対しての根拠を聞いていく。</p> </div>		
5 意見文を書く。	振り返り	★第4条「学んだことを活用する場を設ける」 ★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」 <input checked="" type="checkbox"/> 本時で学んだ根拠を明確にするための視点を生かした意見文を書く。

【収集した情報の例】

問題点

少子高齢化問題を改善するためには

意見

子育てをしやすい社会づくりをする

問題点の根拠となる情報

労働人口

二〇一四年 六五八七万人
二〇三〇年 五六八三万人
二〇六〇年 三七九五万人

東京圏の高齢化

地方圏以上に出生率が低い東京圏への人口流入が続いていくと、人口減少・超高齢化の進行に拍車をかけていく

総人口における高齢者の割合

二〇一〇年 二十・五パーセント
二〇四〇年 三十四・六パーセント

高齢者一人を支える現役世代の人数

一九六〇年 十一・二人
一九八〇年 七・四人
二〇一四年 二・四人
二〇六〇年 一・六人

～内閣府のホームページ参照～

自分の意見の根拠となる情報

ノルウェー

- ・男性育休率 九十パーセント
- ・働くママが一歳未満の子に母乳をあげる時間↓有給扱い
- ・保育園に預けないで自宅で子育てする親には月額六万円支給

デンマーク

- ・子どもを産んだあとの育休が母親、父親ともに三十二週間認められていて、その間は所得保障が百パーセント

フィンランド

- ・大学院まで学費、給食費、医療費が無料
- ・テストがない（自分のために学ぶ）
- ・体験型の授業
- ・半分遊びで半分勉強
- ・学習意欲を引き出す授業
- ・授業日数が日本より四十日少ない
- ・学校は宿題を減多に出さない
- ・学校教育の質も高いから塾に通わせる必要もない

何を参照したのかをはっきりさせるように指導しましょう。



読むこと～構造と内容の把握～

小学校			中学校		
第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	ア 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と感想、意見などとの關係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。	ア 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との關係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。	ア 文章全体と部分との關係に注意しながら、主張と例示との關係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。	ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。
イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	イ 登場人物の相互關係や心情などについて、描写を基に捉えること。	イ 場面の展開や登場人物の相互關係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。		

小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
物語 ●おはなし たのしいな ●はなの みち ●おおきな かぶ ●やくそく ●くじらぐも ●たぬきの 糸車 ●ずうと、ずうと、大すきだよ 詩 ●いい てんき ●あさの おひさま ●いちねんせい の うた ●かたつむりの ゆめ ●はちみつ の ゆめ	物語 ●ふきのとう ●スイミー ●お手紙 ●わたしはおねえさん ●スーホの白い馬 詩 ●雨の歌 ●ねこのこ ●おとのはなびら ●ほんたいことば	物語 ●ぎつつきの商売 ●まいごのかぎ ●ちいちゃんのかげおくり ●三年とうげ ●モチモチの木 詩 ●どきん ●わたしと小鳥とすずと ●夕日がせなかをおしてくる ●かたつむり ●ことばだいすき ●あした ●たいこ ●なみ ●かいだん	物語 ●白いぼうし ●一つの花 ●ごんぎつね ●プラタナスの木 ●初雪のふる日 詩 ●春のうた ●忘れもの ●ぼくは川 ●まんげつ ●月 ●つき	物語 ●なまえつけてよ ●たずねびと ●やなせたかし -アンパンマンの勇氣- ●大造じいさんとガン 詩 ●かんがえるのつて おもしろい ●からたちの花 ●蛇 ●するめ ●路 ●一ばんみじかい抒情詩 ●一ばんの木は土	物語 ●帰りの道 ●やまなし ●狂言 柿山伏 ●「柿山伏」について ●海の命 詩 ●春の河 ●小景異情 ●せんねん まんねん ●〈ぼくぼく〉 ●動物たちの恐ろしい夢のなかに ●うぐいす ●生きる	物語・小説・随筆 ●シンシュン ●大人になれなかった弟たちに…… ●星の花が降るころに ●少年の日の思い出 ●随筆二編 詩・短歌・俳句 ●朝のワレ ●野原はうたう ●詩の世界 ●大阿蘇 ●さくらの はなびら	物語・小説・随筆 ●アイズプラネット ●言葉の力 ●盆土産 ●字のない薬書 ●走れメロス 詩・短歌・俳句 ●見えないだけ ●短歌に親しむ ●短歌を味わう ●月夜の浜辺 ●木	物語・小説・随筆 ●握手 ●故郷 ●温かいスープ 詩・短歌・俳句 ●世界はうつくしいと ●俳句の可能性 ●俳句を味わう ●挨拶 ●初恋 ●わたしをえねないで
説明文 ●ぐちばし ●うみの かくれんぼ ●じどう車くらべ ●どうぶつの 赤ちゃん	説明文 ●たんぼぼの ちえ ●どうぶつ園のじゅうい ●馬のおもちゃの作り方 ●おにごっこ	説明文 ●言葉で遊ぼう ●こまを楽しむ ●ポストカードを讀もう ●すがたを変える大豆 ●ありの行列	説明文 ●思いやりのデザイン ●アップとルーズで伝える ●パンフレットを讀もう ●世界にほこる和紙 ●ウナギのなぞを追って	説明文 ●見立てる ●言葉の意味が分かること ●新聞を讀もう ●固有種が教えてくれること ●想像力のスイッチを入れよう	説明文 ●笑うから楽しい ●時計の時間と心の時間 ●利用案内を讀もう ●「鳥獣戯画」を讀む ●メディアと人間社会 ●大切な人と深くつながるために ●生きものはつながりの中に ●プログラミングで未来を創る ●今、あなたに考えてほしいこと	説明・評論・論説 ●ダイコンは大きな根？ ●ちよつと立ち止まって ●比喩で広がる言葉の世界 ●「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ●「不便」の価値を見つめ直す	説明・評論・論説 ●クマゼミ増加の原因を探る ●モアイは語る ●君は「最後の晚餐」を知っているか ●「最後の晚餐」の新しさ	説明・評論・論説 ●作られた「物語」を超えて ●人工知能との未来 ●人間と人工知能と創造性 ●誰かの代わりに
読書活動 ●としよかんへいこう ●としよかんとなかよし ●おかゆの おなべ	読書活動 ●図書館たんけん ●ミリーのすてきなぼうし	読書活動 ●図書館たんていだん ●鳥になつたきょうりゅうの話	読書活動 ●図書館の達人になろう ●ランドセルは海をこえて	読書活動 ●図書館を使いこなそう ●カレーライス	読書活動 ●地域の施設を活用しよう ●森へ	読書活動 ●本の中の中学生 ●考える人になろう	読書活動 ●翻訳作品を讀み比べよう ●研究の現場によるこそ	読書活動 ●「私の一冊」を探しにいこう ●本は世界への扉

言語活動例		事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動
教材名【学年・学習時期】		うみのかくれんぼ【第1学年・9月】
目標	知識及び技能	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
	思考力、判断力、表現力等	文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



これ、なんだと思う？

「問い」



どこにあったのでしょうか？



「問い」

各園では、活動や遊びの中から、友達や先生とのやりとりを通して無意識のうちに「問い」と「答え」を学んでいる。



小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年
<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●くちばし ●うみのかくれんぼ ●じどう車くらべ ●どうぶつの赤ちゃん 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たんぼぼのちえ ●どうぶつ園のじゅうい ●馬のおもちやの作り方 ●おにごっこ 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●言葉で遊ぼう ●こまを楽しむ ●ポスターを読もう ●すがたを変える大豆 ●ありの行列 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●思いやりのデザイン ●アップとルーズで伝える ●パンフレットを読もう ●世界にほこる和紙 ●ウナギのなぞを追って 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●見立てる ●言葉の意味が分かること ●新聞を読もう ●固有種が教えてくれること ●想像力のスイッチを入れよう 	<p>説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> ●笑うから楽しい ●時計の時間と心の時間 ●利用案内を読もう ●「鳥獣戯画」を読む ●メディアと人間社会 ●大切な人と深くつながるために ●生きものはつながりの中に ●プログラミングで未来を創る ●今、あなたに考えてほしいこと

本単元では説明的な文章を読み、海の生き物について何がどのように隠れているのかを読み取っていき、その読み取りを生かして友達と伝え合う活動を行う。友達との伝え合う活動を通して、「問い」と「答え」を確認しながら文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができるように指導する。また、写真や映像なども用いて、文章全体の内容の把握と各段落に書かれている内容の把握を捉えさせていきたい。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
よんでたしかめたことをはっぴょうしよう		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
なにがどのようにかくれているの？		
3 教科書から読み取る。	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) C読むこと 精査・解釈ウ【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・ノートによる考察 (手立て) ・B規準に達した児童には、生き物の体のつくりについても確認させる。 ・B規準に達していない児童には、「問い」に対する「答え」を一緒に一つずつ確認していく。</p> </div>		
4 考えを交流する。(全体)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 何がどのように隠れているのかに着目して整理させる。
	<p>教科書の説明文の読み取りをしよう。 内容を把握するために、家庭学習で音読を繰り返しさせて、順序のパターンを覚えさせよう。</p>	
		
<p>家庭学習で音読をする際は覚えるための音読ではなく、考えながら音読させることを心がけるとよいでしょう。例えば、「問い」に対しての「答え」を探しながら音読してみようとなげかけてみると、児童は「問い」に対しての「答え」を探す音読をします。また、児童の学びに向かう力を育むために、教科書の読みを図鑑等の読みに生かす場面を設定してみてください。</p>		

<p>5 振り返りをする。</p> <p>6 次時の学習を知る。</p>	<p>振り返り</p>	<p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p> <p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>□次時は、教科書に紹介されている「いきものかくれんぼ」「もぐってかくれる」から何がどのように隠れているのかを探させる。</p> <p>●これまでの何がどのように隠れているのかという「問い」に対しての「答え」を探す読み取りを生かす。</p>
--------------------------------------	-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【ノートの例】

うみの かくれんぼ

いきものずかんをつくろう

なにが どのように かくれているの

はまぐりが、すなの なかに かくれて います。

はまぐりは、大きくて つよい あしを もって います。

なに

はまぐり

どのように

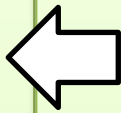
すなの なかに あしを のぼして、

すばやく もぐって かくれます。

ふりかえり

わたしは、

おんどくで



どのようにに

をさがせませんでした。きょうの

どのようにに

にちゅういしてよみたいです。

言語活動例		記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動
教材名【学年・学習時期】		ありの行列【第3学年・1月】
目標	知識及び技能	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。
	思考力、判断力、表現力等	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



なんで土の中にもぐるのかな？



なんでこの餌を食べないのかな？



疑問の追求

各園では、昆虫などの生き物がどんな動きをするのか、どんな習性があるのか等、問い意識をもちながら観察する園児の姿が見られる。



小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年
説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●くちばし ●うみの かくれんぼ ●じどう車くらべ ●どうぶつの赤ちゃん 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●たんぼぼのちえ ●どうぶつ園のじゅうい ●馬のおもちやの作り方 ●おにごっこ 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●言葉で遊ぼう ●こまを楽しむ ●ポスターを読もう ●すがたを変える大豆 ●ありの行列 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●思いやりのデザイン ●アップとルーズで伝える ●パンフレットを読もう ●世界にほこる和紙 ●ウナギのなぞを追って 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●見立てる ●言葉の意味が分かること ●新聞を読もう ●固有種が教えてくれること ●想像力のスイッチを入れよう 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●笑うから楽しい ●時計の時間と心の時間 ●利用案内を読もう ●「鳥獣戯画」を読む ●メディアと人間社会 ●大切な人と深くつながるために ●生きものはつながりの中に ●プログラミングで未来を創る ●今、あなたに考えてほしいこと

本単元では説明的な文章を読み、「はじめ」「中」「終わり」の組み立てや筆者等の考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができるようにする。そのために、説明的な文章を要約する言語活動を充実させ、大事な言葉や文を見つけられるようにする。教科書での要約を生かして、学校図書館にある科学の本を読んで分かったことや考えたことを説明し合う活動も行う。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
読んで感想をもち、つたえ合おう		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	<input type="checkbox"/> 「ありの行列をみじかくまとめよう」という家庭学習に取り組みさせておく。
大事な言葉や文は？		
3 例示した文章を比較する。	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 ★第4条「学んだことを活用する場を設ける」 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの説明文で学んだ「問い」と「答え」を探すことや、段落とその中心を捉えること等を生かす。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) C読むこと 精査・解釈ウ【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・ノートによる考察 (手立て) ・B規準に達した児童には、指示語を具体的にさせる。 ・B規準に達していない児童には、ありの行列の内容が伝わるかどうか考えさせる。</p> </div>		
4 考えを交流する。(全体)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」
	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>段落ごとに中心となる文や言葉を抜き出させよう。 抜き出した文や言葉をグループで話し合わせて一つにまとめさせよう。 その言葉をつなぎ合わせて要約してみよう。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	

段落ごとに大事な言葉や文を抜き出させグループで一つにまとめさせる場合、発言力のある児童の意見を採用したり、教師が求めている言葉や文にしようとする傾向がちなります。まずは、個人で「〇〇字以内に『ありの行列』をまとめよう」などの活動に取り組みせ、全体を構成させてみましょう。そこから、文や言葉の共通点や相違点を全体で共有し、段落のつながり等から大事な言葉や文を見つけられるようにしましょう。

5 振り返りをする。

振り返り

★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」

【作業的に文をつなぎ合わせた例】

段落のはじめの文をつなぎ合わせた例

夏になると、庭や公園のすみなどで、ありの行列を見かけることがあります。アメリカに、ウイルソンという学者がいます。はじめに、ありの巣から少しはなれた所に、ひとつまみのさとうをおきました。次に、この道すじに大きな石をおいて、ありの行く手をさえぎってみました。これらのかんさつから、ウイルソンは、はたらきがありが、地面に何か道しるべになるものをつけておいたのではないかと考えました。そこで、ウイルソンは、はたらきありの体の仕組みを、細かに研究してみました。この研究から、ウイルソンは、ありの行列のできるわけを知ることができました。はたらきありは、えさを見つけると、道しるべとして、地面にこのえさをつけながら帰るのです。このように、においをたどって、えさの所へ行ったり、巣に帰ったりするので、ありの行列ができるというわけです。

段落のおわりの文をつなぎ合わせた例

なぜありの行列ができるのでしょうか。この人は、次のような実験をして、ありの様子をかんさつしました。ふしぎなことに、その行列は、はじめのありが巣に帰るときに通った道すじから、外れていないのです。ありの行列は、さとうのかたまりがなくなるまでつづきました。これらのかんさつから、ウイルソンは、はたらきがありが、地面に何か道しるべになるものをつけておいたのではないかと考えました。それは、においのある、じょうはつしやすいえきです。この研究から、ウイルソンは、ありの行列のできるわけを知ることができました。そのため、えさが多いほど、においが強くなります。このように、においをたどって、えさの所へ行ったり、巣に帰ったりするので、ありの行列ができるというわけです。

段落のつながりを意識してまとめた例

なぜありの行列ができるのでしょうか。アメリカに、ウイルソンという学者がいます。この人は、次のような実験をして、ありの様子をかんさつしました。はじめに、ありの巣から少しはなれた所に、ひとつまみのさとうをおきました。次に、この道すじに大きな石をおいて、ありの行く手をさえぎってみました。これらのかんさつから、ウイルソンは、はたらきがありが、地面に何か道しるべになるものをつけておいたのではないかと考えました。そこで、ウイルソンは、はたらきありの体の仕組みを、細かに研究してみました。この研究から、ウイルソンは、ありの行列のできるわけを知ることができました。はたらきありは、えさを見つけると、道しるべとして、地面にこのえさをつけながら帰るのです。このように、においをたどって、えさの所へ行ったり、巣に帰ったりするので、ありの行列ができるというわけです。

言語活動例		事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動
教材名【学年・学習時期】		言葉の意味が分かること【第5学年・5月】
目標	知識及び技能	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。
	思考力、判断力、表現力等	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】



すごいまわってる。
あたととばされるよ。
どのこまがつよいかな。



分かったこと 感じたこと

各園では、物や様子、動作と言葉を結び付けながら無意識に言葉を学んでいる。



小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年
説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●くちばし ●うみの かくれんぼ ●じどう車くらべ ●どうぶつの赤ちゃん 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●たんぼぼのちえ ●どうぶつ園のじゅうい ●馬のおもちやの作り方 ●おにごっこ 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●言葉で遊ぼう ●こまを楽しむ ●ポスターを読む ●すがたを変えらる大豆 ●ありの行列 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●思いやりのデザイン ●アップとルーズで伝える ●パンフレットを読む ●世界にほこる和紙 ●ウナギのなぞを追って 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●見立てる ●言葉の意味が分かること ●新聞を読もう ●固有種が教えてくれること ●想像力のスイッチを入れよう 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●笑うから楽しい ●時計の時間と心の時間 ●利用案内を読もう ●「鳥獣戯画」を読む ●メディアと人間社会 ●大切な人と深くつながるために ●生きものはつながりの中に ●プログラミングで未来を創る ●今、あなたに考えてほしいこと

本単元では説明的な文章を読み、筆者の考えや事例について、これまでの自分の経験や体験、他の本を通して得た知識と結び付けて感想を伝え合う活動を行う。また、単元の後半には教科書に紹介されている言語・文化の特徴の違いについて書かれてある本を読んで感想を伝え合う。伝え合う活動を通して、文章の要旨を捉えて新しい知識を得ることの楽しさを味わわせたい。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう</div>		
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">事例の原因と結果、筆者の考えは？</div>		
3 教科書から読み取る。	個人での思考	★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」 ★第4条「学んだことを活用する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 前時までにまとめた文章の構成と内容を振り返らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) C読むこと 構造と内容の把握ア【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法) ・ノートの記事 (手立て) ・B規準に達した児童には、筆者の考えと事例を結び付けさせて考えさせる。 ・B規準に達していない児童には、どのようなことが起きてしまったのかという結果から探させ、その原因は何かということを文の中の原因という言葉に着目させて探させる。</p> </div>		
4 考えを交流する。(全体)	意見の交流	★第3条「児童が表現と交流する場を設ける」 <input type="checkbox"/> 筆者の考えと事例との関係を全体で確認していく。
	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> 文章の構成を把握するには、板書にしたがってきれいにノートをとったり、ワークシートをきれいにまとめたりすることが大切だな。 </div>	
		
<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> 要旨を捉えるためには、まず、文章の話題、全体の構成と内容を確認することが重要です。作業的に「初め」「中」「終わり」に分けるだけでなく、「初め」「中」「終わり」の内容に着目させたり、「中」を内容のまとまりで分けたりさせてみましょう。また、文章の要旨をまとめさせる際は、字数制限を設けて、大事な言葉や文をより意識できるようにしてみましょう。 </div>		

5 振り返りをする。	振り返り	★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」
6 家庭学習を知る。		●本時の学習を生かし、家庭学習において筆者の考えに対する自分の考えをまとめてくるよう伝える。

【事例の原因と結果 筆者の考え整理した例】

言葉の意味を広げて使い過ぎている。

言葉を適切に使うためには、そのはんいを理解する必要がある。言葉を学んでいくときには、言葉の意味を「面」として理解することが大切になる。

英語と同じ感覚で「食べる」という言葉を使ったから。

なぜ間違いが起きたのか（原因）

「朝食にスープを食べました。」

どんな間違いが起きたか（結果）

自分が覚えた言葉を、別の場面で使おうとしてうまくいかなかったから。

なぜ間違いが起きたのか（原因）

「歯でくちびるをふんじやった。」

どんな間違いが起きたか（結果）

言語活動例		論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする活動
教材名【学年・学習時期】		人工知能との未来 人間と人工知能と創造性【第3学年・10月】
目標	知識及び技能	情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。
	思考力、判断力、表現力等	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

【幼保小中を一貫した教育の視点】




各園では、活動や遊びの中から、行動したことや事物の事象について自分なりに知っている情報を理由として友達や先生に伝えている。



小学校 1年	小学校 2年	小学校 3年	小学校 4年	小学校 5年	小学校 6年
説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●くちばし ●うみの かくれんぼ ●じどう車くらべ ●どうぶつの赤ちゃん 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●たんぼのちえ ●どうぶつ園のじゅうい ●馬のおもちの作り方 ●おにごっこ 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●言葉で遊ぼう ●こまを楽しむ ●ポスターを読もう ●すがたを変える大豆 ●ありの行列 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●思いやりのデザイン ●アップとルーズで伝える ●パンフレットを読もう ●世界にほこる和紙 ●ウナギのなぞを追って 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●見立てる ●言葉の意味が分かること ●新聞を読もう ●固有種が教えてくれること ●想像力のスイッチを入れよう 	説明文 <ul style="list-style-type: none"> ●笑うから楽しい ●時計の時間と心の時間 ●利用案内を読もう ●「鳥獣戯画」を読む ●メディアと人間社会 ●大切な人と深くつながるために ●生きものはつながりの中に ●プログラミングで未来を創る ●今、あなたに考えてほしいこと

中学校 1年	中学校 2年	中学校 3年
説明・評論・論説 <ul style="list-style-type: none"> ●ダイコンは大きな根? ●ちょっと立ち止まって ●比喩で広がる言葉の世界 ●「言葉」をもつ鳥, シジュウカラ ●「不便」の価値を見つめ直す 	説明・評論・論説 <ul style="list-style-type: none"> ●クマゼミ増加の原因を探る ●モアイは語る ●君は「最後の晩餐」を知っているか ●「最後の晩餐」の新しさ 	説明・評論・論説 <ul style="list-style-type: none"> ●作られた「物語」を超えて ●人工知能との未来 ●人間と人工知能と創造性 ●誰かの代わりに

本単元では説明的な文章を読み、筆者の考えから、自分の考えや言葉に対する見方・考え方を見つめ直し、自分の考えを深めさせる。これまでの説明的な文章を読むことを通して身に付けてきた資質・能力を言語活動に生かせるようにしていきたい。

学習活動	学習内容	<input type="checkbox"/> 指導と評価の創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 幼保小中を一貫した教育の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連
1 単元のめあてを知る。		★第1条「学習の目標を明らかにする」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">論説の比較を基にグループで討論し、自分の考えをまとめよう</div>
2 本時の学習課題を知る。	課題の把握	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">これからの時代に大切なことは？</div>
3 教科書から読み取る。	個人での思考	★第2条「生徒が自分で考える時間を設ける」 <input type="checkbox"/> 書いてあることをそのまま受け入れるのではなく、疑問をもちながら読み取らせるようにする。
4 観点別に考える。	個人での思考	<input type="checkbox"/> 観点を決めて二つの文章を比較し、共通点と相違点を表にした上で、自分の考えをまとめる。
		<div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>二人の筆者が考える人工知能に対する賛否について考えさせよう。 筆者の意見はどのような事例を取り上げて根拠を示しているのか捉えさせよう。</p> </div>
		<div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>例えば、二人の筆者が考える人工知能の力で人間より優れている点、人間の方が優れている点について探させることが、賛否どちらの立場なのかを考える糸口につながります。</p> <p>また他教科等との関連を図ったり、具体的な人工知能が使われる他の場面を紹介したりすることで、自分の考えが明確になり、今後の社会生活にも生かせることができるでしょう。</p> </div>
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 10px; background-color: #e2efda; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">人間と人工知能と創造性</p> <p>○ 今までにないことを思いつくだけであれば、コンピュータのほうが人間よりも得意である。</p> <p>○ 人間の思いつきは、自由に発想しようとしてもどうしても偏りが出る。</p> <p>○ コンピュータにとって難しいのは、たくさんの中から優れたものを選ぶことである。</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 10px; background-color: #e2efda; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">人工知能と人間の力</p> <p>人工知能との未来</p> <p>○ 人工知能の思考は過程がブラックボックスになっている。</p> <p>○ 人工知能には恐怖心がない。</p> <p>○ 人間は経験からつちかかった「美意識」を働かせて物事を判断している。</p> <p>○ 人工知能は、人間の「美意識」にはとても受け入れがたい判断をすることもある。</p> </div> </div>

<p>5 グループで討論する。</p> <p>6 振り返りをする。</p>	<p>振り返り</p>	<p>★第3条「生徒が表現と交流する場を設ける」</p> <p>●筆者の考えに納得できたこと、できなかったことを手掛かりにしながら討論し、考えを広げられるようにする。</p> <p>●広げた考えをもとに自分の生活に生かせることを考えられるようにする。</p> <p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p>
<p>評価場面 (学習活動に即した評価規準) C読むこと 考えの形成、共有エ【思考力、判断力、表現力等】 (評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・討論による考察 (手立て) ・B規準に達した生徒には、実際に自分が行動していきたいことについて考えさせる。 ・B規準に達していない生徒には、理由がきちんと言えているかどうか確認させる。 		

【討論の例】



人工知能は、便利だけど、不安な面が多いので、取り入れたくない。



不安もあるけれど、私はどんどん人工知能を取り入れたほうがよいと思う。



人工知能が出した判断の理由が人間には分からないから、頼らないほうがいいよ。



その意見は私も賛成です。やっぱり最後は人間が判断しないとね。そのために、正しい判断ができるように、普段から色々な経験を積み重ねていくことが大切だと思います。

V

教科書に紹介されている本



読書

小学校			中学校		
第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
エ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることを知る。	オ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。	オ 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気付くこと。	オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。	エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。	オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解すること。

ねらい



- ・ 各学年の読書の指導事項を把握し、日々の読書活動の充実を図る。
- ・ 教科書に紹介されている本の読む視点等を確認し、家庭学習等の充実を図る。
- ・ 単元に関わる本を教員が把握し、子どもたちに紹介することで、子どもたちが授業での読む活動を日常の読書に生かしたり、表現の違い等に気付き自分の知識や考えを広げたりする。

表の見方

- 上下巻・・・本が紹介されている教科書の巻(小学1年～小学4年)
- ページ・・・本が紹介されている教科書のページ
- 単元等・・・紹介されている本が登場する単元名等
- 書名・・・紹介されている本の題名
- 著者等・・・紹介されている本の著者名等
- ◆・・・紹介されている本のジャンル

小学校1年

上下巻	ページ	単元等	書名		
上巻	10	おはなし たのしいな	一ねんせいになったら ぐりとぐら	1ねん1くみの1にち とのさま1ねんせい	さくら おおかみと七ひきのこやぎ
	63	あいうえおで あそぼう	あいうえおおかみ	あいうえおばけだぞ	ひらがなだいぼうけん
	79	おおきな かぶ	てぶくろ	3びきのくま	三びきのやぎのがらがらど ん
	98	こえに だして よもう	ちきゅうはメリーゴーラウンド		
	119	うみの かくれんぼ	うみの かくれんぼ もぐつてかくれる	いきもの かくれんぼ	
下巻	34	じどう車ずかんをつくろう	はたらくじどう車	ごみしゅうしゅう車 ゆうびん車	
	42 43	むかしばなしをよもう	ジャックとまめの木 ライオンとネズミ	きたかぜとたいよう ブレーメンのおんがくたい	しらゆきひめ ながぐつをはいたねこ
	69	こえに 出して よもう	のはらうたい		
	99	どうぶつの 赤ちゃん	パンダ ゴリラ	キリン	ペンギン
	124 125	この本、よもう	アランの歯は でっかいぞ こわーいぞ インギンチャクの ふしぎ へんてこもりにいこうよ アリから みると	たんたのたんけん かずあそび ウラパン・オコサ ちっちゃな サリーは みていたよ	うまれたよ!ダンゴムシ つりばしゆらゆら ハリーと うたう おとなりさん

小学校2年

上下巻	ページ	単元等	書名		
上巻	26	ふきのとう	はるがきた はるをさがしに	はるにあえたよ	あ、はるだね
	40	いなばの 白うさぎ	カムイチカブ 鉢の木 一休さん	さるとびつき うずらのかあさん 吉四六さん	さんまいのおふだ ももたろう
	50	たんぽぽの ちえ	チューリップ	スミレとアリ	たねのずかん
	76	スイミー	さかなは さかな ひとあし ひとあし	コーネリアス フレデリック	じぶんだけの いろ アレクサンダとぜんまいねずみ
	94	お気に入りの本を しょうかいしよう	クレヨンからのおねがい! ミリーのすてきなぼうし	あまがえるりよこうしゃ わんぱくだんのひみつきち	どんぐりむらのほんやさん ふしぎなキャンディーやさん
	126	どうぶつ園のじゅうい	動物園のひみつ	めざせ!動物のお医者さん	みんなわくわく水族館
	141 142 143	本のせかいを 広げよう ◆お話・絵本	かえるをのんだととさん テスの木 ガラスのうま	おおきなきがほしい はじめてのキャンプ ありのフェルダ	けんかのきもち しっばいにかんぱい!
		◆しぜん・ちしき	さかなのたまご こんな しっほで なにするの? 単位がわかる リトルのえほん	てのひら かいじゅう ライフタイム いきもの たちの一生と数字 かげ	やさいはいきている さとうとしお へいわって どんなこと?
		◆詩・ことば	ことばのこぼこ	なぞなぞのみせ	あいうえおのうた
	下巻	26	お手紙	ふたりは ともだち ふたりは きょうも	ふたりは いつしょ
70		わたしはおねえさん	すみれちゃんのあついなつ せかいでいちばんママがすき	クリスティーナとおおきなほこ	とくべつな いちにち
79		詩の楽しみ方 を見つけよう	みみずのたいそう	ぱぴぷぺぽっつん	
92		おにごっこ	世界の子どもの遊び 運動場のあそび	あそべる!たのしい!あやとり	みんなであそぼう
126		スーホの白い馬	ラン パン パン とらとほしがき	チンパンジーとさかなどろぼう	王さまと九人のきょうだい
140 141		本のせかいを 広げよう ◆お話・絵本	番ねずみのヤカちゃん ばあばは、だいじょうぶ かわいいこねこをもらってください	森のおばけ てぶくろがいっぱい	さっちゃんのまほうのて なんでももってる(?)男子
		◆しぜん・ちしき	ふゆめがっしょうだん わるいのはじてんしゃ? わたり鳥	はがぬけたらどうするの? りんごかもしれない わたしたちのたねまき	がんばれ!名犬チロリ もしも宇宙でくらしたら
		◆詩・ことば	えほん七十二候	森のおしゃべり	

小学校3年

上下巻	ページ	単元等	書名		
上巻	13	どきん	どきん		
	29	きつつきの商売	うなぎのなぞなぞ屋	キツネのまいもん屋	あらしのよるに
			風の草原		
	58	こまを楽しむ	すてきな日本の伝統 1巻いろいろあそび	ことば遊び チャレンジ20	昔の子どものくらし事典
	84	まいごのかぎ	カモメがくれた三かくの海	おばけ美術館へいらっしゃい	とくんとくん
	103	はじめて知ったことを知らせよう	助け合う生き物の話	巣づくりの名人 スズメバチ	ここにも、こけが・・・
			とりになったきょうりゅうのはなし	ファール昆虫記	たねのはなし
			塩の絵本	宇宙人っているの？	
	115	詩を味わおう	わたしと小鳥とすずと	夕日が せなかを おしてくる	
	141	本の世界を広げよう ◆物語・絵本 ◆科学・ちしき ◆詩・言葉	どんなかんじかなあ	ココロ屋	島ひきおに
	142		としょかんライオン	100円たんけん	いのちのいれもの
	143		ドングリ山のやまばあさん	どうぶつがっこう	
			◆科学・ちしき	こころのふしぎたんけんえほん	ラポラポラ
			一生の図鑑	糸あそび布あそび	数え方のえほん
	こども大百科キッズペディア		たまごのはなし	もっと・しごとば	
	◆詩・言葉		ともだち	ぞうのミミカキ	あるひ あひるが あるいていると
下巻	28	ちいちゃんのかげおくり	えんぴつびな	かわいそうな ぞう	おかあさんの木
	49	すがたをかえる大豆	魚がへんしん!	すがたをかえる食べものずかん	米・麦からつくる食べもの
			野菜・くだものからつくる食べもの		
	59	ことわざ・故事成語	まんがで学ぶ故事成語	ことわざ絵本	小学生のまんがことわざ辞典
	77	三年とうげ	世界のおかしはなし	りこうな子ども アジアの昔話	いたずらおばけ
			天の火をぬすんだウサギ	シンドバットの冒険	くいしんぼうシマウマ
			スリランカの昔話 ふしぎな銀の木		
	91	詩のくふうを楽しもう	かさぶたってどんなぶた	ことばあそびうた	
	104	ありの行列	なぜ? どうして? 科学のお話3年生	まちぼうけの生態学	むしこぶ みつけた
	136	モチモチの木	ソメコとオニ	花さき山	半日村
	144 145	本の世界を広げよう ◆物語・絵本 ◆科学・ちしき ◆詩・言葉	わすれられない おくりもの	アイヌのおかしはなし ひまなこなべ	おにぼう
			火曜日のごちそうはヒキガエル	かあちゃん取扱説明書	読書マラソン、チャンピオンはだれ?
			キュッパのはくぶつかん		
			◆科学・ちしき	たのしく読める 世界のすごい歴史人物伝	干し柿
ふくはなにからできてるの?			ダンゴウオの海	ほくの自然観察記 □ゼットのたんけん	
	おいしい根っこ	これってどうちがうの!? ①身近なもののちがい			
	◆詩・言葉	カタカナダイボウケン	十二支のことわざえほん		

小学校4年

上下巻	ページ	単元等	書名		
上巻	13	春のうた	あどる詩 あそぶ詩 きこえる詩		
	28 29	白いぼうし	白いぼうし ルドルフとイッパイアッテナ あかりの木の魔法	春のお客さん ルドルフ ともだち ひとりだち	星のタクシー ふしぎな木の実の料理法
	58	アップとルーズで伝える	絵くんとことばくん	伝える極意 達人に学ぶコミュニケーション④ 表現の極意	世界を変えるデザインの力②伝える
	80	一つの花	せかいでいちばんつよい国	オットー	せかいのひとびと
	104	事実にもとづいて書かれた本を読もう	あなたの声がききたい ゾウの森とポテトチップス	やんちゃ子グマがやってきた! ルイ・ブライユと点字をつけた人ひと	ランドセルは海を越えて 葛飾北斎 世界を驚かせた浮世絵師
	117	詩を味わおう	元気がでる詩 4年生		
	137 138 139	本の世界を広げよう ◆物語・絵本	ウエズレーの国 二しの木広場のモモモ館 口で歩く	1つぶのおこめ 外郎売 怪盗ブラックの宝物	おしいちゃんの口笛 エルマーのぼうけん
		◆科学・知識	決定版!富士山まるごと大百科 都道府県のかたちを絵でおぼえる本 こんなふうになられる!	骨のひみつ 人体のしくみがよくわかる! 視覚ミステリーえほん にたものずかん どっちがどっち?	友達のぎもん たのしいローマ数字 石の中のうずまきアンモナイト
		◆詩・言葉	大人も読みたい こども歳時記	どうぶつ句会	教室はまちがうところだ
	下巻	33	ごんぎつね	手ぶくろを買いに でんでんむしのかなしみ	木の祭り
51		世界にほこる和紙	伝統工芸 日本の職人 伝統ワザ ⑥工芸の職人	わくわく発見!日本の伝統工芸	竹でつくる
76		プラタナスの木	雨やどりはすべり台の下で	雨ふる本屋	百まいのドレス
100		ウナギのなぞを追って	ゾウの長い鼻には、あどるきのわけがある!	ノラネコの研究	アライの口のなぞが、ついにとけた!
138		初雪のふる日	おおきな木	花豆の煮えるまで	空とぶライオン
146 147		本の世界を広げよう ◆物語・絵本	狂言えほん ぶす リターン! つるばら村のパン屋さん	大どろぼうホッツエンプロッツ オンネリとアンネリのおうち	窓ぎわのトットちゃん りこうなおきさき
		◆科学・ちしき	夜やってくる動物のお医者さん いわさきちひろ 子どもの幸せと平和を絵にこめて 明日をつくる十歳のきみへ	冬眠のひみつ 文化のちがい 習慣のちがい 1 モグモグ 食事のマナー 日食・月食のひみつ	雪の結晶ノート 算数の観察フムフム!世界の生き物
		◆詩・言葉	写真でわかる慣用語辞典	ピカピカ俳句	

小学校5年

ページ	単元等	書名		
15	かんがえるのって おもしろい	すき		
31	なまえつけてよ	ホームランを打ったことのない君に 霧のむこうのふしぎな町	天のシーソー	12月の夏休み
56	言葉の意味が分かること	コトモの常識ものしり事典① ことばと文化のふしぎ Q&A	世界のあいさつことば学	文化のちがい 習慣のちがい2 ペラペラ ことばともの名前
83 84	作家で広げるわたしたちの読書	川をのぼって森の中へ まるむし帳 小学五年生 きみの町で はじめての文学	神様の階段 あのことろ さすらい猫 ノアの伝説 希望の地図	獣の奏者 くちぶえ番長 おじいちゃんの大切な一日 また次の春へ
122	たずねびと	八月の光 失われた声に耳をすませて	茶畑のジャヤ	彼の手は語りつぐ
147	固有種が教えてくれること	ジュニア学習年鑑2018 ワールド・ウォッチ	日本は世界で何番目?3 環境とエネルギー	子ども年鑑2018
150	グラフや表を用いて書こう	日本のすがた2018	現代用語の基礎知識	
155	古典芸能の世界一語りで伝える	じゅげむ	まんじゅうこわい	はつてんじん
171	やなせたかしーアンパンマンの勇気	円周率の謎を追う 自由のたびびと南方熊楠 勇気の花がひらくとき 何のために生まれてきたの?	六千人の命を救え!外交官・杉原千畝 マザー・テレサ やなせたかし	樋口一葉 ステイブ・ジョブズ やなせたかし おとうとものがたり
198	想像力のスイッチを入れよう	窓をひろげて考えよう	ネットで見たけどこれってホン ト?②食のメディアリテラシー	池上彰さんと学ぶ みんなのメディアリテラシー
240	大造じいさんとガン	片耳の大シカ	鹿よ おれの兄弟よ	少年動物誌
261 262 263 264 265	本の世界を広げよう ◆物語・絵本	アンジュール わたしも水着をきてみたい 西遊記 上 悟空誕生の巻 みどりのゆび ぼくたちのリアル	江戸の笑い なみきピリオパトル・ストーリー 二分間の冒険 ビーバー族のしるし 兵士になったクマ ヴォイテク	木を植えた男 パンプキン!模擬原爆の夏 ぼくの、ひかり色の絵の具 べんり屋、寺岡の夏。 飛ぶ教室
	◆科学・知識	せいめいのれきし みみずのカー口 お米ができるまで すごいぞ!オリンピックパラ ンピックの大記録 車いすはともだち 天気ふしぎえほん 本を読むわたし	あなたが世界を変える日 みんなで考える小学生のマナー 調べよう文字のはじまりと本の歴史 お金にまつわるそもそも事 典 おいしく たべる 地球の声に耳をすませて	北極熊ナヌーク インフラってなに?③通信 フェアトレードって、なんだろう? 100年後の水を守る かぶきわらし 日本にしかない生き物図鑑
	◆詩・言葉	俳句はいかが	思いちがいの言葉	季節のことば
		日本語を味わう名詩入門 北原白秋		

小学校6年

ページ	単元等	書名		
15	春の河 小景異情	おーい ぼほんた		
33	帰り道	なみだの穴	糸子の体重計	流れ星キャンプ
56	時計の時間と心の時間	時間の大研究	元気な脳が君たちの未来をひらく	時間ってなに?流れるのは時?それともわたしたち?
81	私と本 ◆福祉・共生社会	五感の力でバリアをこえる	義足でかがやく	見えなくても だいじょうぶ?
	◆平和	アハメドくんのいのちのルー	ヒロシマ 8月6日、少年の見た空	武器より一冊の本をください
	◆自然・生命	森へ	自然に学ぶくらし ①自然の生き物から学ぶ	ここで土になる
93	せんねん まんねん	まど・みちお		
126 127	やまなし	赤い蝋燭と人魚 二十四の瞳	ビワの実	ひとつのねがい
151	『鳥獣戯画』を読む	ニッポン紹介 和楽器	世界遺産になった食文化	花火の大図鑑
159	古典芸能の世界一演じて伝える	道成寺	かたつむり	
185	詩を朗読してしょうかいしよう	元気がでる詩6年生	子どもへの詩の花束	
198	メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために	地球環境から学ぼう!私たちの未来 第3巻 日本の問題・世界の問題	瑠璃色の星	ここまできている!IPS・遺伝子・脳研究
232	海の命	西の魔女が死んだ	チェロの木	ことりをすぎになった山
265 266 267 268 269	本の世界を広げよう ◆物語・絵本	冒険者たち トムは真夜中の庭で モギ ちいさな焼きもの師 ハッピーノート リバウンド	ぼくらの先生! ヨーンじいちゃん 夏の庭 The Friends 両親をしつけよう! 今昔物語集	盆まねき ルリユールおじさん 漂泊の王の伝説 夏のとびら トモ、ぼくは元気です
	◆科学・知識	世界を動かした塩の物語 歴史人物・文化遺産 ◎江戸時代(後期)・幕末 キュビズムって、なんだろう? 音楽をもっと好きになる本 3音楽家に親しむ 池上彰の ニュースに登場する 世界の環境問題 ⑩エネルギー 深海大探検! 考える練習をしよう	世界一おいしい火山の本 学校にいくのは、なんのため? アンネのバラ ネルソン・マンデラ 自由へのたたかい 暑さとくらし えほん 日本国憲法 いのる	0.1ミリのタイムマシン アレルギーってなに? 月はぼくらの宇宙港 鉄は魔法つかい もしも日本人がみんな米つぶだったら よくわかるネット依存
	◆詩・言葉	地球へのピクニック	声に出そう はじめての漢詩 一自然のうた	サキサキ オノマトペの短歌

中学校1年①

ページ	単元等	書名	著者等	書名	著者等
27	シンシュン	サクラ咲く	辻村深月	都会のトム&ソーヤ	はやみねかおる
45	ダイコンは大きな根?	明日ともだちに話したくなる野菜の話	稲垣栄洋 監修	草花のふしぎ世界探検	ピッキオ 編著
49	ちょっと立ち止まって	図説 不思議の国のアリス	桑原茂夫	ふしぎなえ	安野光雅
71	詩の世界	詩ってなんだろう	谷川俊太郎	だれでも詩人になれる本	やなせたかし
75	比喩で広がる言葉の世界	日本語の〈書き〉方	森山卓郎	たとえことば辞典	中村 明
85 87 89	本の中の 中学生	あと少し、もう少し スポーツ感動物語 第二期④ 挫折と苦難の克服	瀬尾まいこ	西の魔女が死んだ 梨木香歩作品集	梨木香歩
90 91 92 93	本の世界を 広げよう ◆中学校生活	数の悪魔 科学と科学者のはなし 給食アンサンブル 楽隊のうさぎ	エンツェンスベルガー 丘沢静也 訳 池内 了 編 如月かずさ 中沢けい	名画に教わる 名画の見か た スポーツ科学の教科書 書を楽しもう ラスト・イニング	早坂優子 谷本道哉 編著 石井直方 監修 魚住和晃 あさの あつこ
	◆ファンタジー	空色勾玉 精霊の守り人 はてしない物語	荻原規子 上橋菜穂子 ミヤエル・インゲ 上田真而子・佐藤真理子 訳	ブレイブ・ストーリー 影との戦い ゲド戦記1 不思議の国のアリス	宮部みゆき アーシュラ・K・ル＝グウィン 清水真砂子 訳 ルイス・キャロル 矢川澄子 訳
	◆生き物・自然	川の光 生きもののおきて 深海の超巨大イカを追え!	松浦寿輝 岩合光昭 坂元志歩	素数ゼミの謎 風の谷のナウシカ ツシマヤマネコ飼育員物語	吉村 仁 宮崎 駿 キム・ファン
	◆友達	きみの友だち リョウ&ナオ	重松 清 川端裕人	キップをなくして	池澤夏樹
	◆言葉	中学生に贈りたい心の詩40 方言の日本地図	水内喜久雄 編 真田信治	中学生からの作文技術	本多勝一
	◆情報	疑問調べ大作戦 学習に役立つなるほど新聞活用術	中川一史 高木まさき 監修 曾木 誠 監修	最新版 親子で学ぶ インターネットの安全ルール	いけだとしお おかもとなちこ
	◆私の一冊	風が強く吹いている	三浦しをん		
	◆本との出会い	注文の多い料理店 イーハトーブ童話集	宮沢賢治 作 菊池武雄 絵	西遊記	呉承恩 作 吉岡堅二 絵 伊藤貴麿 編訳
103	大人になれなかった私たち...	少年H(上・下巻)	妹尾河童	絵で読む 広島原爆	那須正幹 文 西村繁男 絵

中学校1年②

ページ	単元等	書名	著者等	書名	著者等
113	星の花が降るころに	頭のうちどころが悪かった熊の話	安東みきえ	夕暮れのマグノリア	安東みきえ
133	「謙」をつづきながら	ソロモンの指環	コンラート・ローレンツ 日高敏隆 訳	野鳥の名前	山崎 宏 監修
151	大阿蘇	名詩の絵本	川口晴美 編		
165	蓬萊の玉の枝	今昔物語集		宇治拾遺ものがたり	川端善明
172	今に生きる言葉	故事・ことわざ・四字熟語 教養が試される100話	阿辻哲次		
183	「不便」の価値 を見つめ直す	不便益のススメ	川上浩司	中学生から学ぶ大学講義1 何のために『学ぶ』のか	外山滋比古 他
191 193	考える人になろう	君たちはどう生きるか	吉野源三郎	毎月新聞	佐藤雅彦
194 195	本の世界を広げよう ◆生き方	ぼくは恐竜探検家!	小林快次	くまとやまねこ	湯本香樹実 文 酒井駒子 絵
	◆冒険	ジョン万次郎	マーギー・プロイス 金原瑞人 訳	雪の写真家 ベントレー	J・B・マーティン 千葉茂樹 訳
		穴 HOLES	ルイス・サッカー 幸田敦子 訳	王への手紙	トンケ・ドラフト 西村由美 訳
		ムーミン谷の彗星	トーベ・ヤンソン 下村隆一 訳	植村直己 地球冒険62万 キロ	岡本文良
	◆いのち	いつでも会える	菊田まりこ	いのちってなんだろう	中村桂子 他
		雪とパイナップル	鎌田 實		
	◆自分	孤独と不安のレッスン	鴻上尚史	野川	長野まゆみ
		山椒魚	井伏鱒二		
	◆夢	空の飛びかた	S・メッセンモーター 関口裕昭 訳	鷹のように帆をあげて	まはら三桃
		夢を跳ぶ	佐藤真海		
	◆私の一冊	火の鳥	手塚治虫		
210	少年の日の思い出	車輪の下	ヘルマン・ヘッセ 高橋健二 訳	一房の葡萄	有島武郎
218	随筆二編	象のブランコ	工藤直子		
235	さくらの はなびら	いわずにおれない	まど・みちお		
295	百人一首を味わう	百人一首(全)	谷 知子 編	ときめき百人一首	小池昌代
		千年後の百人一首	清川あさみ 最果夕ヒ		
297	言葉と心の伝達機能—古典語	えほん寄席 抱腹絶倒の巻	柳亭市馬 他	しゃべれども しゃべれども	佐藤多佳子

中学校2年①

ページ	単元等	書名	著者等	書名	著者等
23	アイスプラネット	アイスプラネット	椎名 誠	岳物語	椎名 誠
31	枕草子	枕草子 方丈記 徒然草 ももこのいきもの図鑑	酒井順子 訳 さくらももこ	方丈記	鴨 長明 蜂飼 耳 訳
49	クマゼミ増加の原因を探る	クマゼミから温暖化を考える	沼田英治	春の数えかた	日高敏隆
71	短歌に親しむ	短歌をつくろう	栗木京子		
76	言葉の力	色を奏でる	志村ふくみ		
85	翻訳作品を読み比べよう	星の王子さま	サン＝テグジュペリ 内藤 濯 訳	星の王子さま	サン＝テグジュペリ 池澤夏樹 訳
87	本の世界を	赤毛のアン	ルーシー・モード・モンゴメリ 村岡花子 訳	ロビンソン・クルーソー	ダニエル・デフォー 海保真夫 訳
88	広げよう	三国志	羅 貫中 小川環樹・ 武部利男 編訳	変身	フランツ・カフカ 高橋義孝 訳
89	◆外国文学	シ・ミゼラブル 最後のひと葉	ヴィクトル・ユゴー 豊島与志雄 編訳 オー・ヘンリー 金原瑞人 訳	アンネの日記 ハリ Potter と賢者の石	アンネ・フランク 深町真理子 訳 J・K・ローリング 松岡佑子 訳
	◆戦争・平和	綾瀬はるか「戦争」を聞く ガラスのうさぎ 生きのびるために	高木敏子 デボラ・エリス もりうちすみこ 訳	弟の戦争 ぼくの見た戦争 夕凧の街 桜の国	ロバート・ウェストール 原田 勝 訳 高橋邦典 こうの史代
	◆文化	カムイ・ユーカーラ 野村萬斎と狂言を観よう 和食とは何か	山本多助 野村萬斎 監修 和食文化国民会 議 監修	法隆寺を支えた木 すぐわかる日本の伝統色 多文化に出会うブックガイド	西岡常一 小原二郎 福田邦夫 世界とつながる子どもの 本棚プロジェクト 編
	◆環境	沈黙の春 タマゾン川	レイチェル・カーソン 青樹築一 訳 山崎充哲	絶滅危惧種写真集	ジョエル・サートレイ 嶋田 香 訳
	◆言葉	翻訳できない世界のこ とば 101人が選ぶ「とっておきの言葉」	エラ・ファン・サンダース 前田まゆみ 訳	サラダ記念日	俵 万智
	◆情報	池上彰と学ぶメディアのめ 統計ってなんの役に立つの?	池上 彰 涌井良幸	調べてみよう、書いてみよ う	最相葉月
	◆私の一冊	人間失格	太宰 治		
103	盆土産	ユタとふしぎな仲間たち	三浦哲郎	しろばんば	井上 靖
109	字のない葉書	父の詫び状	向田邦子	小石川の家	青木 玉

中学校2年②

ページ	単元等	書名	著者等	書名	著者等
129	モアイは語る	イースター島に行く	野村哲也	ジャガイモのきた道	山本紀夫
145	月夜の浜辺	日本の名詩を読みかえす	高橋順子 編・解説		
156	扇的	義経(上・下巻)	司馬遼太郎		
159	仁和寺にある法師	兼好さんの遺言	清川 妙		
166	漢詩の風景	漢詩への招待	石川忠久	漢詩のレッスン	川合康三
179	君は「最後の晩餐」を知っているか	遠近法がわかれば絵画がわかる	布施英利	ダ・ヴィンチの『最後の晩餐』はなぜ傑作か?	高階秀爾
190	研究の現場によこそ	クモの糸でバイオリン	大崎茂芳		
191	本の世界を広げよう ◆研究	「研究室」に行ってみた。	川端裕人	ちいさい言語学者の冒険	広瀬友紀
192		バッタを倒しにアフリカへ	前野 ウルド 浩太郎	鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。	川上和人
193		我々はなぜ我々だけなのか 大望遠鏡「すばる」誕生物語	川端裕人 海部陽介 監修 小平桂一	雲を愛する技術	荒木健太郎
	◆食	地球の食卓	ピーター・メンツェル他	いのちをはぐくむ農と食	小泉武夫
		日本のもと 米	服部幸應 監修	未来へ伝えたい日本の伝統料理	小泉武夫 監修
		食を考える	佐藤洋一郎	カレーライスを一から作る	前田亜紀
	◆職業	博物館へ行こう	木下史青	神去なあなあ日常	三浦しをん
		ぼくのマンガ人生	手塚治虫	子どものためのニッポン仕事図鑑	大牧圭吾 監修
		職人	永 六輔	大人になったらしたい仕事「好き」を仕事にした35人の先輩たち	
	◆宇宙	夢をつなぐ	山崎直子	眠れなくなる宇宙のはなし	佐藤勝彦
		月のきほん	白尾元理		
	◆医療・福祉	星空を届けたい	高橋真理子	光をくれた犬たち 盲導犬の一生	今西乃子
		そっと耳を澄ませば	三宮麻由子		
	◆本	みて、ほんだよ!	リビー・グリーンソン 谷川俊太郎 訳	本と図書館の歴史	モーリーン・サワ 宮木陽子・小谷正子訳
		みんな本を読んで大きくなった	朝の読書推進協議会 編		
	◆私の一冊	聞かせてよ、ファインマンさん	R・P・ファインマン 大貫昌子・江沢洋 訳		
211	走れメロス	斜陽	太宰 治		
229	木	繰り返し読みたい日本の名詩100			
291	古典芸能の世界一能・狂言	能の本	村上ナツツ	中・高校生のための狂言入門	山本東次郎 近藤ようこ

中学校3年①

ページ	単元等	書名	著者等	書名	著者等
23	握手	ブンとフン	井上ひさし	新釈 遠野物語	井上ひさし
30	学びて時に之を習ふ	声に出して読みたい論語	齋藤 孝	老子・荘子	野村茂夫
47	作られた「物語」を超えて	ゴリラは語る	山極寿一	言葉はなぜ生まれたのか	岡ノ谷一夫
59	リオの伝説のスピーチ	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	くさばよしみ 編	とても良い人生のために	J・K・ローリング 松岡佑子 訳
73	俳句の可能性	部活で俳句	今井 聖		
87	「私の一冊」を探しにいく	羊と鋼の森	宮下奈都		
88	本の世界を広げよう 90 ◆本の本	旅する絵描き	伊勢英子	文豪の装丁	「美の壺」制作班 編
10代の本棚		あさのあつこ 編著	ぼくの宝物絵本	穂村 弘	
世界の不思議な図書館		アレックス・ジョンソン 北川 玲 訳	高校図書館デイズ	成田康子	
読書の価値		森 博嗣	小説は君のためにある	藤谷 治	
◆社会	転換期を生きるきみたちへ	内田 樹 編	14歳からの社会学	宮台真司	
	父と娘の法入門	大村敦志	日本という国	小熊英二	
	レモンをお金にかえる法	ルイズ・アムストロング 佐和隆光 訳	ライ麦畑でつかまえて	J・D・サリンジャー 野崎 孝 訳	
◆思考	14歳からの哲学	池田晶子	カラフル	森 絵都	
	考える教室	酒井邦嘉	学ぶこと 思うこと	加藤周一	
	はじめて考えるときのよう	野矢茂樹 に	ひとり	吉本隆明	
◆科学	博士の愛した数式	小川洋子	科学の考え方・学び方	池内 了	
	解剖学教室へようこそ	養老孟司			
◆言葉	ふしぎなことば ことばのふしぎ	池上嘉彦	働きたくないイタチと 言葉がわかるロボット	川添 愛	
	話したい、使いたい、心ときめくことばの12か月	山根基世 監修			
◆情報	その情報はどこから?	猪谷千香	発信力の育てかた	外岡秀俊	
	はじめての研究レポート作成術	沼崎一郎			
◆私の一冊	戸村飯店 青春100連発	瀬尾まいこ			
97	秩那一原編の写真によせて	宇宙の片隅で	石垣りん		
111	故郷	藤野先生	魯迅 松枝茂夫 訳	故郷／阿Q正伝	魯迅 藤井省三 訳
129	人工知能との未来／人間と人工知能と創造性	人工知能の核心	羽生善治	人間の未来 AIの未来	羽生善治 山中伸弥
	AIに心は宿るのか	松原 仁	アンドロイドは人間になれるか	石黒 浩	

中学校3年②

ページ	単元等	書名	著者等	書名	著者等
141	初恋	大人になるまでに読みたい 15歳の詩① 愛する	青木 健 編		
160	夏草	おくのほそ道 芭蕉・ 蕪村・一茶名句集	井本農一 他 校訂・訳	おくのほそ道を旅しよう	田辺聖子
170	誰かの代わりに	特別授業3・11 君たちはどう生きるか	鷲田清一 他	わかりあえないことから	平田オリザ
187 190	本は世界への扉	ヘスースとフランスコ 世界は広く、美しい	長倉洋海 長倉洋海	はたらく 紛争地の看護師	長倉洋海 白川優子
191	本の世界を広げよう ◆世界へ	緒方貞子―難民支援の現場から	東野 真	トットちゃんとトットちゃんたち	黒柳徹子
		紙の建築 行動する	板 茂	危機の現場に立つ	中満 泉
		恋する文化人類学者	鈴木裕之	ボクの音楽武者修行	小澤征爾
		謎のアジア納豆	高野秀行	アグルーカの行方	角幡唯介
	◆近代文学	吾輩は猫である	夏目漱石	伊豆の踊子	川端康成
		清兵衛と瓢箪・小僧の神様	志賀直哉	羅生門・鼻	芥川龍之介
		友情	武者小路実篤	文豪ナビ 夏目漱石	
	◆歴史・時代	源平の風 白狐魔記	斎藤 洋	鬼の橋	伊藤 遊
		日暮らし	宮部みゆき	天平の薨	井上 靖
竜馬がゆく		司馬遼太郎	砂糖の世界史	川北 稔	
◆恋愛	夜のピクニック	恩田 陸	TUGUMI つぐみ	吉本ばなな	
	きみが見つける物語 恋愛編	有川 浩 他			
◆旅	嵐の大地 パタゴニア	関野吉晴	旅に出よう	近藤雄生	
	旅の絵本	安野光雅			
◆生き方	心を整える。	長谷部 誠	新 13歳のハローワーク	村上 龍	
	十五歳の残像	江國香織			
◆私の一冊	深夜特急	沢木耕太郎			
199	温かいスープ	私、日本に住んでいます	スベンドリニ・カクチ		
203	わたしを凍めないで	名づけられた葉なのだから	新川和江		
271	古典芸能の世界―歌舞伎・浄瑠璃	歌舞伎の解剖図鑑	辻 和子	カブキブ! 1	榎田ユウリ
		新版 あらすじで読む 名作文楽 50 選	高木秀樹		

VI

委員名簿・審議経緯



令和元年度草加市子ども教育連携推進委員会専門部会委員名簿

座長	輿水功	草加市立新田小学校長	
副座長	車浩	草加市立川柳中学校長	
委員	木村治生	ベネッセ教育総合研究所主席研究員	知識経験者
	首藤敏元	埼玉大学教育学部教授	学識経験者
	田村学	國學院大學人間開発学部教授	学識経験者
	照井幾子	草加市立あずま保育園長	
	小野真理	私立ルミ幼稚園長	
	小澤理加	私立谷塚おざわ幼稚園副園長	
	福田樹々	私立ひかり幼稚舎元保育士	
	中村俊臣	草加市立草加小学校長	
	元木廉	草加市立高砂小学校主幹教諭	
	森太郎	草加市立松原小学校主幹教諭	
	羽鳥恵輔	草加市立稲荷小学校教諭	
渡邊雅士	草加市立草加中学校教諭		
事務局	草加市教育委員会教育総務部子ども教育連携推進室		
オブザーバー	草加市教育委員会教育総務部指導課		

(令和2年3月現在、設置要綱順、敬称略)

令和2年度草加市子ども教育連携推進委員会専門部会委員名簿

座長	嶋田弘之	草加市立長栄小学校校長	
副座長	飯島隆	草加市立瀬崎中学校校長	
委員	木村治生	ベネッセ教育総合研究所主席研究員	知識経験者
	田口浩明	星槎大学 客員研究員	知識経験者
	中本順子	草加ひまわり幼稚園園長	
	山下祥子	草加あおやぎ保育園園長	
	加藤真珠美	ひかり幼稚舎副主任	
	野村真一	草加市立青柳小学校校長	
	元木廉	草加市立高砂小学校主幹教諭	
	高橋康子	草加市立小山小学校主幹教諭	
	渡邊雅士	草加市立草加中学校教諭	
	佐々木祥吾	草加市立栄中学校教諭	
事務局	草加市教育委員会教育総務部子ども教育連携推進室		
オブザーバー	草加市教育委員会教育総務部指導課		

(令和3年3月現在、設置要綱順、敬称略)

令和2年度審議経緯

	開催日	議事等
第1回	令和2年5月 資料送付	(1) 令和2年度草加市子ども教育連携推進事業の概要について (2) 令和2年度教育課程指導資料等の改定について
第2回	令和2年 9月18日	(1) 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム(案)について (2) 教育課程指導資料～算数・数学～(案)について (3) 教育課程指導資料～国語～(案)について
第3回	令和2年 12月2日	(1) 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム(案)について (2) 教育課程指導資料～算数・数学～(案)について (3) 教育課程指導資料～国語～(案)について

草加市小中学校教育課程指導資料（国語）
ご意見・ご要望をお寄せください

本資料をお使いになって、

- (1) お気付きの点
- (2) 活用した実践例とその成果や課題
- (3) その他、ご意見・ご要望等

ございましたら、本様式でお寄せください。その際、本資料の該当ページも併せてご記入ください。
今後、本資料の改定等の参考資料として活用させていただきます。

所属名		職 名	
氏 名		記入日	令和 年 月 日

※1 本様式は、校務用パソコン内、草加市小中学校教育課程指導資料（国語）のフォルダにもございます。

【 草加市小中学校 →草加市小中学校教育課程指導資料（国語） →ご意見・ご要望 】

※2 ご記入後は、次のいずれかの方法でご提出ください。

(1) ファックス 登録番号 048(928)1178

(2) 電子メール kodomorenkei@city.soka.saitama.jp

※3 ご不明な点は、子ども教育連携推進室までお問い合わせください。

草加市教育課程指導資料（国語）

令和3年3月発行

草加市教育委員会

〒340-8550 埼玉県草加市高砂1-1-1

電話:048-922-3494